293
33

彦根高等商業學校一覽

第十四年度 自昭和十一年 至仝十二年

0052208001

0052208-001

２９３－３３

彦根高等商業学校一覧

彦根高等商業学校・編

彦根高等商業学校

第１４－１７年度

昭１１至１４

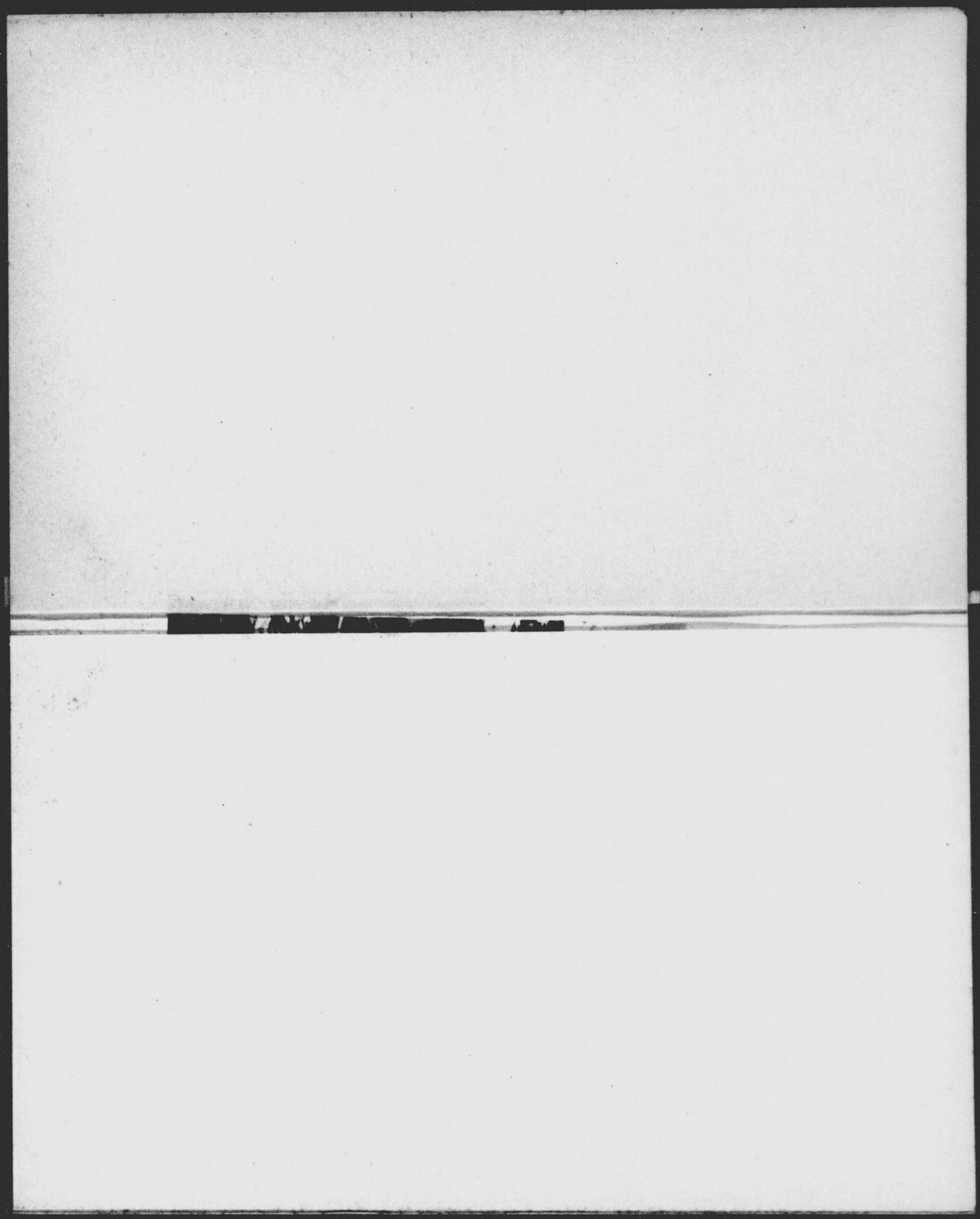
AHN

293
33

彦根高等商業學校一覽

第十四年度

自昭和十一年
至昭和十二年



彦根高等商業學校全景

校歌

（一）

見よ漫々として琵琶の湖（うみ）
朝生命（あしたいのち）の色に輝き
夕神秘（ゆふべ）の虹をうかぶ
躍れる波あり和（なご）める面あり
大いなる自然
これぞわが友

（二）

聞け默々として語る史書（ふみ）
內に所信を固く保ちて
外に果敢の策を立てつ
國難救ひて身命捧げし
たゝふべき偉人
これぞわが師よ

（三）

あゝ燦然として殘る事業（わざ）
ながく積富の訣は傳はり
ひろく聖者（せいじや）の德はにほふ
不滅の正心不屈の商魂
仰ぐべき軌範
これぞわが道

彦根高等商業學校一覽

第十四年度　自昭和十一年至昭和十二年

發行所寄贈本

目次

第一學年曆……一
第二沿革略……三
第三彦根高等商業學校規程……一二
第四彦根高等商業學校規則……一九
第一章總則……一九
第二章學科目及教授時數……一九
第三章學年學期及休業日……二〇
第四章入學在學……二〇
第五章修業及卒業……二四
第六章懲戒……二四

293-33

目　次

第七章　授業料……二五
第八章　休學退學……二六
第九章　研究生……二八
第十章　別科生……二八
第十一章　寄宿舍及生徒合宿所……三一
第五編　則……三五
一、校務分掌規程……三五
（生徒課所管）
二、生徒心得……四三
三、總代副總代規程……四六
四、生徒制服及服裝規程……四七
五、生徒學資保管規程……五一
六、寄宿舍規程……五二
七、集會所使用規程……五三

八、學校醫職務規程……五四
（教務課所管）
九、教官會規程……五五
一〇、成績考查細則……五六
一一、研究指導規程……五九
一二、入學出願書類ニ關スル規定……六〇
一三、外國人特別入學細則……六五
（圖書課所管）
一四、圖書閱覽貸出規程……六六
（調查課所管）
一五、調查委員規程……六九
一六、調查課資料閱覽規程……六九
一七、大禮記念獎學資金ニ關スル規程……七〇
（庶務課所管）

目次

一八、職員ノ服務心得……七一
一九、文書處理規程……七二
二〇、當直規程……七六
二一、非常手配規程……七九
二二、物品會計細則……八二
第六職員……九〇
第七前職員……一〇一
第八生徒……一〇七
一、生徒氏名……一〇七
二、生徒道府縣別……一一九
三、生徒年齡別……一二一
四、生徒家庭職業調……一二一
五、在學中死亡生徒氏名……一二二
第九卒業生……一二三

一、大正十四年度卒業生……一二三
二、大正十五年昭和元年度卒業生……一二五
三、昭和二年度卒業生……一二七
四、昭和二年度別科卒業生……一二九
五、昭和三年度卒業生……一三〇
六、昭和三年度別科卒業生……一三二
七、昭和四年度卒業生……一三三
八、昭和四年度別科卒業生……一三五
九、昭和五年度卒業生……一三六
一〇、昭和五年度別科卒業生……一三九
一一、昭和六年度卒業生……一四一
一二、昭和六年度別科卒業生……一四三
一三、昭和七年度卒業生……一四四
一四、昭和七年度別科卒業生……一四六

一五、昭和八年度卒業生……一四八
一六、昭和八年度別科卒業生……一五〇
一七、昭和九年度卒業生……一五二
一八、昭和九年度別科卒業生……一五四
一九、昭和十年度卒業生……一五六
二〇、昭和十年度別科卒業生……一五八
二一、卒業生職業別……一六〇
二二、卒業生就職府縣別……一六〇
第十　土地建物工作物表……一六二
一、土地表……一六二
二、建物表……一六三
三、配置圖（卷末添付）……一六八
四、工作物表……一六八
第十一　關係法令……一七一

一、專門學校令……一七一
二、實業學校令……一七二
三、專門學校入學者檢定規程……一七三
四、高等試驗令第七條及第八條ニ關スル件……一七五
五、專門學校入學者檢定規程ニヨリ指定ノ件……一七七
六、文部省直轄學校外國人特別入學規程……一七七
七、臺灣人若クハ朝鮮人ニ文部省直轄學校外國人特別入學規程準用ノ件……一七八
第十二　附錄……一七九
一、彦根高等商業學校學友會會則……一七九
二、彦根高等商業學校研究會規程……一八六
三、舍生規約……一八八
四、彦根高等商業學校寄宿舍寮友會會則……一九三
五、彦根高商消費組合規約……一九五
六、彦根高等商業學校共濟會規約……一九九

目次

七、生徒學資概算……一〇一
八、彦根高等商業學校陵水會規則……一〇四

第一、學年暦

昭和十一年四月一日（水）　第一學期始
四月三日（金）　神武天皇祭
四月七日（火）　春期休業終
四月十日（金）　入學式
四月廿九日（水）　天長節
七月十一日（土）　夏期休業始
九月五日（土）　夏期休業終
九月廿四日（木）　秋季皇靈祭
十月十五日（木）　第一學期終
十月十六日（金）　第二學期始
十月十七日（土）　神嘗祭
十月三十日（金）　勅語奉讀式

學年曆

十一月一日（日）　本校記念日
十一月三日（火）　明治節
十一月廿三日（月）　新嘗祭
十二月廿五日（金）　大正天皇祭　冬期休業始
昭和十二年一月一日（金）　新年拜賀式
一月三日（日）　元始祭
一月五日（火）　新年宴會
一月七日（木）　冬期休業終
二月十一日（木）　紀元節
春分日　春季皇靈祭
三月卅一日（水）　第二學期終

第二、沿革略

大正十一年
十月二十日　勅令第四百四十一號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正シ本校ヲ設置セラル
同　日　勅令第四百四十二號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ校長一人教授五人助教授一人書記四人ト定メラル
十二月廿三日　正五位勳四等中村健一郎本校校長ニ任セラル
十二月廿五日　文部省告示第五百八十六號ヲ以テ本校ノ位置ヲ滋賀縣彦根町トシ大正十二年四月授業ヲ開始ノ旨告示セラル
同　日　文部省告示第五百八十八號ヲ以テ本校ノ事務ヲ當分ノ間文部省ニ於テ取扱フ旨告示セラル
大正十二年
二月十日　文部省令第六號ヲ以テ本校規程ヲ定メラル
同　日　文部大臣ノ許可ヲ得テ本校規則制定

三月十九日　文部省告示第百七十九號ヲ以テ本校ノ事務ハ文部省ニ於テ取扱ヒ來リシ處三月二十一日ヨリ滋賀縣彥根町本校内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ事務所ヲ同所ニ移轉ス

四月廿一日　百五十一名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス

四月廿七日　文部省ヨリ教室事務室外三箇所ノ引渡ヲ受ク

五月八日　勅令第二百二十九號ヲ以テ本校職員ノ定員中教授ヲ十人ニ助教授ヲ四人ニ改正セラル

五月十五日　校務分掌規定制定

六月一日　寄宿舍規程、生徒制服及服裝規程制定

六月廿九日　教官會規程、成績考査細則、商事研究論文規程制定

七月廿八日　文部省ヨリ寄宿舍用附屬建物ノ引渡ヲ受ク

十月一日　圖書閱覽及貸出規程制定

十一月廿四日　文部大臣ノ許可ヲ得テ外國人特別入學細則制定

十二月三日　文部大臣ノ許可ヲ得テ物品會計細則制定

十二月十五日　生徒心得、總代副總代規程、文書處理規程、當直規程制定

大正十三年

一月十一日　文部省ヨリ第一實驗室、講義室、簿記室、生徒控所其他附屬建物ノ引渡ヲ受ク

三月十五日　非常手配規程制定

三月十九日　文部省ヨリ本校敷地一萬五千二百十二坪ノ引渡ヲ受ク

四月十五日　百五十名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス

五月十六日　勅令第百二十三號ヲ以テ本校職員ノ定員中教授ヲ十六人ニ、助教授ヲ六人ニ書記ヲ五人ニ改正セラル

六月十八日　文部省ヨリ商品陳列室、倉庫、書庫、特別教室、柔劍道場及物置其他附屬建物等ノ引渡ヲ受ク

十月三日　評議員會規則制定

十月十八日　生徒合宿所規程制定

大正十四年

二月五日　本校規則第四十七條第六號ヲ改正シ第十章寄宿舍及生徒合宿所ヲ加フ

二月十八日　文部省ヨリ講堂、實踐教室其他附屬建物ノ引渡ヲ受ク
二月廿五日　本校規則第三十五條、第三十八條、第三十九條改正
四月一日　勅令第八十一號ヲ以テ本校職員ノ定員中助教授ヲ五人ニ改正セラル
四月十三日　百四十三名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス
六月三日　勅令第二百十六號ヲ以テ本校職員ノ定員中教授ヲ二十人ニ、助教授ヲ七人ニ、書記ヲ六人ニ改正セラル
同　日　圖書委員規程制定
六月十一日　文部省ヨリ生徒集會所、物置、藥品庫ノ引渡ヲ受ク
七月十五日　文部省ヨリ正門、通用門、裏門並ニ周圍ノ柵、板塀、石垣及橋ノ引渡ヲ受ク
十月卅一日　開校式ヲ擧行ス
大正十五年
二月廿六日　野外演習及射撃演習ニ關スル規程制定
三月十二日　第一回卒業證書授與式ヲ擧行シ百三十一名ニ證書ヲ授與ス
四月十四日　百五十四名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス

四月廿三日　文部省令第二十號ヲ以テ本校規程第二條學科課程改正
五月廿九日　調査課ヲ廢シ研究部設置、研究部規程制定
十月二十日　文部省令第三十三號ヲ以テ本校規程中改正
同　日　本校規則中改正シ別科設置
昭和二年
三月十二日　第二回卒業證書授與式ヲ擧行シ百十七名ニ證書ヲ授與ス
四月十一日　本科百四十一名別科百三名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス
六月四日　本校規則第五十五條中改正
八月廿七日　校長中村健一郎願ニ依リ本官竝兼官ヲ免セラル
同　日　文部省事務官兼文部省督學官從五位勳五等矢野貫城本校校長ニ任セラル
十二月廿七日　勅令第三百六十六號ヲ以テ助手一人ヲ加ヘラル
昭和三年
一月廿五日　本校規則第八條第三號、第十三條第二號、第一號書式、第二號書式、第五號書式中改正

二月十六日　本校規則第六十條第一項中改正
三月十二日　本科第三回別科第一回卒業證書授與式ヲ擧行シ本科百三十六名別科六十五名ニ證書ヲ授與ス
四月十日　本科百九十四名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス
四月廿三日　別科七十三名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス
九月十二日　大禮記念奬學資金ニ關スル規程制定
九月廿八日　本校規則第五十五條中改正
十月三十日　勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正同日勅令第二百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員令ヲ改正サレ本校職員ニ生徒主事一人生徒主事補一人增員セラル
十一月一日　開校五周年記念式ヲ擧行ス
昭和四年
三月十日　本科第四回別科第二回卒業證書授與式ヲ擧行シ本科百十八名別科六十一名ニ證書ヲ授與ス
三月三十日　本校規則中自第二十八條至第三十一條削除
四月一日　第三十一條、第三十四條、第三十五條改正
本校規則第五十一條ノ次ニ一ケ條追加
四月十日　第五十四條改正
九月廿七日　本科百七十三名別科百十三名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス
十一月一日　研究部資料閲覽規程、研究部資料貸出規程制定
本校規則第三十四條ノ次ニ三ケ條追加、第三十八條、第三十九條、第五十七條中改正
昭和五年
三月十二日　本科第五回別科第三回卒業證書授與式ヲ擧行シ本科百四十五名別科八十五名ニ證書ヲ授與ス
四月十日　本科百三十一名別科百十二名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス
七月二日　評議員會規則廢止
十一月十九日　商品課、研究部ヲ廢シ調査課設置

昭和六年
三月十一日　研究部規程、研究部資料閲覧規程、研究部資料貸出規程、圖書委員規程、生徒合宿所規程廢止、調査委員規程、調査課資料閲覧規程制定

四月十日　本科第六回別科第四回卒業證書授與式ヲ擧行シ本科百七十名別科九十九名ニ證書ヲ授與ス

昭和七年
三月十二日　本科百七十三名別科百十八名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス

四月五日　本科第七回別科第五回卒業證書授與式ヲ擧行シ本科百三十八名別科百四名ニ證書ヲ授與ス

四月十一日　文部省令第十一號ヲ以テ本校規程第二條學科課程改正

六月十六日　本科百八十一名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス

十二月廿七日　野外演習及射撃演習ニ關スル規程、研究指導論文規程廢止、研究指導規程制定
勅令第三百九十五號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正サレ本校職員助教授ノ欄七人ヲ六人ニ改メ助手ノ欄一人ヲ削ラル

昭和八年
三月十一日　本科第八回別科第六回卒業證書授與式ヲ擧行シ本科百三十名別科九十六名ニ證書ヲ授與ス

四月十日　本科百六十六名別科百十一名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス

十一月一日　開校十周年記念式ヲ擧行ス

昭和九年
三月五日　本校規則第五十四條ノ別科學科課程改正

三月十日　本科第九回別科第七回卒業證書授與式ヲ擧行シ本科百六十三名別科九十四名ニ證書ヲ授與ス

四月五日　陸軍省文部省告示第二號ヲ以テ本校別科生徴集延期認定

四月十日　本科百五十八名別科百十二名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス

昭和十年
三月九日　本科第十回別科第八回卒業證書授與式ヲ擧行シ本科百六十九名別科百八名ニ證書ヲ授與ス

四月十日　本科百六十二名別科百八名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス

十月十五日　本校規則中第十一條、第十三條、第十五條改正

昭和十一年

三月八日　本科第十一回別科第九回卒業證書授與式ヲ擧行シ本科百四十九名別科九十名ニ證書ヲ授與ス

四月十日　本科百六十名別科百十名ニ入學ヲ許可シ入學式ヲ擧行ス

第三、彦根高等商業學校規程

大正十二年二月十日
文部省令第六號
改正　大正十五年四月第二〇號
大正十五年十月第三三號
昭和七年四月第一一號

第一條　彦根高等商業學校ノ修業年限ハ三年トス

第二條　彦根高等商業學校ノ學科目及其ノ程度左ノ如シ

必修學科目	選擇學科目	第一學年毎週教授時數		第二學年毎週教授時數		第三學年毎週教授時數	
		第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
修身		一	一	一	一	一	一
體操		二	二	二	二	二	二
數學		(商)二	(商)二				
	高等數學			(二)			
國語漢文		(中)一 (商)二	(中)一 (商)二				
商業作文			(中)一				
英語		七	七	七	七	六	六
商業經濟英書講讀				一	一	一	一
選擇外國語	選擇外國語	四	四	(二)	(二)	(二)	(二)
自然科學		(商)二	(商)四				
世界最近世史		(商)二					
文化史	文化史		二	(二)			
哲學概論				二			
	論理學				(二)		
	社會學					(二)	
	教育學						(二)

經濟心理學	憲法	行政法	國際法	民法	商法	民事法規	商事法規	經濟原論	貨幣論	景氣論	商業政策	工業政策	農業政策
	二							三					
								三					
			(二)	三					二				
		(二)		三							二		(二)
					三	(二)						(二)	
(二)					三		(二)			(二)			

植民政策	社會政策	商業史	經濟學史	財政學	統計學	海外經濟事情	商業概論	經營經濟學	市場及倉庫論	取引所論	銀行及金融論	外國爲替論	信託論
							(中)二						
								二					
		二	(二)			二		二					
		二			二	(二)			三		二		(二)
(二)				二								二	
	(二)			二						(二)			

投資論					(二)	
交通論		二				
海運論				(二)		
鐵道論			(二)			
保險總論及海上保險論					二	一
生命保險論					(二)	
火災保險論						(二)
簿記	(中)四	(中)四				
原價會計			一	二		
會計學					二	一
會計監査						一
會計實務						(二)
工業經營論					(二)	
商業經營實踐					(二)	(二)

貿易實務					(二)	
商業數學		(中)二	二			
珠算	(中)一					
商品及商品理化	三	一				
商品實驗			(二)			
工學	二					
商業地理	二	二				
研究指導					二	二
特別講義			一	一	一	一
計	三四	三四	二八(六)	二八(六)	二四(八)	二一(八)

備考

一、本表中(商)印ヲ付シタルハ商業學校出身者及之ニ準スル者ニ(中)印ヲ付シタルハ其ノ他ノ者ニ之ヲ課ス

一、選擇外國語ハ英語、獨逸語、佛蘭西語、支那語及露西亞語中其ノ一ヲ選擇履修セシム　但シ學校ノ都合ニ依リ其一種又ハ數種ヲ缺クコトアルヘシ

一、本表中時數ヲ括弧ニテ示セルモノハ選擇學科目ニシテ第二學年ニ於テハ每學期三科目第三學年ニ於テハ每學期四科目ヲ選擇履修セシム　但シ學校ノ都合ニ依リ其一科目又ハ數科目ヲ缺クコトアルヘシ

一、本表ノ選擇學科目中商業經營實踐及選擇外國語ハ一ケ年ヲ通シ他ハ一學期間ニ完了スルモノトス

一、本表ノ外隨意科目トシテタイプライティング、珠算、書法、速記、外國語等ヲ課スルコトアルヘシ

第三條　本校卒業者ニシテ更ニ既修ノ學科目ニ就キ研究セムトスル者ハ研究生トシテ二年以內在學セシムルコトヲ得

第四條　彦根高等商業學校ニ別科ヲ置クコトヲ得

第五條　別科ニ關スル規程ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年十月二十日文部省令第三十三號ヲ以テ第四條第五條制定ニ對スル附則、本令ハ昭和年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年四月五日文部省令第十一號ヲ以テ第二條改正ニ對スル附則、本令ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス、本令施行ノ際現ニ第二學年以上ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ新舊學科課程ヲ斟酌シテ學校長之ヲ定ム

第四、彦根高等商業學校規則

第一章　總　則

第一條　本校ハ實業學校及專門學校令ニ依リ商業上須要ナル高等ノ教育ヲ施スヲ以テ目的トス

第二條　本校ノ修業年限ハ三年トス

第二章　學科目及教授時數

第三條　本校ノ學科目及其ノ程度並每週教授時數左ノ如シ（本校規程第二條參照）

第三章　學年學期及休業日

第四條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
學年ヲ二學期ニ分チ第一學期ハ四月一日ヨリ十月十五日マテ第二學期ハ十月十六日ヨリ翌年三月三十一日マテトス

第五條　一學年中休業日左ノ如シ

一　日曜日
二　大祭祝日
三　本校記念日（十一月一日）
四　春期休業（四月一日ヨリ七日マテ）
五　夏期休業（七月十一日ヨリ九月五日マテ）
六　冬期休業（十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ）

第四章　入學在學

第六條　入學期ハ毎年學年ノ始トス

第七條　第一學年ニ入學ヲ許ス者ハ左記各號ノ一ニ該當スル者ノ中ヨリ選拔ス

一　中學校ヲ卒業シタル者
二　專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者
三　專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

第八條　入學者ノ選拔ハ試驗檢定又ハ無試驗檢定ニ依リ左記各號ヲ考査シ之ヲ行フ

一　選拔試驗ノ成績
二　體格
三　人物性行、學業成績及履歷

第九條　第七條第一號第三號ノ學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ヨリ其ノ年三月末日マテニ卒業スヘシト認メラレタル者ハ本校入學ニ關シ同年ニ於ケル當該學校ノ卒業者ニ準スルコトヲ得
但本校入學者決定ノ時期ニ於テ仍卒業セサル者ハ出願ノ効力ヲ失フ

第十條　選拔試驗ハ中學校又ハ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノ商業學校卒業ノ程度ニ於テ之ヲ行ヒ試驗科目ハ生徒募集ノ都度之ヲ公示ス

第十一條　第七條第一號第三號ニ掲ケタル學校ヲ卒業シタル入學志願者、在學中最後ノ三學年ヲ通シ其ノ學年ノ及第者全數五分ノ一以上ニシテ出身

中等學校長ノ推薦アルトキハ無試驗檢定ニ依リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條　ノ卒業見込者、最後ノ三學年中前二學年ノ成績前項ノ規定ニ該當シ最終學年第一學期及第二學期ノ成績同學年生徒全數ノ十分ノ一以內ノ席次ニアリ當該學校長ノ推薦アルトキ亦同シ　但卒業期ニ於テ前項規定ノ成績ヲ得サリシトキハ無試驗檢定ハ其ノ効力ヲ失フモノトス

第十二條　無試驗檢定出願者其ノ檢定ニ合格シ得サル場合試驗檢定ヲ受ケント欲スル者ハ別ニ出願ヲ要セスシテ第八條ノ試驗檢定ヲ受クルコトヲ得

第十三條　入學出願者ハ左記ノ書類ニ寫眞（最近ノ撮影ニシテ脫帽半身手札形）及檢定料ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ

一　入學願書
二　成績證明及人物調査
三　身體檢査證

檢定料ハ金五圓トシ納付後ハ何等ノ事由アルモ還付セス

入學願書、成績證明及人物調書、身體檢査證ノ樣式及記入事項ハ學校長之ヲ定ム

第十四條　入學許可ヲ得タル者ハ其許可ノ日ヨリ廿日以內ニ在學誓書及戶籍謄本ヲ學校長ニ差出スヘシ

第十五條　退學者退學許可ノ日ヨリ二箇年以內ニ再入學ヲ出願スルトキハ詮議ノ上原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十六條　保證人ハ生徒ノ父兄後見人又ハ親族中ノ成年者ニシテ生徒在學中一切ノ事件ニ付キ完全ニ責務ヲ盡シ得ヘキ者タルヘシ

第十七條　保證人轉籍轉居改氏改名若クハ改印等ヲ爲シタルトキハ直ニ之ヲ屆出ツヘシ

第十八條　保證人死亡若クハ第十六條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ在學誓書ヲ差出スヘシ

第十九條　生徒轉籍改氏改名若クハ改印シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ屆出スヘシ

但轉籍改氏改名ノ屆出ニハ戶籍抄本ヲ添付スヘシ

第二十條　生徒ハ本校制定ノ制服制帽ヲ著用スヘシ

但新入學生ハ入學ノ日ヨリ一箇月間之ヲ猶豫ス

第二十一條　生徒ハ學校長ノ許可ヲ受クニアラサレハ他ノ學校ニ入リ又ハ他ノ學校若クハ官廳ニ於ケル各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

第五章　修業及卒業

第二十二條　各學年ノ課程修了ハ學業成績及勤惰ヲ考査シテ之ヲ定ム

第二十三條　未修了ノ學科目多クシテ次學年ノ課程ヲ履修スルニ不適當ト認メタル者ハ原學年ノ課程ヲ再修セシム

第二十四條　未修了ノ學科目ニ就テハ在學中又ハ第三學年次ノ考査修了後滿二年以內ニ再考査ヲ受クルコトヲ得

第二十五條　第三學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第二十六條　各學年ノ課程ヲ履修セルモ前條ニ該當セサル者ニハ修業證書ヲ授與ス

第二十七條　修業證書ヲ授與セラレタル者ニシテ第二十四條ノ再考査ヲ受ケ合格シタルトキハ卒業證書ヲ授與ス

第六章　懲戒

第二十八條　校規命令又ハ訓育ノ主旨ニ違背シ生徒ノ本分ニ背戻スル者ハ學校長之ヲ懲戒ス

第二十九條　懲戒ハ之ヲ分テ戒飭謹愼放校ノ三トス

謹愼ニハ停學ヲ附加スルコトアルヘシ

第三十條　戒飭ハ訓戒ヲ加ヘテ將來ヲ戒メ謹愼ハ一定期間特別監督ノ下ニ反省セシメ放校ハ學校ヨリ放逐ス

第七章　授業料

第三十一條　授業料ハ一學年金八拾圓トシ左ノ二期ニ之ヲ分納セシム

第一期	自四月 至七月	金四拾圓	
第二期	自十一月 至翌年三月	金四拾圓	

第三十二條　授業料ハ定日ニ納付スヘシ　但定日ハ學校長之ヲ定ム

第三十三條　授業料ハ一旦納付ノ後ハ如何ナル事由アルモ之ヲ還付セス

第三十四條　休學ノ許可ヲ得タル生徒ヨリハ休學期間中授業料ヲ徵收セス

但授業料徵收期日前ニ休學又ハ退學シタルトキハ其ノ月ノ授業料ハ金八圓トシテ指定ノ日ニ於テ之ヲ納付セシム

第三十五條　家庭ノ事情ニ依リ學資ノ支辨困難ナル生徒ニハ學業ノ勤惰性行等ヲ參酌シテ授業料ヲ減

額又ハ免除スル事アルヘシ

第三十六條　授業料ノ減額又ハ免除ヲ受クヘキ生徒ハ學年度毎ニ之ヲ定ム　但學年度ノ中途ニ於テ之ヲ定メタルトキハ次ノ徴收期分ヨリ減免ス

第三十七條　授業料ノ減免ハ其ノ必要ナル事情止ミタリト認メタル場合又ハ其ノ減免ヲ受クル者ニ於テ學業ヲ怠リ若クハ不都合ナル行爲アリタル場合ハ之ヲ止ム

第三十八條　休學ノ事故止ミ就學シタル者ハ其ノ事由ノ生シタル月ヨリ授業料減免ヲ止メラレタル者ハ其ノ翌月分ヨリ一箇月金八圓ノ割ヲ以テ次ノ授業料納付期ノ前月迄ノ授業料ヲ指定期日内ニ納付スヘシ　但既ニ其ノ期ノ授業料納付濟ノ者ハ此限ニアラス

第三十九條　定日ニ授業料ヲ納付セサルトキハ本人ニ之ヲ催告シ猶納付セサルトキハ保證人ニ催告ス

前項ノ催告ヲ受ケ猶納付セサルトキハ第四十六條第六號ニ依リ處分ス

第四十條　實業學校教員養成規程ニ依リ授業料免除又ハ學資補給ヲ出願シタル生徒ニ對シテハ免除又ハ補給決定ニ至ルマテ授業料ノ徴收ヲ猶豫シ免除又ハ補給ヲ受ルニ至リタル生徒ヨリハ之ヲ徴收セス

第八章　休學退學

第四十一條　疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニヨリテ三箇月以上修學スルコト能ハスト思料スルトキハ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得　但疾病ニ因リ休學セントスル場合ニ於テハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添フルヲ要ス

第四十二條　陸軍又ハ海軍現役ニ服シ若クハ召集ニ應スル者ハ其ノ服役又ハ召集ノ期間學校長ノ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得

第四十三條　休學ノ許可ヲ得タル者ハ休學事由ノ止ミタル翌日ヨリ原學年ノ課程ヲ修メシム

前條ニヨリ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除後三週間以内ニ於テ原學年ニ復スヘシ

第四十四條　休學ハ同一學年ニ於テ一箇年以内ニ限ル

但第四十二條ニ依ル休學ハ此限ニアラス

第四十五條　生徒退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第四十六條　左記各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ス

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學業劣等若クハ身體虚弱ニシテ修學ニ適セスト認メタル者

三　休學ノ許可ヲ得スシテ引續キ一箇年以上缺席シタル者
四　正當ノ理由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者
五　正當ノ理由ナクシテ屢々遲刻缺席シ出席常ナラサル者
六　授業料又ハ寄宿料滯納三十日ニ及フ者

第九章　研究生

第四十七條　本校卒業生ニシテ既修ノ學科目ニ就キ更ニ研究ヲ爲サント欲スル者ニハ願出ニ依リ二箇年以內研究生トシテ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十八條　研究生ハ在學期ノ終ニ於テ研究學科ニ關スル報告書ヲ作リ指導教官ヲ經テ之ヲ學校長ニ提出スヘシ

第四十九條　研究報告書ノ成績相當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第五十條　研究生ニハ特別ノ規程アル場合ヲ除ク外總テ本校諸規程ヲ準用ス

第十章　別科生

第五十一條　別科ハ商業ニ從事セントスル者ニ須要ナル知識技能ヲ修得セシムルヲ以テ目的トス

第五十二條　別科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ第七條第一號乃至第三號ニ該當スル者ノ中ヨリ選拔ス

但商業學校卒業生ハ之ヲ除ク

第五十三條　修業年限ハ一年トス

第五十四條　學科目及每週教授時數左ノ如シ

學科目 ＼ 學期	第一學期	第二學期
修身公民科	一	一
體操	一	一
法律學	二	二
經濟學	二	二
財政學	三	三
商業學	五	五
簿記及會計學	二	二
商業算術及珠算	七	五
商業地理	四	五
商品學	四	二

商業英語				四
商業作文及書法			一	一
タイプライテイング				二
商業實踐			一	
選擇科目				二
合計			二	二
			三七	三六

備考

體操二時間ノ中一時間三十分ハ之ヲ教練ニ充ツ尙年四日以上野外教練ヲ行フ選擇學科目ハ第一學期ニ於テハ工業大意、教育學、第二學期ニ於テハ商業史、海外經濟事情ノ內各一科目ヲ選擇履修セシム

第五十五條　別科生ノ授業料ハ一學年金六拾五圓トシ左ノ二期ニ之ヲ分納セシム

第一期	自四月至十月	金參拾五圓
第二期	自十一月至翌年三月	金參拾圓

第五十六條　休學ノ許可ヲ得タル生徒ヨリハ休學期間中授業料ヲ徵收セス

授業料徵收期日前ニ休學又ハ退學シタルトキハ其ノ月ノ授業料ハ金六圓五拾錢トシテ指定ノ日ニ於テ之ヲ納付セシム

休學ノ事故止ミ就學シタル者ハ其ノ事由ノ生シタル月ヨリ一箇月金六圓五拾錢ノ割ヲ以テ次ノ授業料納付期ノ前月迄ノ授業料ヲ指定期日內ニ納付スヘシ　但既ニ其ノ期ノ授業料納付濟ノ者ハ此限ニアラス

第五十七條　規則第四條乃至第六條、第八條乃至第十條、第十三條、第十四條、第十六條乃至第二十條、第二十二條乃至第三十條、第三十二條、第三十三條、第三十九條、第四十一條乃至第四十六條ハ別科ニ之ヲ準用ス

第十一章　寄宿舍及生徒合宿所

第五十八條　寄宿舍ハ舍生ヲシテ本校教育ノ趣旨ニ基キ協同生活ノ訓練ヲ受ケシムル處トス

第五十九條　新ニ入學シタル者ハ自宅ヨリ通學スル者、生徒合宿所ニ入ル者及特ニ外宿ノ許可ヲ得タル者ヲ除クノ外總テ寄宿舍ニ入ルヘキモノトス　但寄宿スヘキ者ノ數定員ニ超過スルトキハ外泊ヲ命スルコトアルヘシ

第六十條　寄宿舍ニ入リタル者ハ其ノ在舍期間ヲ一學年トシ半途ニ於テ退舍スルコトヲ得ス

第六十一條　寄宿料ハ一箇年金貳拾圓トシ左ノ二期ニ分納セシム

第一學期	自四月 至十月	金拾圓
第二學期	自十一月 至翌年三月	金拾圓

學期ノ後半ニ於テ入舍シタル者ニハ其ノ學期ノ寄宿料半額ヲ納付セシム

納期ハ學校長之ヲ定ム　但納期ノ初日ヲ過キテ入舍シタル者ノ當期納入期間ハ入舍ノ日ヨリ七日間トス

學期ノ中途退舍スルコトアルモ既納ノ寄宿料ハ還付セス

第六十二條　生徒合宿所ハ寄宿舍代用トシテ生徒ヲ合宿セシムル處トス

生徒若干名共同シテ一家全部ヲ借受ケ自炊ヲ爲ストキハ之ヲ生徒合宿所ト爲スコトアルヘシ

附　則

本則ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ細則ヲ以テ之ヲ定ム

本則ハ昭和四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本則ハ昭和九年三月五日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式（在學誓書樣式）

在學誓書

私儀今般御校ニ入學許可相成候ニ付テハ校規命令等堅ク相守リ在學中專心勉勵致卒業ニ至ルマテ猥ニ退學仕間敷仍而誓書如件

本籍
族稱
住所

昭和　年　月　日

何　某　印

年　月　日生

右何某今般御校ニ入學許可相成候ニ付テハ在學中校規命令等堅ク相守ラセ候ハ勿論卒業又ハ退學後ト雖本人在學中ニ係ル一切ノ事件ハ拙者引受可申仍而保證如件

本籍
族稱
職業
住所

本人トノ續柄

昭和　年　月　日

彦根高等商業學校長何某殿

保證人　何　某　印

年　月　日生

第二號書式（卒業證書様式）

卒業證書

右者本校所定ノ課程ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

昭和　年　月　日

彦根高等商業學校長位勳功學位爵　何　某　印

族籍

何　某

年　月　日生

第三號書式（別科卒業證書様式）

卒業證書

右者本校別科ノ課程ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

昭和　年　月　日

彦根高等商業學校長位勳功學位爵　何　某　印

族籍

何　某

年　月　日生

第五、細則

一、校務分掌規程

第一條　本校ニ生徒、教務、圖書、調査及庶務ノ五課ヲ置キ校務ヲ分掌セシム

第二條　各課ニ課長ヲ置キ教授中ヨリ校長之ヲ命ス

第三條　庶務課ヲ庶務係及會計係ニ分チテ各主任ヲ置キ書記中ヨリ校長之ヲ命ス

第四條　各課長ハ校長ノ命ヲ承ケ主掌事務ヲ處理ス

第五條　各課員ハ課長ノ指揮ニ從ヒ事務ニ從事ス

第六條　各學級ニ學級主任ヲ置キ教官中ヨリ校長之ヲ命ス

第七條　各課ノ主掌事務ニシテ他ノ課ニ關聯スルモノハ關係各課ノ合議ヲ經テ校長ノ指揮ヲ請フヘシ

第八條　事務ノ所屬不明ナルトキハ校長ノ指示ニ從フヘシ

第九條　各課員ハ時宜ニ依リ他ノ課ノ事務ヲ補助スヘシ

第十條　生徒課ノ主掌事務左ノ如シ

一、生徒ノ訓育及風紀ニ關スルコト
二、生徒ノ操行及勤惰ニ關スルコト
三、生徒ノ監督及賞罰ニ關スルコト
四、生徒ノ服裝ニ關スルコト
五、學級總代其ノ他生徒委員ニ關スルコト
六、生徒ノ願伺届ニ關スルコト
七、生徒ノ出缺調査表作製ニ關スルコト
八、生徒ノ團體及集會ニ關スルコト
九、體育及運動ニ關スルコト

一〇、學校衛生ニ關スルコト
一一、身體檢査ニ關スルコト
一二、野外演習、射撃演習及修學旅行ニ關スルコト
一三、生徒ノ掲示ニ關スルコト
一四、生徒ノ學資補給ニ關スルコト
一五、生徒ノ學資保管ニ關スルコト
一六、生徒ノ宿所ニ關スルコト
一七、生徒舍宿ニ關スルコト
一八、生徒ノ汽車、汽船割引證ニ關スルコト
一九、生徒ノ郵便物ニ關スルコト
二〇、寄宿舍生ノ指導ニ關スルコト
二一、寄宿舍當直ニ關スルコト
二二、生徒ノ入舍退舍ニ關スルコト
二三、警備隊ニ關スルコト

第十一條　教務課ノ主掌事務左ノ如シ

一、學科課程及教授要目ニ關スルコト
二、教官ノ分擔及授業時間ノ配當ニ關スルコト
三、授業及臨時休業ニ關スルコト
四、學級編成ニ關スルコト
五、生徒ノ學科選擇ニ關スルコト
六、教科用圖書ニ關スルコト
七、教授上ノ設備ニ關スルコト
八、生徒募集及入學試驗ニ關スルコト
九、生徒ノ入學退學及休學ニ關スルコト
一〇、生徒ノ學籍ニ關スルコト
一一、試驗及成績考査ニ關スルコト
一二、生徒兵役ニ關スルコト
一三、生徒ノ在學、成績並履修證明ニ關スルコト

一四、卒業生ノ教員免許狀ニ關スルコト
一五、教官會議ニ關スルコト
一六、授業參觀ニ關スルコト

第十二條　圖書課ノ主掌事務左ノ如シ

一、購入圖書ノ選定ニ關スルコト
二、寄贈及委託圖書ニ關スルコト
三、圖書ノ保存及整理ニ關スルコト
四、圖書ノ閲覽及貸出ニ關スルコト
五、圖書印ヲ管守スルコト
六、書庫及閲覽室ニ關スルコト
七、圖書目錄編纂ニ關スルコト
八、新聞雜誌年報等ノ保存及整理ニ關スルコト

第十三條　調査課ノ主掌事務左ノ如シ

一、商業經濟法律及其ノ他之ニ關スル學術ノ調査研究ニ關スルコト

二、調査研究資料ノ蒐集整理及保管ニ關スルコト
三、調査研究ノ報告、發表及公刊ニ關スルコト
四、資料ノ閲覧及貸出ニ關スルコト
五、講習ニ關スルコト
六、公衆ノ依頼ニヨル質疑應答ニ關スルコト
七、調査委員會ニ關スルコト
八、大禮記念奬學資金運用ニ關スルコト
九、商品陳列館ノ設備ニ關スルコト
一〇、商品見本ノ蒐集、整理及保管ニ關スルコト
一一、移植民調査室ニ關スルコト
一二、其ノ他調査研究ニ關スル一切ノコト

第十四條　庶務課庶務係ノ主掌事務左ノ如シ

一、御眞影及勅語謄本ノ保管ニ關スルコト
二、儀式ニ關スルコト

三、校長ノ官印及校印ヲ管守スルコト
四、校族ニ關スルコト
五、職員ノ進退及身分ニ關スルコト
六、職員ノ服務ニ關スルコト
七、傭外國人ニ關スルコト
八、巡視ノ進退及監督ニ關スルコト
九、公文書處理ニ關スルコト
一〇、學校一覧、年報及官報報告ニ關スルコト
一一、諸規則ノ制定改廢ニ關スルコト
一二、法令、諸規則其ノ他重要書類ノ保存ニ關スルコト
一三、卒業生及修業生ニ關スルコト
一四、卒業及修業證明書ニ關スルコト
一五、外來者ノ應接ニ關スルコト
一六、寄贈ノ金品等ニ關スルコト

一七、事務職員會議ニ關スルコト
一八、教官ノ汽車、汽船割引證ニ關スルコト
一九、事務當直ニ關スルコト
二〇、校内一般ノ警備取締ニ關スルコト
二一、日誌及諸記錄ニ關スルコト
二二、各分課ノ主掌ニ屬セサル一切ノコト

第十五條　庶務課會計係ノ主掌事務左ノ如シ
一、歳入歳出豫算及決算ニ關スルコト
二、國有財產及資金ノ保管ニ關スルコト
三、金錢ノ收支及保管ニ關スルコト
四、物品購入及不用物品處分ニ關スルコト
五、物品ノ出納及保管ニ關スルコト
六、營繕ニ關スルコト
七、電話、電燈、瓦斯、給水及煖爐取扱ニ關スルコト

八、巡視以外ノ傭人ノ進退及監督ニ關スルコト
九、其ノ他會計ニ關スル一切ノコト

第十六條　學級主任ノ擔任事項左ノ如シ
一、當該學級生徒ノ訓育ニ關スルコト
二、當該學級生徒ノ勤惰行狀服裝ニ關スルコト
三、當該學級生徒ノ成績ニ關スルコト
四、其ノ他當該學級ニ關スル一切ノコト

二、生徒心得

綱領

本校生徒ハ常ニ自己ノ地位ヲ省ミ社會ノ風潮ト世界ノ形勢トニ留意シ心身ノ修養ニ力メ以テ卓越シタル人格ヲ養成シ立身報國ノ基ヲ樹ツヘシ而シテ之ニ到ルノ道多々アリト雖居常左ノ五項ヲ實踐躬行スヘシ

一、智德ヲ涵養シ情操ヲ陶冶スヘシ

二、身體ヲ健全ニシ質實剛健ナルヘシ
三、禮讓ヲ重ンシ品格ヲ高クスヘシ
四、信義ヲ守リ責任ヲ重ンスヘシ
五、自治協和ヲ旨トシ雄大進取ノ氣象ヲ涵養スヘシ

心得

第一條　登校ノ際ハ規定ノ服裝ヲナスヘシ若シ病氣其ノ他ノ事由ニ依リ制服ヲ着用スルコトヲ能ハサルトキハ生徒課ニ願出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

第二條　外出ノ際和服ヲ着用スルトキハ必ス制帽及袴ヲ着用スヘシ

第三條　授業ノ始ト終ニハ起立シテ教官ニ敬禮スヘシ

第四條　始業合圖ニ依リ教室内所定ノ席ニ着クヘシ遲刻者ハ受持教官ノ許可ヲ得テ着席スヘシ

第五條　缺課及二日以内ノ缺席ハ登校ノ當日届出簿ニヨリ届出テ缺席三日以上ニ亘ルトキハ其ノ事由及日限ヲ詳記シ書面ヲ以テ登校二日以内ニ學級主任ノ認印ヲ受ケ生徒課ニ届出ツヘシ

病氣缺席一週間以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第六條　學期試驗ニ缺席シタル者ハ當該學科試驗ノ翌日マテニソノ旨届出ツヘシ

病氣ニ由ル場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第七條　近親死亡ノ爲メ缺席スル場合ハ生徒課ニ届出ツヘシ
父母、祖父母ノ場合ハ三日、兄弟姉妹ノ場合ハ一二日ヲ忌引トス

第八條　休學願、退學願及在學證明書下附願ハ教務課ニ、戸籍上ノ異動届、身分證明書下附願宿所届及其ノ他ノ願届書ハ生徒課ニ差出スヘシ

願、届等ノ書類ハ總テ校長宛トスヘシ

第九條　教室、生徒控所其ノ他學校ノ建物及器具等ヲ使用セントスルトキハ事由ヲ具シ生徒課ニ願出ツヘシ

第十條　校舍器具等ヲ破壞汚損シタルトキハ直ニ生徒課ニ届出ツヘシ事情ニヨリ辨償セシムルコトアルヘシ

第十一條　告示ハ揭示場ニ揭示スルヲ以テ常ニ之ニ注意スヘシ揭示シタルトキハ之ヲ了知シタルモノト看做ス

第十二條　生徒揭示ヲナサントスルトキハ生徒課ノ認印ヲ受ケタル後之ヲ生徒揭示場ニ揭示スヘシ

第十三條　喫煙ハ生徒控所運動場其他火鉢ノ設備アル場所ニ於テシ食事ハ所定ノ場所ニ於テナスヘシ

第十四條　帽子、外套、雨具其ノ他ノ所持品ハ各自ニ於テ保管スヘシ場所ヲ特定シタルモノハ其ノ場所ニ置クヘシ

第十五條　通學生ハ入學後一週間以内ニ又轉宿シタル場合ハ三日以内ニ其ノ宿所ヲ生徒課ニ届出ツヘシ

第十六條　學校ノ内外ヲ問ハス金錢ヲ募集シ集會ヲ催シ又ハ團體ヲ組織シ或ハ印刷物ヲ配付セントスルトキハ豫メ生徒課ニ申出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條　生徒ハ自己ノ品位ヲ瀆シ校紀ヲ紊ス虞アル場所ニ立入ルヘカラス

三、總代副總代規程

第一條　各組ニ總代及副總代各一名ヲ置ク

第二條　總代及副總代ハ其ノ組生徒ノ互選ニ依リ最高點ヲ得タル四名中ヨリ校長之ヲ選任ス互選ハ四名連記法ニ依ル

第三條　第一學年ニ在リテハ第一學期ハ校長ヨリ總代及副總代ヲ任命シ第二學期ハ前條ニ依リ選任ス

第四條　總代及副總代ノ任務左ノ如シ

一、學校又ハ教官ノ命令及通知ヲ生徒ニ傳達スルコト

一、教室内ノ秩序及整頓ヲ保持シ竝ニ組ニ關スル諸般ノ要務ニ任スルコト

第五條　總代及副總代ノ任期ハ學期ヲ以テ終ル

四、生徒制服及服裝規程

第一條　生徒ノ制服左ノ如シ

制帽	正帽	制式	海軍形（黒毛織ノ帶布ヲ附ス）
		地質	黒羅紗
		徽章	圖ノ如シ
帽	略帽	制式	普通形
		帶布	黒無地
		地質	白麥稈
		徽章	正帽ニ同シ
制式	圖ノ如シ		

細則　生徒制服及服裝規程

第二條　六月一日ヨリ九月三十日マテハ儀式及體操ノ場合ヲ除キ略帽ヲ用フルコトヲ得

制服	上衣	地質	羅紗
		色合	黒又ハ紺
		釦	圓ノ如シ
		襟章	左右ニCノ金字ヲ附ス
	洋袴	制式	圓ノ如シ
		地質色合	上衣ニ同シ
靴	制式		編上ケ
	色合		黒
脚胖	制式		巻脚胖
	地質色合		茶褐小倉
作業服	制式		制服ニ同シ
	地質		盛霜降リ小倉

第三條　雨雪天ノ時ハ儀式及體操ノ場合ヲ除キ長靴ヲ用フルコトヲ得

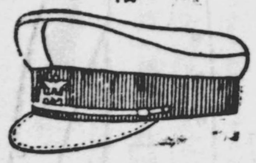
第四條　儀式ノ際ハ制服ヲ着用スヘシ

正帽徽章
縦一寸一分
横一寸
地金色

上衣釦
金色
直徑七分

襟章
金色
縦徑四分

正帽

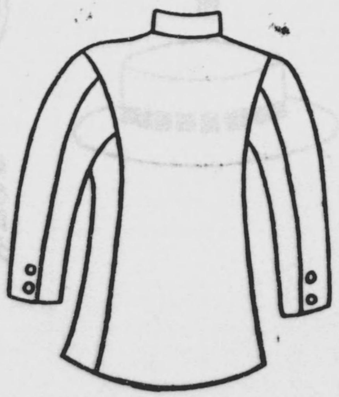


略帽

上衣正面

洋袴

上衣背面



五、生徒學資保管規程

第一條　生徒又ハ其ノ學資支給者ハ生徒課ニ學資ノ保管ヲ委託スルコトヲ得

第二條　送金ハ振替貯金法ニ依ルヘシ

振替貯金口座番號及加入者名左ノ如シ

口座番號　大阪六六二四五番

加入者名　彦根高等商業學校生徒課

第三條　送金ニ對シテハ受領書ヲ發セス振替貯金ノ受領票ヲ以テ之ニ充ツ

第四條　保管ノ委託ヲ受ケタル時生徒ニ預金通帳ヲ交付ス

第五條　送金ヲ受ケタル時ハ之ヲ生徒ニ通知ス生徒ハ速ニ預金通帳ヲ提出シ記入ヲ受クヘシ

第六條　學資ノ拂渡ハ所定ノ時間内ニ之ヲ行フ

第七條　拂渡ヲ受クル時預金通帳及印章ヲ持參スヘシ

第八條　保管金ニハ利子ヲ附セス保管金ノ利子ハ事務ノ經費ヲ支辨シ剩餘金ハ本校學友會ニ寄附スルモノトス

細則　生徒學資保管規程

第九條　生徒卒業又ハ退學ノ際殘金アルトキハ本人又ハ支給者ニ返付ス

六、寄宿舍規程

第一條　第一學年生徒ハ自宅通學又ハ特別ノ事情アル者ノ外入舍スヘキモノトス

第二條　舍生ハ舍生規約ヲ嚴守スヘシ

第三條　舍內ニ役員ヲ置キ役員ハ舍生ノ選擧シタル者ノ中ヨリ校長之ヲ任命ス

第四條　生徒主事又ハ當直員ハ隨時人員點檢ヲ行フ

第五條　外出旅行歸省等ニ關シテハ左ノ手續ヲ行フヘシ

一、外出ノ際ハ必ス寄宿舍女關備付ノ名札ヲ裏返シ（朱書）歸舍ノ際ハ之ヲ元（黑書）ニ復シ置クヘシ

一、外出ノ際門限時刻ニ遲ルヘキ事情アル者ハ豫メ其ノ事由ヲ事務員ニ屆出ツヘシ

一、已ムヲ得サル事故生シ門限後歸舍スル者ハ直ニ遲刻ノ事由ヲ寄宿舍受付備付ノ帳簿ニ記入スヘシ

一、已ムヲ得サル事故ニ依リ門限後特ニ外出セントスル者ハ其ノ事由ヲ明ニシ寄宿舍當直員ヨリ許可ヲ受クヘシ

一、旅行歸省若クハ外泊セントスル者ハ豫メ其ノ事由ヲ寄宿舍事務室備付ノ帳簿ニ記入シ屆出ツヘシ

一、外出中俄ニ事故ヲ生シ前項ノ手續ヲナス遑ナクシテ外泊スルトキハ速ニ其ノ事由及ヒ宿所ヲ當直員ニ通報シ歸舍ノ際更ニ外泊手續書ニ其ノ事由ヲ詳記シ外泊先ノ證明書ヲ添ヘ生徒主事ニ差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第六條　各室備付ノ器具ハ許可ナクシテ他ニ移スヘカラス

第七條　舍生ニシテ舍內備付ノ器具等ヲ破壞若クハ亡失シタルトキハ速ニ事務員ニ屆出ツヘシ

但情狀ニヨリ之ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

七、集會所使用規程

第一條　集會所ハ本校職員、生徒及卒業生ノ使用ニ供ス

第二條　集會所ハ平日ハ放課時ヨリ休日ハ午前八時ヨリ開キ午後十時ニ閉ツ

第三條　集會所內ノ各室ハ任意ニ使用スルコトヲ得

第四條　集會ノ爲メ集會所內ノ各室ニツキ之ヲ專用セントスル者ハ其ノ代表者ヨリ生徒課ニ申出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

第五條　集會所內ニテハ一切酒類ヲ用フヘカラス

第六條　集會所備付ノ器具、建具等ヲ破損シタル者ハ之ヲ辨償スヘキモノトス

八、學校醫職務規程

第一條　學校醫ハ校長ノ命ヲ受ケ學校衛生ニ關スル職務ニ從事ス

第二條　學校醫ハ每月二回授業時間內ニ登校シ衛生上ノ事項ヲ視察スヘシ

學期學年ノ始終ニ於テ特ニ視察ヲ必要トスルコト亦同シ

第三條　學校醫ハ每週二回寄宿舍ニ出頭シ衛生ニ關スル事項ヲ視察シ又疾病ニ罹レル生徒アラハ之ヲ診察スヘシ

第四條　學校醫ハ生徒ノ請求ニ應シ學校ニ差出スヘキ診斷書ヲ作成スヘシ

第五條　學校醫ハ學生生徒兒童身體檢查規程ニ依リ生徒ノ身體ヲ檢查シ身體檢查票ヲ調製スヘシ

第六條　學校醫ハ學校及寄宿舍內ニ傳染病ノ發生シタルトキハ直ニ必要ナル豫防又ハ消毒方法ヲ施行シ尙其ノ情況ニヨリ學校又ハ寄宿舍全部若クハ一部分ノ閉鎖又ハ遮斷ヲ必要ト認ムルトキハ之ヲ校長ニ申告スヘシ

第七條　學校醫ハ前各條ノ任務ノ外校長ヨリ請求アリタルトキハ臨時生徒ノ病症ヲ診斷シ又身體ヲ檢查シ其ノ他衛生ニ關スル事務ヲ執ルヘシ

第八條　學校醫ハ衛生上必要ト認メタル事項ニツキテハ校長ニ申告スヘシ

九、敎官會規程

第一條　敎官會ハ敎授、生徒主事、助敎授、生徒主事補、講師及配屬將校ヲ以テ之ヲ組織ス

但シ校長ニ於テ必要ト認ムルトキハ他ノ職員ヲシテ列席セシムルコトアルヘシ

第二條　敎官會ハ左ノ事項ニ付校長ノ諮問ニ應シ審議スルモノトス

一、學科課程ニ關スル事項

二、試驗並ニ成績考查ニ關スル事項

三、生徒ノ賞罰ニ關スル事項

四、其ノ他校長ニ於テ必要ト認メタル事項

第三條　教官會ハ校長之ヲ召集ス

一〇、成績考査細則

第一條　學業成績ハ左ノ考査方法ニ依リ毎學期擔任學科目ニツキ教官之ヲ定ム　但一學科目ヲ數人ニテ擔任スルトキハ其ノ合議ニ依ル

一、學期試驗ノ成績

二、平素ノ業績及ヒ勤惰　但平素ノ業績ヲ定ムル標準トシテ教授ノ進度ニ應シ擔任教官ニ於テ隨時ニ試驗ヲ行フコトヲ得

特別講義ニツキテハ學業成績ヲ定メス

第二條　學期試驗ハ各學科目ニツキ毎學期末ニ期日ヲ定メ之ヲ行フ　但學期ノ中途ニ始リ又ハ終ル學科目ノ試驗ハ適宜ノ時ニ之ヲ行フコトヲ得

第三條　學科目中必要アルモノニツキテハ之ヲ若干ノ分科トシ各一學科目ト看做スコトヲ得

第四條　每學期每週ノ教授時數二時間ノ學科目ヲ一單位トシ之ニ滿タサルモノヲ半單位トス　但修身ハ一單位トス

每週教授時數二時間ヲ超過スル學科目ハ一時間ヲ增ス每ニ半單位ヲ增ス

評點ハ一單位學科目一百點、半單位學科目五十點ヲ以テ滿點トス

第五條　平素ノ業績及勤惰ノミニヨリ學期成績評點ヲ定ムルコトヲ得ル學科目ハ左ノ如シ

修身、書法及作文、外國語ノ中作文會話時文習字、タイプライティング、珠算、商業實踐、商業經營實踐、會計實務、貿易實務、商品實驗、體操

第六條　學期成績ハ各學科目成績評點ノ和ヲ當該學期學科目評點單位數ノ和ニテ除シ之ヲ定ム

學科目學年成績ハ當該學科目各學期成績評點ノ和ヲ當該學年學科目評點單位數ノ總和ニテ除シ之ヲ定ム

第七條　一學期間教授時數ノ四分ノ一以上缺課シタル者ハ學期試驗ヲ受クルコトヲ得ス　但病氣其他特別ノ事情アリト認ムル場合ニハ特ニ受驗セシムルコトアルヘシ

無屆缺席及遲刻多數ナル者ハ缺課時數四分ノ一未滿ト雖受驗セシメサルコトアルヘシ

第八條　學期試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ缺席ノ事情、平素ノ業績及勤惰等ヲ審査シ教官會ノ決議

ヲ經テ追試驗ヲ行フコトアルヘシ

第九條　追試驗ハ左ノ時期ニ於テ之ヲ行フ

一、第一學期試驗ノ追試驗ハ翌年一月中

二、第二學期試驗ノ追試驗ハ次學年ノ始三週間以内

追試驗ノ願出期間ハ試驗終了後三日以内トス

第十條　追試驗ヲ行ヒタル學科目ノ試驗成績評點ハ追試驗得點ノ十分ノ八以内ヲ以テ當該學科目ノ試驗成績評點トス　但公ノ理由ニ因ルモノハ此ノ限ニアラス

第十一條　學科目學年成績評點五十點未滿ナルトキハ當該學科目ヲ未修了トス

學年成績評點六十點未滿ナルトキハ之ヲ全學科目未修了ト看做ス

第十二條　未修了學科目カ三科目ヲ超過スル者ハ本校規則第廿三條ニ依リ原學年ノ課程ヲ再修セシム

第十三條　本校規則第二十四條ニ依ル再考査ハ六月及一月中ニ之ヲ行フ

前項再考査ノ願出ハ六月ニ受驗セントスル者ハ前年五月十五日迄、一月ニ受驗セントスル者ハ前年十二月十日迄トス

第十四條　學年成績順位ハ其ノ所屬學年成績總評點ニ依リ卒業成績順位ハ各學年成績評點ノ總和ニ依

リテ之ヲ定ム

第十五條　學業成績ハ評語ヲ以テ之ヲ示シ評點及順位ハ公表セス

評語ハ八十點以上ヲ優、六十點以上七十九點迄ヲ良、五十點以上五十九點迄ヲ可、四十九點以下ヲ不可トス

第十六條　研究指導ニツキテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十七條　試驗ニ於テ不正行爲ヲナシタル者ハ當該學期試驗全部ヲ無効トス

一一、研究指導規程

第一條　本校規則第三條規定ノ研究指導ハ之ヲ若干ノ科ニ分チ各科ニ一名又ハ數名ノ指導教官ヲ置ク

前項分科ノ種類及其ノ指導教官ハ毎年學年開始前ニ之ヲ定ム

第二條　生徒ハ前條ニ定ムル分科ノ中其ノ一ヲ選修スヘシ　但事情ニ依リ或分科ノ選修者數ヲ制限スルコトアルヘシ

第三條　研究指導ニツキテハ學期成績ヲ定メス

學年成績ハ試驗其他適當ナル方法ニ依リ評語ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　研究指導ニ於テ未修了トナリタル者ニハ試驗ヲ行フ

第五條　本規程ニ規定ナキ事項ニツキテハ成績考査細則ヲ準用ス

一二、入學出願書類ニ關スル規定

本校規則第十三條ニ掲グル書類ノ樣式左ノ如シ

第一號書式（入學願票）（用紙厚紙）

科學願志	名氏	月日生年	校名出身	資格入學
號番驗受		年　月　日	府縣　學校	昭和　年
種ノ定檢類				

履歷

六寸

場所受信	住所	本籍	年月日出願	受領檢定料	總點試驗	體格	年 昭和
府縣　番地　郡市　町字村　方	府縣　番地　郡市　町字村　方	府縣　郡市　町字村	昭和　年　月　日	昭和　年　月　日	位順	定決	彦根高等商業學校入學願票

二寸五分

備考

二寸五分

第二號書式（成績證明及人物調査）

本・別科

受驗番號

成績證明及人物調査

（名氏）

年　月　日生

細則　入學出願書類ニ關スル規定

右者本校在學中ノ成績等左記ノ通リ相違無之候也

昭和　年　月　日

學校長

彦根高等商業學校長　何　某　殿

記

一、昭和　年　月本校第　學年入學

一、昭和　年　月本校卒業ノ見込

學科目 ＼ 學年	第五學年			第四學年	第三學年	備考
	第一學期	第二學期	學年	學年	學年	
						記載方注意（イ）學科目ノ成績ハ評點數ヲ以テ表ハシ席次ハ學業成績ノ順序ニ依リ各組別トセズ當該學年全生徒ヲ通ジテ（第一種、第二種ハ之ヲ區別ス）有シタルモノナルコト（ロ）在學中ノ者ノ最終學年成績ハ當該學年、第一學期及第二學期ノ成績ヲ記入スルコト（ハ）學年評點ヲ缺ク場合ニ付テハ理由ヲ證明スルコト（ニ）中學校卒業及卒業見込者ハ本表種別ノ欄ニ第一種、第二種ノ區別ヲ明記スルコト

種撰平總席

別行均輔次

性	總評	
行	長所	
	短所	
	思想傾向	
	信仰	
	言語、動作	
	家庭ニ於ケル特殊ノ事情	
勤惰	學年	第三學年　第四學年　第五學年
	授業日數	
	缺席日數	
	遲刻回數	
	最後ノ三ケ年間ニ於ケル健康狀態（休學ノ有無ヲモ記入）	
賞罰及其理由		
運動競技ノ程度	種類	
	技倆	
	級長、校友會役員等ノ經驗ノ有無	
	交友ノ種類、範圍及交際關係	
	教練ノ合否又ハ其ノ見込（不合格ノ場合ハ其理由）	
趣味嗜好		
卒業後ノ經歷		
備考	其他參考トナルヘキ事項	

記載方注意（イ）調査ハ總テ具体的ノ根據ニ基クコト（ロ）健康狀態欄ニハ過去ノ大患及目ドノ健康狀態ヲ記入スルコト

本書ハ中等學校長ニ於テ記名捺印ノ上親展封書トシテ送附スベシ

細則　入學出願書類ニ關スル規定

第三號書式（身體檢査證）（用紙厚紙）

六寸

身體檢査證

檢査ノ結果左ノ通ナルコトヲ證ス

身體檢査票

氏名		生年月日	年　月　日
檢査年月日	昭和　年　月　日		
發育　身長		色神	
發育　體重		眼疾	
發育　胸圍		聽力	
發育　概評		耳疾	
榮養		齒牙	
脊柱		其他ノ疾病異常	
視力及屈折狀態　左／右		監察ノ要否本人ニ對スル注意	
備考			
檢査醫住所學位稱號氏名	府縣　市郡　町村　番地　何學校醫資格　氏名　印		

五寸

一三、外國人特別入學細則

第一條　外國人ニシテ本校ニ於テ一般校則ノ規程ニ依ラス所定ノ學科目中一科若クハ數科目ノ教授ヲ受ケントスル者アルトキハ差支ナキ場合ニ限リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ノ志願者ハ本校規則第十三條ニ定メタル寫眞、入學願票、成績證明及人物調書、身體檢査證及檢定料並外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館或ハ監督署ノ紹介書ヲ添ヘ校長ニ願出ツヘシ

第三條　志願者ノ學力ハ試驗ニ依リ之ヲ檢定ス　但經歷ニ依リ相當ノ學力アリト認ムルコトヲ得ル者

ニ對シテハ省畧スルコトアルヘシ

第四條　疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニヨリ退學セントスル者ハ入學願出ノ際紹介ヲ受ケタル官署ヲ經テ願出ツヘシ

第五條　特別入學者ニシテ其ノ履修シタル科目ノ試驗ニ合格シタル者ニハ當該科目ノ修了證書ヲ授與ス

第六條　特別入學者ニシテ本校所定ノ全科目ヲ履修シ其ノ試驗ニ合格シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第七條　特別入學者ニシテ本校所定ノ全科目ヲ修了シ在學中成績優良ニシテ本校ノ卒業程度ト同等ノ學力アリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第八條　特別入學者ニハ本細則ニ抵觸セサル限リ本校規則ヲ適用ス

一四、圖書閲覧貸出規程

第一條　本校ノ圖書ハ總テ圖書課之ヲ管理出納ス

第二條　教官ハ圖書ヲ檢索スル事ヲ得第三學年生徒ニシテ論文調査ノ爲檢索ヲ要スル時ハ其ノ都度圖書課長ノ許可ヲ受クヘシ

第三條　圖書閲覧室ハ休業日ヲ除キ毎日之ヲ開ク

但シ臨時ニ之ヲ開閉スルコトアルヘシ

閲覧室開閉ノ時刻ハ隨時之ヲ定ム

第四條　圖書ノ閲覧ハ職員生徒又ハ校長ノ許可ヲ得タル者ニ限ル

但校長ノ許可ヲ受ケタル者ニハ其都度圖書閲覧券ヲ交付ス

第五條　圖書ヲ閲覧セントスル者ハ圖書閲覧證ヲ以テ所定ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條　閲覧者ハ一時ニ和漢洋書通算五冊ニ限リ閲覧スルコトヲ得

第七條　閲覧中ノ圖書ハ閲覧室外ニ持出ス事ヲ得ス

第八條　閲覧セル圖書ハ閲覧室閉鎖時刻迄ニ返納スヘシ

第九條　圖書ヲ閲覧室外ニ持出サントスル者ハ圖書借用證ヲ以テ所定ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條　教官ハ三十册其ノ他ノ職員ハ十册、生徒ハ一册ヲ限リ圖書ヲ借用スルコトヲ得

第十一條　圖書ノ借用期間ハ職員ハ一ケ月、生徒ハ三日限リトス

第十二條　第三學年生徒ハ研究上特ニ必要アルトキハ指導教官ノ承認ヲ得テ夏期及冬期休業中三册ヲ限リ借用スルコトヲ得

第十三條　借用セル圖書ハ總テ之ヲ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第十四條　左ニ掲ケタル圖書ハ貸出サス

一、貴重圖書及之ニ準シテ取扱ハルルモノ

二、辭書類

三、到着後二週間ヲ經過セサル圖書及雜誌

四、其他整理中ノモノ

第十五條　借用セル圖書ハ期日ニ於テ必ス返納スヘシ

但借用期間内ト雖必要ノ場合ニハ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第十六條　職員ノ退職、休職、轉任又ハ二ケ月以内任地ヲ離ルル者及生徒ノ休學、退學、卒業シタル者ハ速カニ借用圖書ヲ返納スヘシ

第十七條　書庫内ニ入リテ圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ亂ササル樣注意スヘシ

第十八條　閲覽者ハ靜肅ヲ守リ室内ノ秩序ヲ紊ス擧動アルヘカラス

第十九條　閲覽又ハ借用中ノ圖書ハ叮嚀ニ取扱ヒ汚損セサル樣注意スヘシ

圖書ヲ毀損紛失シタルトキハ修理ヲ加ヘシメ若クハ代本又ハ代價ヲ以テ之ヲ辨償セシム

第二十條　以上ノ諸規程ニ違背シタル者ニ對シテハ圖書ノ閲覽及貸出ヲ停止スルコトアルヘシ

一五、調査委員規程

第一條　調査課ニ調査委員若干名ヲ置ク

第二條　調査委員ハ教官中ヨリ校長之ヲ命ス

第三條　調査委員ハ調査研究事項ヲ分擔ス

第四條　調査委員ハ委員會ヲ組織シ重要事項ニツキ審議ス

第五條　委員會ハ調査課長又ハ調査委員ノ希望ニヨリ隨時之ヲ開催ス

一六、調査課資料閲覽規程

第一條　本校職員生徒其ノ他校長ノ許可ヲ得タル者ハ調査課ニ備付ノ資料ヲ閲覽スルコトヲ得

第二條　資料ノ閲覽ニツキテハ一切係員ノ指揮ヲ受クヘシ

第三條　閲覽者ハ所定ノ資料閲覽證ニ所要ノ事項ヲ記入シ係員ニ提出スヘシ

第四條　閲覽者ハ一時ニ資料五部十册以上ヲ借受クルコトヲ得ス

第五條　資料ハ必ス閲覽室内ニ於テ閲覽シ之ヲ室外ニ帶出スルコトヲ得ス

第六條　閲覽室ハ休業日ヲ除キ毎日之ヲ開ク

但シ臨時ニ之ヲ開閉スルコトアルヘシ

第七條　閲覽者ハ靜肅ヲ守リ室内ノ秩序ヲ害スル擧動アルヘカラス

第八條　借受ケタル資料ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第九條　調査課ニ於テ必要アルトキハ閲覽中ト雖資料ヲ返還セシムルコトアルヘシ

第十條　資料ノ閲覽ヲ終リタルトキハ直チニ之ヲ係員ニ返還スヘシ

第十一條　資料ハ叮嚀ニ取扱ヒ汚損セサル樣注意スヘシ資料ヲ毀損紛失シタルトキハ相當ノ賠償ヲナサシムルコトアルヘシ

一七、大禮記念奬學資金ニ關スル規程

第一條　昭和三年十月本校職員生徒ノ醵出セル金額ヲ以テ大禮記念奬學資金トス

第二條　本資金ハ其ノ利息ヲ以テ毎學年本校生徒ノ學術奬學費ニ充ツ

第三條　學術奬學費ノ使途ハ毎學年之ヲ定ム

第四條　本資金管理規程ハ別ニ之ヲ定ム

一八、職員ノ服務心得

第一條　新任者着任ノ日ヨリ七日以内ニ履歷書及宿所届ヲ差出スヘシ

第二條　事務員ハ登校シタルトキ必ス出勤簿ニ捺印スヘシ

上官ノ命ニ依リ休日出勤シタルトキ亦同シ

第三條　病氣其ノ他ノ事故ニ依リ缺勤若クハ遲刻スルトキハ登校時限前ニ其ノ事由ヲ具シ届出ツヘシ

病氣缺勤七日ヲ過クルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

第四條　改名改姓轉居ヲナシタルトキ又ハ他ノ官廳ヨリ本校ヲ經由セスシテ直接辭令ヲ受ケ其ノ事項ノ履歷上ニ關係スルモノアルトキハ其ノ都度届出ツヘシ

第五條　病氣其ノ他ノ事故ニ依リ執務時間中退出シ又ハ居住地ヲ離レントスルトキハ校長ノ許可ヲ受クヘシ

但休暇中ハ旅行日數及場所ヲ詳記シ出發前ニ届出ツヘシ

第六條　父母ノ忌日命日ニ當リ休暇ヲ得ントスルトキハ其ノ旨ヲ前日中ニ届出ツヘシ

第七條　親族ノ喪ニ遭ヒ忌服ヲ受クルトキハ死者トノ續柄ヲ記シ届出ツヘシ

第八條　出張ヲ命セラレタルトキハ出發歸任ノ際ニ其旨ヲ届出テ其ノ復命書ハ十日以内ニ差出スヘシ

但簡單ナル事項ハ口頭ヲ以テ復命スルコトヲ得

第九條　轉任退官若クハ休職ヲ命セラレタルトキ又ハ分課事務ヲ免セラレタルトキハ其ノ擔任事務及物品等ノ目錄及說明書ヲ作リ後任者又ハ校長ノ指命シタル職員ニ引繼クヘシ

第十條　總テ公文書ハ校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ之ヲ他人ニ示シ又ハ謄寫セシムヘカラス

第十一條　非常事故アルトキハ速ニ登校シ上官ノ指揮ヲ受クヘシ事急ヲ要スルトキハ臨機ノ處置ヲナスヘシ

一九、文書處理規程

第一條　公文書ノ收受發送ハ左ノ各號ヲ除クノ外庶務係ニ於テ之ヲ取扱フ

一、教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類

二、生徒ヨリ差出ス願届書類ニシテ指令ヲ要セサルモノ

三、入學志願者ノ願書其ノ他受驗ニ關スル書類

四、以上ノ外校長ニ於テ指定シタル書類

第二條　庶務係ニ於テ文書ヲ收受シタルトキハ左ノ各號ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

一、親展書ハ封緘ノ儘宛名ニ配付スヘシ

二、親展ニ非サル公文書ハ之ヲ開封シ其ノ件名番號及年月日等ヲ文書件名簿ニ登記シ本書ニ受付番號及年月日ヲ記入シ校長ノ閲覽ヲ經テ主掌分課ニ配付スヘシ

第三條　校長ノ閲覽ヲ經タル親展文書ハ機密ニ關スルモノヲ除クノ外前條第二號ノ例ニ依リ之ヲ處理スヘシ

第四條　文書ノ配付ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ處理スヘシ

特ニ調査ヲ要スル爲七日以内ニ處理シ難キモノハ校長ニ報告シ其ノ旨庶務係ニ通知スヘシ

第五條　立案ハ左ノ例ニ依リ各主掌分課ニ於テ起草シ庶務係ニ回付スヘシ

一、規定、内規又ハ先例アルモノハ各其ノ例規ニ依リ直ニ立案スヘシ

二、規定、内規又ハ先例ナキモノ若クハ規定、内規又ハ先例アリト雖特別ノ處理ヲ要スト認ムルモノハ事情ヲ具シ校長又ハ課長ノ指揮ヲ受ケ立案スヘシ

第六條　文書ハ總テ其ノ事務ニ關係アル課係等ニ合議スヘシ

第七條　秘密又ハ至急ヲ要スル文書ニハ其ノ欄外ニ「秘」又ハ「至急」ト朱書シ責任者携帶シテ決裁ヲ受クヘシ

秘密ヲ要スル文書ニシテ他ノ課係ニ合議スルトキハ袋入トシテ回付スヘシ

第八條　發送文書ニ親展、至急ノ表記ヲ要シ又ハ電信特使書留等特殊ノ取扱ヲ要スルモノハ其ノ旨成案ニ朱書シテ表示スヘシ

第九條　成案ニハ關係書類悉皆添付シテ其ノ顚末ヲ明カニスヘシ

第十條　校長又ハ課長ノ決裁ヲ經タル文書ハ總テ之ヲ庶務係ニ回付スヘシ發送ヲ要スル文書ハ庶務係ニ於テ淨書ノ上發送スヘシ

執務時間外ハ電信ト表示シタルモノニ限リ事務當直ニ於テ之ヲ發送スヘシ

第十一條　校印及校長印ハ庶務主任之ヲ押捺スルモノトス

第十二條　施行濟ノ成案ニハ庶務係之ニ番號及施行濟ノ年月日ヲ記入シ即日之ヲ主掌課係ニ返付スヘシ

第十三條　文書ニハ左ノ記號及番號ヲ付スヘシ

一、生　何號　　生徒課ノ主掌ニ屬スルモノ

二、教　何號　　教務課ノ主掌ニ屬スルモノ

三、圖　何號　　圖書課ノ主掌ニ屬スルモノ

四、調　何號　　調査課ノ主掌ニ屬スルモノ

五、庶　何號　　庶務係ノ主掌ニ屬スルモノ

六、會　何號　　會計係ノ主掌ニ屬スルモノ

七、秘　何號　　進退書類、親展書類

八、定　何號　　規則、規程、細則、心得等ノ規定書類

九、就　何號　　就職事務ニ屬スルモノ

第十四條　文書ノ番號ハ毎年四月ヲ以テ起リ翌年三月ヲ以テ止ム

但前條第八號及第九號ハ此ノ限ニ在ラス文書ノ番號ハ其ノ事件ノ完結ニ至ル迄同一番號ヲ用フヘシ

第十五條　庶務係ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ本規程ニ定ムル文書ノ登錄ヲナスヘシ

一、普通文書件名簿

二、秘密文書件名簿

三、規定書類件名簿

第十六條　事件ノ完結シタル文書ハ主掌分課ニ於テ整理保存スヘシ

文書ノ整理保存ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

二〇、當直規程

第一章　通則

第一條　當直ヲ分チテ事務當直及寄宿舍當直ノ二トス

第二條　當直時限ハ平日ニアリテハ當日退出時限ヨリ翌日出勤時限マテ休日ニ在リテハ當日出勤時限ヨリ翌日出勤時限マテトス

第三條　左ノ各號ノ一ニ當ル者ハ當直ヲ免ス

一、出張中、出張ノ前日及歸校ノ翌日

二、病氣缺勤七日以上ニ渉ル者ハ其ノ缺勤中

三、父母ノ看病及祭典ニ依リ請暇中

四、忌引中

五、新任者着任後七日間

六、以上ノ外校長ニ於テ除番スヘキ必要アリト認メタルトキ

第四條　當直ニ當リタル者病氣其ノ他止ムヲ得サル事故ニヨリ當直シ難キ場合ハ庶務課長ノ許可ヲ得テ他ノ當直義務アル職員ト交代スルコトヲ得

第五條　當直員ハ交代ノ時限至ルト雖休日ハ次番者ニ直接引繼ヲ了スルニ非サレハ學校ヲ離ルルコトヲ得ス

第二章　事務當直

第六條　事務當直ハ書記以下ノ事務員輪番ヲ以テ勤務スヘシ其ノ順番ハ庶務課長之ヲ定メ校長ノ許可ヲ受クヘシ

第七條　事務當直室ニハ左ノ帳簿ヲ備ヘ置クヘシ

一、職員名簿

二、當直日誌

三、送付簿

四、電信用語符號表

五、郵便切手及郵便電信發送簿

第八條　當直日誌ニハ左ノ事項ヲ記シ校長ノ檢閱ヲ受クヘシ

一、月日曜及天候
二、當直員及當直ノ巡視小使ノ氏名
三、文書類ノ接受ニ關スル事項
四、登校者外來人及參觀人等ニ關スル事項
五、前諸項ノ外當直中處理シタル事項

第九條　事務當直ノ勤務事項大略左ノ如シ

一、本校ニ到達シタル文書物件ヲ接受スルコト
二、前號ノ文書中電報並至急ト表記シタルモノハ宛名ニ送付スルコト
但學校宛ノモノハ開封ノ上適宜處理スルコト
三、校内ノ警備取締特ニ火ノ元ニ注意シ夜間一回以上巡視若クハ小使ヲ伴ヒ校舍ノ内外ヲ巡視スルコト
四、非常事故アルトキハ寄宿舍當直員ト協力シ巡視小使ヲ指揮シ臨機ノ處置ヲナスコト

第三章　寄宿舍當直

第十條　寄宿舍當直ハ生徒課勤務ノ職員輪番ヲ以テ勤務スヘシ其ノ順番ハ生徒課長之ヲ定ム

第十一條　生徒主事ハ必要ニ應シ寄宿舍ニ當直スヘシ此ノ場合ニ於テハ前條生徒課勤務ノ職員ノ當直ヲ免ス

第十二條　寄宿舍當直員ハ寄宿舍ノ管理及取締ニ任シ舍内一般ノ事務ヲ處理スヘシ

第十三條　寄宿舍當直室ニハ當直日誌ヲ備ヘ處務ノ情況ヲ詳記シ生徒主事ノ檢閱ヲ受クヘシ

二一、非常手配規程

第一條　非常ヲ認知シタル者ハ直ニ左ノ號鐘ヲナシ之ヲ一般ニ報スヘシ

一、學校内非常ノ場合　亂　打
二、學校附近非常ノ爲學校ニ損害ヲ及ホスヘキ虞アル場合　一隔二ツ打〇〇―〇、〇〇―〇

第二條　非常ノ節ハ職員生徒及傭人ハ直ニ駈付ケ左ノ任務ニ從事スヘシ

一、報　知
一、防　備

細則　非常手配規程

一、運　搬
一、警　戒

第三條　報知ハ左ノ順序ニ依ルヘシ
一、警　察　署
二、警備隊長及副隊長
三、校　長
四、庶　務　課　長
五、生　徒　課　長
六、本　校　職　員

第四條　防備ハ左ノ方法ニ依ルヘシ
一、校内失火ノ節ハ喇筒、消火器其ノ他防火器類ヲ使用シテ消防ヲナスヘシ
二、近火ノ節ハ適宜ノ場所ニ喇筒ヲ引出シ延燒ノ虞アル建物ニ水ヲ注キ其ノ他飛火ノ移リ易キ物品等ニ充分ノ豫防ヲナスヘシ

第五條　運搬ハ左ノ順序ニ依リ運動場其ノ他安全ノ場所ニ移シ御眞影及勅語謄本ニハ特ニ監視者ヲ附スヘシ

一、御眞影及勅語謄本
二、各室内、非常持出ノ印アルモノ
三、圖書、機械、標本
四、其ノ他ノ器物

前項ニ依リ運搬ノ節ハ火元其ノ他直接災害ヲ受ケタル附近ノ場所ヨリ之ヲ始ムヘシ

第六條　警戒ハ左ノ方法ニ依ルヘシ
一、學校ノ周圍ヲ警戒シ本校職員、生徒、傭人、警察官吏、消防夫及應援者ノ外猥ニ構内ニ入ルヲ禁スヘシ
一、搬出品ヲ監守シ盜難類燒ヲ防止スヘシ
一、巡視者ヲシテ事務員二名以上表門ニ出テ駐付ケ人名等ヲ書留メオクヘシ
一、夜中ニ在リテハ當直員ノ指揮ヲ受ケ玄關及其ノ他ノ要所ニ提灯ヲ掲クヘシ

第七條　非常ニ備フル爲本校寄宿舍ニ警備隊ヲ設ク警備隊規定ハ別ニ之ヲ定ム

第八條　左ノ非常用具ハ消防用具室ニ備ヘ置キ生徒課長保管ノ責ニ任ス

一、卸　筒
一、消防用梯子
一、鳶　口
一、運　水　器
一、消防用皮帶

第九條　各室備付若クハ保管ノ非常用具ハ所屬職員ニ於テ時々之ヲ點檢スヘシ

二二、物品會計細則

第一條　本校ノ物品ハ物品會計規則並ニ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本細則ニ依リ處理スヘシ

第二條　物品ハ校長之ヲ管理シ其ノ出納並ニ保管ハ校長ノ命令ニヨリ物品會計官吏之ヲ執行ス

第三條　各部局ニ物品監守者及物品取扱主任各一名ヲ置キ備品ノ監守及消耗品取扱ノ責ニ任セシム

第四條　物品監守者及物品取扱主任ハ所屬職員中ヨリ校長之ヲ命ス

第五條　各部局物品監守者ノ物品監守區域及物品取扱主任ノ取扱フ物品種目左ノ如シ

部局名	物品監守區域	物品取扱品目
生徒課	生徒課室、生徒主事室、生徒控所、學友會館、運動場、艇庫、弓道場、武道場、集會所	生徒課用消耗品
寄宿舍	寄宿舍及附屬家	寄宿舍用消耗品
教務課	教務課室、教官室、教室、研究室、會議室、銃器庫	教務課用消耗品
圖書課	圖書課室、圖書閱覽室、書庫	圖書課用消耗品
調査課	調査課室、商品陳列館	調査課用消耗品
庶務係	庶務係室、校長室、應接室、講堂、宿直室、食堂、門衛所、受付室	郵便切手及葉書 庶務係用消耗品
會計係	會計係室、小使室、交換室、官舍、他ノ課ニ屬セサル室	會計係用消耗品

第六條　各部局ニ於テ物品ノ支給ヲ受ケントスルトキハ品目、數量、事由、部局名ヲ記載セル請求書ヲ會計係ニ差出スヘシ

第七條　會計係ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ校長ノ許可ヲ得直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ豫定價格ヲ具シ校長ノ許可ヲ受ケ購買ノ手續ヲナスヘシ

第八條　通常消耗品ハ會計係ニ於テ一ケ年ノ所要高ヲ豫定シ校長ノ許可ヲ得テ一回若クハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲナシ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應シテ支給ノ手續ヲナスヘシ

第九條　生產又ハ寄贈ノ物品ハ會計係ニ於テ其ノ品名、數量及價格若クハ評價ヲ附シ受入ノ上藏置又ハ支給ノ手續ヲナスヘシ

第十條　物品監守者又ハ物品取扱主任ハ物品ノ支給ヲ受ケタルトキ直ニ之カ記帳ヲ了シ現品ト對照シ所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ捺シ遲滯ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ

第十一條　備品ハ別表ニ依リ所定ノ記號番號及校名ヲ附シテ整理スヘシ

但其ノ種類ニ依リ記號番號又ハ校名ヲ附シ得サルモノハ此ノ限ニアラス

第十二條　使用中ノ物品ニシテ自然毀損ニ因リ修理ヲ要スルモノアルトキハ物品監守者又ハ物品取扱主任ヨリ會計係ニ其ノ修理ヲ請求スヘシ

修理請求ノ手續ハ第六條ノ規程ヲ準用ス

物品會計官吏ハ前項ニ依リ修理ヲ了シタルトキハ速ニ請求者ニ引渡スヘシ

第十三條　物品監守者ハ監守中ノ物品不用ニ歸シタルトキハ之ヲ物品會計官吏ニ返付シ其ノ監守簿ニ受領證印ヲ徵シ事由年月日ヲ詳記スヘシ

第十四條　物品監守者相互間ニ於テ物品ノ監守換ヲナサントスル場合ニハ當該物品ヲ一先ツ物品會計官吏ニ返納シ更ニ支給ヲ受クヘシ

第十五條　在庫又ハ使用中ノ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ物品會計官吏又ハ物品監守者若クハ物品取扱主任ハ速ニ其ノ品名數量並ニ實況等ヲ調査シ始末書ヲ具シ校長ニ申報スヘシ

物品監守者若クハ物品取扱主任ヨリ始末書提出ノ場合ハ物品會計官吏ヲ經由スヘシ

第十六條　物品會計官吏ハ修理ノ見込ナキ毀損ノ物品若クハ將來所要ノ目途ナキ不用ノ物品ノ返納ヲ受ケタルトキハ其ノ處分案ヲ具シ校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第十七條　物品ノ購買、修理、賣却等ノ執行ハ成規ニ依ル

但シ賣却シタル物品ハ代價徵收後ニアラサレハ之ヲ引渡スコトヲ得ス

第十八條　備品ハ總テ物品會計官吏ノ承認ヲ得スシテ漫リニ之ヲ他室ニ移轉シ又ハ校外ヘ搬出スルコトヲ得ス

但シ授業上一時ノ必要ニ依リ他室ニ移轉スルコトヲ要スル場合ハ此ノ限ニアラス

第十九條　物品監守者又ハ物品取扱主任更迭ノトキハ物品會計官吏立會ノ上新舊兩者所管物品ノ引繼ヲナシ其ノ年月日ヲ帳簿餘白ニ記入シ且双方記名捺印スヘシ

前項引繼ノ了シタルトキハ双方連署ノ引繼書ヲ作製シ物品會計官吏ヲ經テ校長ニ届出ツヘシ

第二十條　物品會計官吏ハ毎年一回以上備品「カード」及物品出納簿ト各部局監守簿及消耗品受拂簿ト對照シ更ニ現品ト照査シ其ノ狀況ヲ校長ニ上申スヘシ

第二十一條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明カニスル爲左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一、備品出納簿

本簿ハ備品ノ品名、數量、價格、納入等ヲ登記シ在庫並ニ使用ノ現在ヲ明カニス

二、圖書出納簿

本簿ハ圖書名、册數、出納年月日、價格、納入等ヲ登記ス

三、消耗品出納簿

本簿ハ消耗品ノ品名、數量、價格、納入等ヲ登記シ在庫並ニ消費高ヲ明カニス

四、備品「カード」

本票ハ備品一點毎ニ一票ヲ設ケ品名、代價、納入、購入年月日、記號、番號ヲ記載シ備品ヲ支給スルトキハ本票ニ物品監守者ヲシテ受領年月日ヲ記入捺印セシメ之ヲ各物品監守者毎ニ區分整理シテ物品支給ノ現況ヲ明カニス

前項ノ外補助簿ハ適宜之ヲ設クルコトヲ得

第二十二條　物品監守者又ハ物品取扱主任ハ物品ノ監守並ニ受渡ヲ明カニスル爲左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一、備品監守簿

本簿ハ備品ノ品名、數量、價格、記號、番號、受領年月日ヲ登記シ備考欄ニ其ノ所在ヲ摘記スヘシ

二、消耗品受拂簿

本簿ハ消耗品ノ各品目毎ニ口座ヲ設ケ受拂ノ數量及年月日ヲ明記スヘシ

三、郵便切手受拂簿

本簿ハ文書發送取扱者ニ於テ備付ケ其ノ受拂ヲ詳記スヘシ

第二十三條　本校ニ物品檢閲委員ヲ置キ左ノ事項ニ就キ實地ニ檢査セシム

一、物品保管ノ適否

二、物品使用ノ適否

三、消耗品消費ノ適否

四、物品缺損ノ有無

五、帳簿並ニ「カード」ト現品トノ對照

第二十四條　物品檢閱ヲ分チテ定期及臨時ノ二種トス

定期檢閱ハ每年七月トシ臨時檢閱ハ臨時必要アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ施行ス

第二十五條　物品ノ檢閱委員ハ委員長一名委員若干名トシ每年四月職員中ヨリ校長之ヲ任命ス

前項ノ任期ハ翌年三月ヲ以テ終ル

第二十六條　物品檢閱ノ際在庫品ニ就キテハ物品會計官吏、使用中ノ備品ニ就キテハ物品監守者消耗品ニアリテハ物品取扱主任其ノ席ニ列シテ點檢ヲ受ケ檢閱委員ノ質問ニ答フヘシ

第二十七條　物品檢閱委員ニ於テ檢閱上故障ナシト認メタルトキハ帳簿ニ檢閱年月日ヲ記入シ委員之ニ署名捺印スヘシ若シ故障アリタルトキハ當該責任者ヨリ始末書ヲ徵スヘシ

第二十八條　物品檢閱ヲ終リタルトキハ物品檢閱委員ハ檢閱ノ狀況ニツキ意見ヲ附シ委員長ヲ經テ校長ニ申報スヘシ

第二十九條　圖書ノ整理ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

（別　表）　備品分類表

A

記號	類別	內容
A	椅子類	
B	卓子類	
C	棚類	
D	箱類	
E	文具類	肉池、算盤、小刀、定規、文鎭
F	時計類	
G	桶類	
H	火鉢、煙草盆、煖爐類	火鉢、五德、十能、煙草盆、煖爐火箸
I	印章版木類	
J	寢具類	褥塗、蒲團、敷蒲團、敷布、毛布、枕、蚊帳、蒲團覆、枕覆、藁蒲團
K	被服類	巡視服、同帽子、門外套、小使服、同外套、給仕服及女衿、雨具、實驗着
L	厨具類	釜、鍋、七輪、庖丁、俎板
M	臺類	

O	農具類
P	雜具類
V	機械
X	標本 動物 植物 鑛物

A ヨリO ニ至ル以外ノモノ、イロハ順ニ頻別ス

イロハ順頻別

第六、職員

○校長

マスターオブアーツ　矢野貫城

修身

○教授

商法、民法、商事法規、商業經營實踐、研究指導　法學士　田岡嘉壽彦

英語、文化史　文學士　本田立雄

商業地理、文化史、世界最近世史、海外經濟事情、植民政策、研究指導　文學士　田中秀作

商品及商品理化、商品實驗、數學、自然科學、工業大意　工學士　清水義雄

（兼）英語　生徒主事　バチエラーオブフイロソフイー　安部新

英語　文學士　片岡彦一郎

修身、論理學、獨逸語、哲學概論　文學士　秋山範二

財政學、農業政策、佛蘭西語　經濟學士　淺見信次良

商業概論、市場及倉庫論、取引所論、簿記、商業實踐、研究指導　商學士　原田博治

營實踐、研究指導　經濟學士　岡崎文規

統計學、社會政策、工業政策、獨逸語、英書講讀、研究指導　法學士　木村善堯

修身、公民科、教育學、國語漢文、憲法、國際法　文學士　高橋源次

英語　商學士　橋本犀之助

交通論、海運論、保險總論及海上保險論、生命保險論、英書講讀、研究指導　商學士　江口行雄

銀行及金融論、外國爲替論、信託論、投資論、簿記、研究指導　工學士　大橋幸雄

工學、商品及商品理化、商品實驗　商學士　岩間巖

經營經濟學、工業經營論、鐵道論、社會學、英書講讀、研究指導

在外研究中

經濟學、經濟原論、商業政策、貨幣論、研究指導　商學士　松本雅男

簿記、原價會計、研究指導　經濟學士　桑原晉

民法、民事法規、商法、商事法規　商學士　山下勝治

法學士　小關紹夫

（兼）　○生徒主事

（兼）　○助教授　バチエラーオブフイロソフイー　安部新

珠算　教授　法學士　木村善堯

（兼）商業數學、商業作文、商業經營實踐　教授　文學士　高橋源次

○生徒主事補　鈴木泰助

○配屬將校　生徒主事補　芳谷有道

芳谷有道

教練

○講師

英語　陸軍步兵中佐　菅原道雄

（囑託順）

支那語、海外經濟事情　バチエラーオブサイエンス　安樂榮熊

體操　陸軍步兵少佐　奥村義盛

會計學、會計監査、會計實務、簿記　陸軍步兵少尉　山原信久

（兼）體操　經濟學士　西垣直記

商業史　橋本均

○傭外國人教師

支那語　（契約順）　白廷賞　中華民國

英語　ヴイクタ・ジョン・ヘイマン　英國

英語、タイプライティング、貿易實務　マスターオブビジネスアトミニストレーション　エドウイン・ウイグルス・ウオース　米國

○教務囑託

（兼）書法　武道教師　小林治道

（兼）商品實驗

○武道教師

劍道　杉井武郎

柔道　島崎朝輝

弓道　小林治道

○書記

（兼）

○事務囑託（囑託順）

事務囑託　杉井武郎

佐藤忠造

島崎朝輝

小林治道

島田峯吉

助教授　鈴木泰助

安田安

坂田吉彦

成宮秀夫

粳間德男

菅居仙藏

○雇員（就職順）

中野米藏

杉井武郎

橋本均

長谷川善彌

奥井德次郎

長谷川六二郎

西澤政之

西村義三

北村勝彦

森重三郎

前川正雄

加藤輝日出

馬場卯一郎

職員

○學校醫

○調査委員

賓たつ

岩田唯衛

醫學博士、醫學士　藤田孝四郎

教授　田岡嘉壽彦

同　田中秀作

同　清水義雄

同　淺見信次良

同　原田博治

同　岡崎文規

教授兼生徒主事　木村善堯

教授　橋本犀之助

同　江口行雄

同　大橋幸雄

同　岩間巌

同　松本雅男

同　桑原晋

同　山下勝治

同　小關紹夫

生徒主事補兼助教授　芳谷有道

講師　奥村義盛

同　西垣直記

同　江頭恒治

○學級主任

第三學年　A組

第三學年　B組

第三學年　C組

職員

教授　本田玄雄

同　淺見信次良

同　橋本犀之助

職員

第二學年 A組 教授 秋山範二
第二學年 B組 同 岡崎文規
第二學年 C組 同 片岡彦一郎
第一學年 A組 同 清水義雄
第一學年 B組 教授兼生徒主事 高橋源次
第一學年 C組 同 木村善堯
別科 A組 教授 田中秀作
別科 B組 同 原田博治

○事務分課

生徒課

課長 生徒主事兼教授 安部新
教授兼生徒主事 木村善堯
同 高橋源次

課長 教務課

（兼）

課長 圖書課

職員

生徒主事補兼助教授 芳谷有道
書記 安田安
講師 山原信久
同 橋本均
囑託 菅居仙藏
雇 西澤政之

教授 田岡嘉壽彦
助教授兼書記 鈴木泰助
囑託 杉井武郎
雇 奥井德次郎

教授 原田博治
書記 坂田吉彦

職員

調査課

課長（兼）

庶務課

課長

庶務係

雇　西村義三
同　前川正雄
同　加藤輝日出
同　寶たつ

教授　淺見信次良
生徒主事補兼助教授　芳谷有道
囑託　中野米藏
同　杉井武郎
雇　北村勝彦
同　岩田唯衛

教授　大橋幸雄
主任書記　粳間德男

會計係

雇　長谷川六二郎
同　馬場卯一郎
主任書記　島田峯吉
書記　成宮秀夫
雇　長谷川善彌
同　森重三郎

第七、前職員

前官職	在職	摘要	氏名
文部屬兼本校書記	自大正一一、一〇 至同一二、一二	轉任	笠原尚太
同	自同一一、一〇 至同一三、七	同	鎌田恭一郎
講師	自同一二、三 至同一三、八	解囑	南浮智成
書記	自同一二、三 至同一三、一二	轉任	宮部芳次郎

前職員

講師	自同一二、四 至同一三、一二	解囑	理學士	那須常正
教授	自同一二、五 至同一四、二	免官	商學士	松本金次郎
同	自同一一、一二 至同一四、二	轉任	文學士	內山進
同	自同一二、四 至同一四、三	免官	法學士	江口新
書記	自同一二、一 至同一四、三	同		阿部謙治
學校醫	自同一二、一一 至同一四、五	解囑		西川愼一郎
書記	自同一三、五 至同一四、九	轉任		三田村庸樹
講師	自同一三、七 至同一四、九	解囑		吉田悅藏
教授	自同一四、四 至同一五、一	轉任	法學士	石川興二
助教授	自同一三、三 至同一五、二	轉任		米川數雄
書記	自同一三、五 至同一四、一〇	同		加藤文衛
講師	自同一四、四 至同一五、三	解囑	法學士	坂野千里

劍道教師	自同一三、四 至同一四、一二	解囑		眞野數馬
助教授	自同一二、三 至同一五、五	免官		神原克次
教授	自同一二、七 至同一五、五	同	マスターオブアーツ	榊原彌
傭外國人教師	自同一二、九 至同一五、八	契約滿期		グレグシンクレーア
講師	自同一四、一一 至同一五、一〇	解囑	文學士	伊藤猷典
同	自同一四、三 至同一五、一〇	同	商學士	奧田唯輔
教授	自同一四、六 至昭和二、三	轉任	商學士	井上茂
講師	自大正一五、一〇 至昭和二、四	解囑	文學士	福島重一
書記	自大正一四、三 至昭和二、六	轉任		加藤貞助
配屬將校	自大正一四、四 至昭和二、七	同	陸軍步兵中佐	肥田鎭夫
校長兼教授	自大正一一、一二 至昭和二、八	免官		中村健一郎
柔道教師	自大正一三、一〇 至昭和二、九	解囑		長門辨

前職員

教授	經濟學士	藤田敬三	自大正一三、一一 至昭和二、一一
講師	文學士	竹村越三	自昭和二、一一 至同三、一
同	文學士	廣瀨淨慧	自同二、一一 至同三、一
柔道教師		森下勇	自同二、一一 至同三、一一
教授	文學士	鈴木周作	自大正一二、一一 至昭和三、一
同	商學士	白柳元吉	自大正一三、一一 至昭和三、一
助教授		竹村茂助	自大正一五、一一 至昭和三、一
講師		ピーエースミス	自昭和三、一一 至同
傭外國人教師		サイーグコンロイ	自大正一五、一一 至昭和三、一
書記		東山和一	自大正一二、一一 至昭和三、一
講師		高尾幸次郎	自大正一二、一一 至昭和四、一
傭外國人教師		エルンスト・ベルンハルト・ジーゲル	自大正一三、一一 至昭和四、一

免官			
解嘱			
同			
同			
轉任			
解嘱			
契約滿期			

同			自大正一四、一一 至昭和四、一一
教授	經濟學士	ナタリエ・ジーゲル	自大正一三、一一 至昭和四、一一
同	經濟學士	服部富雄	自大正一三、一一 至昭和四、一一
轉任	經濟學士	四宮恭二	自大正一五、一一 至昭和三、一
同	法學士	鈴木弼	自大正一三、一一 至昭和五、一
同		フランクツック	自昭和三、一一 至同五、一
傭外國人教師		デーヴィツド・エル・ブライアント	自昭和三、一一 至同五、一
解約	陸軍歩兵中佐	田實秀夫	自昭和四、一 至同六、一
配屬將校			自同五、一二 至同七、一二
轉任	商學士	篠原泰助	自同五、一二 至同七、一二
免官	商學士	大辻清藏	自大正一二、一一 至昭和五、一二
死亡		吉岡義睦	自大正一三、一一 至昭和六、一一
書記	文學士	阿藤卓志	自大正一二、一一 至昭和六、一
教授	法學士	瓜谷篤治	自大正一三、一一 至昭和六、一
轉任			自同四、一 至同四、一〇
講師			自同四、一 至同六、一三
解嘱			
同			

前職員

傭外國人講師	自同 四、七	至同 四、一三	解嘱
柔道教師	自同 三、七	至同 三、三三	同
助教授兼書記	自同 六、八	至同 三、三三	免官
講師	自同 六、八	至同 三、一三	解嘱
同	自同 七、八	至同 三、一三	同
書記	自大正一一、八	至昭和 一四	免官
教授	自同 二、九	至同 三、一三	死亡
傭外國人教師	自同 五、九	至同 四、三三	契約滿期
助教授	自同 三、九	至同 三、一六	免官
書記	自同 一〇、二	至同 二、一六	死亡
講師	自同 九、一〇	至同 四、一三	解嘱
同	自同 九、一〇	至同 一〇、一三	同

		一〇六
エス・ジヤコタン		解嘱
石野基恒		同
寺本杉藏		免官
片野實之助		解嘱
伊東正	法學士	同
大西吉次郎		免官
太刀川利男	經濟學士	死亡
ジョン・ストブフオード	マスターオブアーツ	契約滿期
小野映	經濟學士	免官
筒井彌宗一		死亡
宮田秋三郎	陸軍砲兵少尉	解嘱
宮本又次		同

配屬將校	自同 一〇、一六	至同 五、一〇	轉任
教授	自大正一五、四七	至昭和一〇、七	轉任
書記	自大正一四、九九	至昭和一〇、九九	免官
傭外國人教師	自同 四、九九	至同 一〇、九九	解嘱
教授	自大正一三、一〇三	至昭和一〇、一〇	轉任

第八、生徒

一、生徒氏名

（昭和十一年六月一日現在）

第三學年（一五五名）

A組（五二名）	富田中	古市幸男	三重	虎姫中	日比野義孝 滋賀
彦根中	相場德三	滋賀	八幡商	灰谷正夫	滋賀
北野中	福井一夫	大阪	龍野中	長谷川恭二	兵庫
敦賀商	文室晋太郎	福井	膳所中	初田正平	滋賀

生徒					
	明倫中	平野鑒輔	愛知	奈良商	廣岡悰市 奈良
	彦根商	伊夫伎眞三	滋賀		

（五八七名）

八日市中　市田清一　滋賀
大垣中　稻葉繁　岐阜
不動岡中　入江棟治　埼玉
第三神戸中　石田滋　長崎
尼崎中　伊藤豊太　兵庫
宇治山田中　金森弘　三重
虎姫中　金子彦行　滋賀
豊中中　岸本正一　滋賀
長野中　木内島　長野
今宮中　小池章三郎　大阪
東奥義塾　久保田達二　青森
仁川公立商　國光良人　廣島
三豊中　眞鍋昌光　香川
大阪商　三澤義昌　大阪
明星商　溝口龍三　京都
天王寺商　水谷茂友　大阪
静岡中　森本武身　静岡
吳二中　元岡重嗣　廣島
第二神戸中　宝井一平　東京
小濱中　那須伸一郎　福井
彦根中　夏川鐵之助　滋賀
門司商　西澤與平　福岡
姫路中　小倉典男　兵庫
半田中　大岩澄夫　愛知
高松中　岡内弘三　香川
第二岡山中　奥村延彦　岡山
大西　宏　滋賀
城東商　盧載弼　朝鮮
有光眞雄　高知
藤本善男　奈良
後藤修　兵庫
蜂谷豊　兵庫
春原幸夫　滋賀
初田修　滋賀
林一雄　岐阜
日比野良夫　愛知
廣瀬正吾　静岡
市江一郎　愛知
熱田中　和田義雄　高知
第二岡山中　山口正徳　岡山
桃山中　山本敏夫　京都
京都二中　山崎彦次郎　京都
彦根中　横山正一　滋賀
明石中　吉岡榮四郎　兵庫

B組（五一名）

柏原中　足立忠藏　兵庫
城東中　有光眞雄　高知
敢倫中　藤本善男　奈良
金澤一中　後藤修　兵庫
北野中　蜂谷豊　兵庫
水口中　春原幸夫　滋賀
膳所中　初田修　滋賀
大垣商　林一雄　岐阜
東海中　日比野良夫　愛知
静岡商　廣瀬正吾　静岡
熱田中　市江一郎　愛知
彦根中　一圓龍雄　滋賀

條中　伊藤一　愛媛
成城中　加藤正直　滋賀
大阪商　河本嘉久藏　滋賀
八幡商　川瀨源太郎　滋賀
虎姫中　川隅信一　滋賀
市岡商　久保田稔　大阪
濱松一中　栗田彪　愛媛
桃山中　間部忠之　熊本
福山誠之館中　松田正典　廣島
水口中　松本正雄　滋賀
虎姫中　宮川英一郎　滋賀
彦根中　森野佐邦　滋賀
丸亀中　西本蔑秋　香川
第一岡山中　小川正三　岡山
膳所中　大石久藏　滋賀
第二神戸中　奥谷正典　福井
彦根中　大森德三　滋賀
虎姫中　大村辰男　滋賀
袋井商　小澤豊平　静岡
膳所中　佐川一男　滋賀
濱松一中　齋藤辰雄　静岡
金澤一中　坂田實　兵庫
姫路中　坂田隆造　兵庫
仁川公立商　佐々木金彌　長崎
愛知商　佐藤勝正　岐阜
玉島商　瀨本忠雄　岡山
大津商　柴田一　滋賀
神崎商　重森正男　滋賀
長濱商　清水五六　滋賀
神崎商　鈴木福二　滋賀
彦根商　平井弘典　奈良
東海中　谷口政生　愛知
大邱公立中　友永直治　大分
岡崎商　井澤讓　愛知
東海中　堀一郎　岐阜
彦根中　安部信之　滋賀
彦根中　有川紀久　滋賀
丸龜中　福崎孝三　香川
金澤二中　古田正朔　石川
伊都中　濱田昌三　大阪
海津中　原田種彦　岐阜
彦根商　林田義夫　滋賀
彦根中　平井弘典　奈良
斐太中　堀一郎　岐阜
大邱公立中　石井清一　廣島
岡崎商　井澤讓　愛知
第二神戸中　出石將渡　兵庫
龍野中　桐月裕司　兵庫
敦賀商　小林嘉郎　福井
京都二商　山本禮太郎　京都
住吉中　山中眞一　大阪
掛川中　横山辰男　静岡

C組（五二名）

神戸一中	小宮山彦一	滋賀	大垣商	奥田太郎	岐阜
彦根中	久保田庄造	滋賀	三豊中	大西恭平	香川
平壌公立中	國近重夫	山口	大聖寺中	尾澤清一	石川
堺中	楠美勳	東京	德山中	貞弘三治	山口
長濱商	馬淵敬一郎	滋賀	住吉中	坂部敬	大阪
平安中	松浦美雄	京都	神戸中	酒井禮一	三重
京都二中	三上一郎	滋賀	高津中	坂本稔	奈良
明石中	本岡善繼	兵庫	京都二中	佐々木吉太郎	京都
廣島二中	永井清登	廣島	彦根中	柴田正巳	滋賀
海南中	長崎正彦	高知	長濱商	杉江安雄	滋賀
彌波中	中川敏德	富山	濱松商	杉山歲雄	靜岡
城東中	新谷千代吉	高知	勝山中	田川福一	大阪
京都三中	西田富士夫	京都	金澤二中	高橋重四郎	石川

第二學年（一六八名）

A組（五六名）

彦根商	會田榮次	滋賀	金澤二中	淺井義秀	石川
三重工	青木英一	三重	大津商	粟津信夫	京都
			八日市中	藤田省三	滋賀
佐伯中	廣津留長錄	大分	和歌山商	森下武	和歌山
膳所中	檜山龍太郎	滋賀	彦根中	森田謙三	滋賀
濱松二中	本多芳德	愛知	金澤一中	宗廣金太郎	石川
倉敷商	保津正志	岡山	住吉中	永田鴻爾	大阪
三豊中	井上忠雄	香川	彦根中	中川悌二	滋賀
津中	井崎恭二	三重	福井中	島隆	福井
京都二中	川田弘三	京都	福知山中	中塚敏郎	京都
津中	小林竹夫	三重	松本二中	西原教太	長野
北野中	古賀良助	長崎	山口中	岡本侃	山口
高松一中	小西一義	香川	市岡中	大川博	大阪
海草中	久喜大正	和歌山	彦根中	奥居重松	滋賀
富岡中	久米田利雄	德島	津中	小野幸男	三重
大連二中	九谷常雄	福井	京都二中	尾澤彥治	京都
愛知一中	前田辰正	愛知	膳所中	齋藤次男	滋賀
育英商	增田信	佐賀	高田中	佐野勇	新潟
豐浦中	松村俊一郎	高知	彦根商	澤田傳吉	滋賀
惠那中	松下量介	岐阜	第二神戸中	佐柳昌之	兵庫
今津中	三矢朗	滋賀	平安中	瀨川忠夫	京都
京都二中	芝春三	京都	多度津中	安部虎男	香川
大阪貿易	杉原專介	滋賀	市岡中	中馬太郎	大阪
舞鶴中	諏訪昭	京都	笠岡商	土居商作	岡山
神崎商	鈴木春男	滋賀	京橋商	古川健太郎	滋賀
京都二商	高田馨	京都	桃山中	蜂須賀敏之	德島
德島中	高橋定義	德島	龍野中	長谷川儉三	兵庫
大津商	高谷英勝	滋賀	大垣中	日根野英夫	岐阜
彌波中	武田禮三	富山	虎姫中	廣部智輝	滋賀
新宮中	田中利一	和歌山			
松坂商	辻原正義	三重			
豐橋中	渡邊壽愛	愛知			
成器商	吉川潔	大阪			

B組（五六名）

舞鶴中　甚目稚信　愛知
大垣中　廣瀬眞砂　岐阜
紛河中　堀尾茂夫和歌山
八日市中　市田五三郎　滋賀
市岡中　池田繁範　大阪
神戸中　生駒晋　三重
西條中　印南忠一　愛媛
膳所中　井上正平　滋賀
彦根中　伊藤茂之　滋賀
大聖寺中　神谷邦彦　石川
尾道商　金原徹治　廣島
第二神戸中　神田博正　兵庫
武生中　岸本隆資　福井
津中　喜多村忠雄　三重
彦根中　小林毅　滋賀
長濱商　沓水勇　滋賀
海南中　前田眞一郎　高知
大聖寺中　前川勝作　石川

生野中　益田喜三郎　大阪
彦根中　森嘉重　滋賀
八尾中　森川長次郎　奈良
第二神戸中　森本正二　兵庫
虎姫中　武藤常充郎　滋賀
神崎商　中江與三松　滋賀
第二岡山中　原基治　岡山
彦根中　田中泰藏　滋賀
今津中　西川榮一　滋賀
彦根中　西村正作　滋賀
京都二中　翁秀男　京都
大垣中　小里武夫　岐阜
京都二中　太田眞妙　京都
八幡商　佐田健造　滋賀
鵜岡中　齋藤一夫　山形
奈良中　酒井太郎　鳥取
長濱商　佐野謙一　滋賀
豊岡中　瀬藤晴夫　兵庫

大津商　芝原秀夫　滋賀
撫順中　島田篤雄　長崎
安藝中　下村茂　高知
彦根工　角田邦太郎　滋賀
桃山中　高畠剛郎　石川
高田　豊　岐阜
彦根中　田中泰藏　滋賀
高松一中　富善藤夫　香川
高津中　辻一正　京都
大阪商　辻村正万　大阪
長濱商　梅澤六郎　栃木
長濱商　米澤元治　滋賀
大津商　横江建造　滋賀
濱松一中　吉林登喜雄　静岡
長濱商　吉井弘三　滋賀

C組（五六名）

京都一商　赤澤武　京都
彦根中　秋山米造　滋賀

金澤商　淺田忠男　石川
彦根商　力石豊藏　滋賀
尾道商　福田利兵衛　廣島
彦根商　福山鐵男　滋賀
龍野中　二川賴之　兵庫
灘中　原重安　滋賀
北野中　長谷仁一郎　大阪
八幡商　橋光次　滋賀
彦根中　久木信治郎　滋賀
大田原中　北城信夫　栃木
德島中　井上隆男　德島
膳所中　伊藤勇夫　滋賀
膳所中　金子義一　滋賀
今津中　河原林眞一　滋賀
高津中　木田茂　大阪
富田中　木戸修　三重
八日市中　木本寬治　滋賀
長濱商　小早川勉　滋賀

大垣中　近藤峯雄　三重
彦根商　力石豊藏　滋賀
尾道商　福田利兵衛　廣島
彦根商　福山鐵男　滋賀
龍野中　二川賴之　兵庫
灘中　原重安　滋賀
北野中　長谷仁一郎　大阪
八幡商　橋光次　滋賀
彦根中　久木信治郎　滋賀
大田原中　北城信夫　栃木
德島中　井上隆男　德島
膳所中　伊藤勇夫　滋賀
膳所中　金子義一　滋賀
今津中　河原林眞一　滋賀
高津中　木田茂　大阪
富田中　木戸修　三重
八日市中　木本寬治　滋賀
長濱商　小早川勉　滋賀

大津第二中　河野恭平　德島
虎姫中　國友芳三　滋賀
大垣中　馬淵治門　岐阜
郡山中　三浦隆吉　奈良
矢掛中　守本則正　岡山
富田中　進士久三　三重
高津中　鹽田德太郎　大阪
彦根中　清水英太郎　滋賀
金澤一中　佐藤正　石川
笠岡商　齋藤恒次郎　岡山
京都三中　櫻井榮次郎　京都
福山誠之館中　佐野勇　岡山
京都二中　杉島秀男　京都
津山中　駿河涉　岡山
帶廣中　高倉一郎　北海道
膳所中　田中浩一　滋賀
彦根中　戸所武雄　滋賀
惟信中　富田正男　愛知
東京四中　上床淳一　京都
神崎商　渡邊孝一　滋賀
福井中　山田英一　福井
市岡中　横井敏雄　大阪

咸興公立商林　景淑　朝鮮

A組（五三名）

彦根中	安藤權一	滋賀	
熱田中	淺井正稔	愛知	
山陽中	土井重吉	廣島	
北野中	長谷川武	京都	
立命館中	速水正三	滋賀	
四條畷中	平井貞一	大阪	
八日市中	平岩廣吉	滋賀	
海草中	平田龜雄	和歌山	
伊丹中	廣島隆一	滋賀	
豐中中	本郷房次郎	大阪	
瀧川中	市場通雄	兵庫	
京都二中	稻垣泰夫	京都	
嘉穗中	稻富忠	福岡	
第三神戸中	石村睦	兵庫	
大野中	伊藤儷	福井	
千葉中	岩口與志雄	愛知	
京都三中	影山治市	滋賀	
伊丹中	鍵田信雄	兵庫	
豐橋中	加藤力三	愛知	
鳳鳴中	黑木高則	兵庫	
今津中	桑原重一	滋賀	
豐橋中	丸山竹治	愛知	
京都二中	松田秀康	京都	
丸龜中	松井正則	香川	
彦根中	松本宇一	滋賀	
豐中中	南田齊	大阪	
廣島一中	箕村治道	廣島	
天王寺中	森重男	京都	
彦根中	森中展三	滋賀	
北野中	森田正雄	大阪	
虎姬中	室谷潔	滋賀	
金澤二中	長浦尙彥	石川	
天王寺中	中島通雄	高知	
伊丹中	中臺純明	山形	
福井中	西村清吉	富山	
修道中	大久保透	廣島	
第三神戸中	小野寺驥一	兵庫	
金澤一中	大浦博	石川	
京都二中	小笹繁雄	京都	
北野中	尾關清	大阪	
市岡中	洒井勝司	大阪	
天王寺中	佐藤政春	大阪	
明石中	末廣貞定	大阪	
大邱公立中	杉原讓	岡山	
武義中	杉山隆夫	岐阜	
福井中	竹內直三	大阪	

B組（五一名）

福井中	田中清	福井	
岐阜二中	谷田武彥	岡山	
彦根中	內池溥美	滋賀	
熱田中	梅村哲	三重	
水口中	渡邊治三郎	滋賀	
茨木中	山野正年	大阪	
福知山中	朝倉吉朗	京都	
住吉中	淺野彥之助	兵庫	
大垣中	粟野隆司	岐阜	
膳所中	近持壯太郎	滋賀	
灘中	土井恒夫	京都	
膳所中	遠藤季夫	滋賀	
彦根中	藤井莊六	滋賀	
鞍手中	福田稔	福岡	
市岡中	菱田覺三	大阪	
膳所中	本庄良太郎	滋賀	
松本中	市川清一	長野	
北野中	飯田壽雄	長野	
膳所中	磯田確也	京都	
郡山中	岩田義男	奈良	
津山中	神田次雄	岡山	
豐岡中	神谷大介	兵庫	
格致中	加藤數志	廣島	
市岡中	木島三代治	大阪	
第三神戸中	岸本忠久	兵庫	
廣島二中	米今利臣	廣島	
龍野中	久保田和夫	兵庫	
四條畷中	國田茂彌	大阪	
尼崎中	日下爲信	大阪	
長野中	松林努	長野	
旭川中	南良一	北海道	
德島中	宮本龍雄	香川	
第二神戸中	村田浩	兵庫	
天王寺中	長岡良太郎	福井	
虎姬中	中村一期	滋賀	
舞鶴中	中西作	京都	
膳所中	西村義一	滋賀	
第二神戸中	野村節夫	奈良	
大聖寺中	奥幸男	石川	
姬路中	尾內一實	兵庫	
津中	坂口薰	三重	
市岡中	妹尾康夫	大阪	
宇治山田中	志賀鐵三	三重	
大分工業	下郡正彥	大分	
伊丹中	田島博夫	兵庫	
高津中	高柳健夫	長崎	
明石中	竹田昇	兵庫	
宇陀中	田中永郎	奈良	
堺中	寺田正雄	大阪	
小松中	島羽照一	石川	
畝傍中	藤根博	奈良	
赤穗中	內田彊	兵庫	
福知山中	梅田茂	京都	

東京八中　内海修二　東京
專檢　渡部幸次郎　東京
廣島一中　渡邊龍夫　廣島
小倉中　吉本一路　福岡

C組（五七名）

大倉商　淺尾尙　大阪
彦根商　馬場敬三　滋賀
興國商　藤原太一　大阪
城東商　藤井勝雄　大阪
大垣商　萩野時治郎　岐阜
八幡商　井狩稚次　滋賀
金澤一中　勝木龍猪　石川
彦根商　川村鐵夫　滋賀
尾道商　川崎重夫　廣島
加古川中　貴傳名博　兵庫
神崎商　北川伊一郎　滋賀
彦根商　北村新一郎　滋賀
大津商　小森諄之輔　滋賀
第一岡山商　近藤史郎　岡山
金澤商　松本幸雄　石川
京都三中　松村良夫　京都
松山文二　京都
宮城貞雄　京都
三宅和雄　滋賀
水野勝耶　岐阜
森功　大阪
元持進　滋賀
村上秀雄　愛知
彦根商　村松信二　滋賀
長濱商　長阪二郎　滋賀
內藤鐵雄　滋賀
長濱商　內藤惣一　滋賀
南部商　西澤修二郎　京都
神崎商　辻勇藏　滋賀
大垣商　辻善三郎　滋賀
市岡商　植田金造　大阪
京都一商　上田誠一　京都
高崎商　大久保誠彌　埼玉
大阪貿易　齊內健次　大阪
扇町商　佐海宏一郎　大阪
八幡商　下村利男　滋賀
八幡商　菅井幹雄　滋賀
八幡商　杉本良三　滋賀
杉山一雄　神奈川
岡崎商　鈴木通夫　愛知
東海中　高木昇　愛知
彦根中　高橋巖三　滋賀
觀音寺商　高丸精一　香川
京都二商　武田要　岡山
大阪商　豐原陸太　廣島
彦根商　塚本眞三郎　滋賀
神崎商　辻勇藏　滋賀
大垣商　辻善三郎　滋賀
市岡商　植田金造　大阪
上田誠一　京都

大垣中　上田毅夫　岐阜
京都二商　渡邊幸三　滋賀
金澤商　山口爲男　石川
福井商　山本篤美　福井
金澤商　山崎辰次　石川
第二神戸中　矢追淳市　兵庫
第三神戸中　安田耕治　兵庫
木浦公立商　吉浦三郎　朝鮮

別科

A組（五二名）

熱田中　坂野有邦　愛知
生野中　彈英男　大阪
愛知一中　古田孫三郎　愛知
虎姫中　八田台三　滋賀
第三神戸中　長谷川　滋賀
今宮中　日比貞雄　大阪
市岡中　堀井一郎　滋賀
桃山中　星野種司　京都
彦根中　伊吹義雄　滋賀
元山公立中　稻荷孝夫　京都
灘中　井上收　兵庫
熱田中　伊藤正美　愛知
鳥取一中　磐喜隆　鳥取
膳所中　門脇一雄　滋賀
熱田中　加賀弐郎　愛知
桃山中　兼田弘　京都
笠井馨　山口
春日平四郎　長野
大郎公立中　小林眞行　京都
金澤三中　駒澤清雄　石川
洲本中　桑島濟雄　兵庫
第二鹿兒島中　前田廣　鹿兒島
鳳中　前川壽雄　大阪
明倫中　牧野常一郎　愛知
大垣中　松井正之　岐阜
松本中　三村積　長野
桃山中　中村善男　京都
專檢　中島秀雄　愛知
明倫中　野村正夫　愛知
岐阜二中　大山清吾　岐阜
上野中　坂森文平　三重
桃山中　坂本博　山口
小牧中　笹山進　愛知
金光中　清水暢　岡山
天理中　清水忠文　兵庫
明倫中　杉山茂　岐阜
吳二中　砂內爲雄　廣島
鈴木權平氏　愛知

（一〇三名）

桃山中　鈴木鳩彦　大阪
海南中　高橋良水　高知
彦根中　竹村正士　滋賀
明倫中　玉置敏夫　愛知
尾道中　田中信太郎　廣島
三豊中　田岡頼彦　香川
五條中　辰巳薫　奈良
豊中中　寺澤正明　京都
氣仙沼中　富田博　宮城
伊那中　土屋肇　長野
津中　辻出克巳　三重
八日市中　塚本治三郎　滋賀
彦根中　山川清　滋賀
阿波中　吉田彰男　徳島

B組（五一名）

奉天中　淺井武雄　愛知
上野中　藤森正彌　三重
多度津中　合田信男　香川
小松中　原雪雄　石川
海南中　高橋良一郎　長野
彦根中　竹村正士　岐阜
明倫中　玉置敏夫　愛知
尾道中　田中信太郎　廣島
三豊中　田岡頼彦　香川
五條中　辰巳薫　奈良
豊中中　寺澤正明　京都
氣仙沼中　富田博　宮城
伊那中　土屋肇　長野
津中　辻出克巳　三重
八日市中　塚本治三郎　滋賀
彦根中　山川清　滋賀
阿波中　吉田彰男　徳島
熱田中　進士重元　三重
上田中　鈴木勝　愛知
桃山中　鈴木利久　京都
專檢　鈴木重郎　奈良
津中　田村卓　三重
神戸中　田中利七　三重
虎姫中　田中德行　滋賀
大垣中　谷澤一男　岐阜
彦根中　上村文太郎　滋賀
大垣中　矢橋宗一　岐阜
姫路中　柳内明　兵庫
網走中　吉野義良　北海道
高知一中　前田憲二郎　高知
上野中　松本幹雄　三重
高津中　水野德三　大阪
岡山中　中村清　岡山
福山誠之館中　中島榮作　廣島
膳所中　成子左久太　滋賀
大邱中　寛次　西
北米リンカーンハイスクール　岡野一郎　合衆國
富岡中　沖成勸　德島
大垣中　折戸哲夫　岐阜
虎姫中　大杉幸二　滋賀
水口中　椙木義滿　鹿兒島
小城中　大園安雄　佐賀
豊中中　西堂登　兵庫
東海中　佐久間清　愛知
鶴岡中　佐藤靜　山形
三國中　清水源一郎　東京
撫養中　清水正義　德島
大阪公立中　桂正夫　大阪
岡崎中　河合春彦　愛知
上野中　木戸董　三重
耐久中　兒島五郎和歌山
山口中　熊岡一則　廣島
熱田中　桑野締三郎　愛知
杵築中　草野慥夫　大分
津中　久世一三　三重

二、生徒道府縣別

（昭和十一年六月一日現在）

原籍＼學年	第三學年	第二學年	第一學年	別科	計
北海道		一	一	一	三
青森	一				一
岩手					
宮城				一	一
秋田					
山形		一	一	一	三
福島					
茨城			一		一
栃木		二			二
群馬					
埼玉	一		一		二
千葉					
東京	二		二		五
神奈川			一		一
新潟		一			二
富山	一				一

和歌山	奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	三重	愛知	靜岡	岐阜	長野	山梨	福井	石川
一	四	一二	一二	八	四二	五	七	六	八	一		四	六
四	二	八	一二	一六	五五	一一	五	二	六	一		四	七
一	四	一七	二三	一六	三七	三	七		五	三		四	九
一	三	八	七	八	一二	九	一五		七	四			二
七	一三	四五	五四	四八	一四六	二八	三四	八	二六	九		一二	二四

大分	熊本	長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛	香川	徳島	山口	廣島	岡山	島根	鳥取
一	一	二		一	四	二	五		二	五	四	一	三
一		二	一		三	一	四	五	一	三	七		
一		一		三	二		三			八	五		
一			一		二		二	三	二	五	三		一
四	一	五	二	四	一一	三	一四	八	五	二一	一九	一	四

宮崎	鹿兒島	沖繩	朝鮮	關東洲	臺灣	アメリカ合衆國	總計
			一				一
		一	一				一
			一				一
	二						二
							三
		一					一
							一五四
							一六八
							一六一
						一	一〇四
					一	一	五八七

三、生徒年齡別

（昭和十一年六月一日現在）

學年　最高　最低　平均

第一學年　二八年七ケ月　一六年十ケ月　一八年四ケ月

第二學年　二四年十一ケ月　一八年四ケ月　一九年七ケ月

第三學年　二六年　一九年四ケ月　二〇年八ケ月

別科　二六年二ケ月　一七年四ケ月　一八年十一ケ月

四、生徒家庭職業調

生徒年齡別、生徒家庭職業調

學年／職業	第三學年	第二學年	第一學年	別科	合計
農業	二二	二四	二二	二二	九〇

工業	九	一五	一二	八	四四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
商業	四〇	四〇	三七	二九	一四六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
官公吏教員	一六	三一	二八	一一	八六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
銀行會社員	二九	二六	四〇	一八	一一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
ナシ	三〇	二一	一三	一〇	七四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
其他	九	一三	七	五	三四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一五五	一六八	一六一	一〇三	五八七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

五、在學中死亡生徒氏名

入學年月日	死亡年月日	氏名	出身地方
大正一三、四	大正一三、八、八	宇野俊夫	滋賀
同 一三、四	同 一四、四、二五	尾崎雄平	高知
同 一四、四	同 一四、九、九	上阪龍馬	鳳井
同 一三、四	同 一五、三、一八	大橋完治	愛知
同 一四、四	昭和 二、一、二四	山田達夫	岐阜
入學年月日	死亡年月日	氏名	出身地方
大正一四、四	昭和 二、九、一〇	分銅信雄	大阪
昭和 三、四	同 三、一、一、二	高橋桂太郎	滋賀
大正一五、四	同 四、四、二六	畑讓策	兵庫
昭和 三、四	同 四、一、一三	丹羽邦三	愛知
同 三、四	同 五、五、一四	佐藤由夫	大阪
昭和 三、四	昭和 六、三、三	關本文千代	靜岡
同 四、四	同 六、五、二八	奥田榮藏	兵庫
同 六、四	同 六、七、二三	木下眞平	長野
同 五、四	同 六、八、二二	前川榮一	三重
同 四、四	同 六、八、三〇	高田一郎	靜岡
同 五、四	同 六、七、二四	逸見不二夫	兵庫
同 六、四	同 七、九、一二	北村正久	滋賀
昭和 七、四	昭和 七、九、二二	山內正次	德島
同 八、四	同 八、六、一一	龜井平一郎	兵庫
同 五、四	同 九、七、二一	川添賢助	愛媛
同 七、四	同 九、一一、四	辻毓一	滋賀
同 一〇、四	同 一〇、九、三〇（行方不明）	伊藤修	大阪
同 九、四	同 一〇、一〇、一	廣田乙次郎	廣島
同 九、四	同 一一、四、七	青山隆二	京都

（昭和十一年六月一日現在）

第九、卒業生

（——印アルハ死亡者ナリ）

一、大正十四年度卒業生（第一回）　一三四人（ABC順）

氏名	出身府縣	氏名	出身府縣
相原靖	愛知	馬場克三	滋賀
天野寶三（宇宙改）	愛知	芳谷有道	岡山
安藤新一	山形	濱野小三郎	三重
青山弘	愛知	長谷川光一	靜岡
荒田一兵衛	大分	長谷川滋	愛知
林良治郎	三重	堀井俊三	滋賀
樋口稔	愛知	舟橋千代重	愛知
樋口長太郎	岐阜	古川文夫	德島
疋谷新次郎	滋賀	藤谷昻二（淺野改）	栃木
平田進一郎	滋賀	今田準造	愛媛

卒業生

今村米藏	京都	片岡後一	岡山	丸井義之助	京都	西尾勝治郎	島根
稻村虎一	兵庫	加藤光造	愛知	松田榮祐	富山	西脇喜十郎	岐阜
井上英一	岐阜	松井鶴三郎	愛知	松本清兵衛改栗本	神奈川	龍髯政夫	廣島
入谷源一郎	愛知	河北顯吉	滋賀	多慶男	群馬	岡田饒	愛知
石井武一	京都	川村鈴次	愛知	南武雄改定也	大阪	岡本昌夫	富山
石川敏夫	靜岡	川添民介	熊本	森昌東京		奥野進一郎	滋賀
磯田義雄改至弘	兵庫	風間貞一郎	新潟	森正義三	重	大橋武雄	滋賀
市川英夫改藤永	栃木	木村克一	大分	森下武	靜岡	大木下改	滋賀
伊藤登	廣島	木村庸直	兵庫	諸岡武治郎	佐賀	大竹道夫	靜岡
岩崎基	滋賀	北河源三	滋賀	村松隆庸	靜岡	大勝山改谷平一	福井
岩崎章	滋賀	北村昌二	滋賀	村本利廣	愛知	大谷道三郎	兵庫
加賀山元吉	愛媛	北山重助	滋賀	村瀨芳雄	愛知	小澤捨三郎	滋賀
上林幸一郎	滋賀	駒田茂	三重	永原清吉	三重	坂間英四郎	神奈川
神田道藏	兵庫	河野俊介	山口	成宮英一	滋賀	櫻井瑰作	靜岡
金田齊實	長野	熊田康一	鹿兒島	成田周	愛知	高上改澤井照登	廣島
鹿島實	愛媛	桑原高森改晉	岐阜	西花輪改川義太郎	滋賀	關慶一	岩手
片倉稻太郎	滋賀	熊本一	愛知	夏川西改川昌夫	山梨	關貞千菊直太郎	滋賀
片岡岐陽士	京都	牧野劍	愛知	西村貞藏	滋賀		

柴田捷三	大阪	高橋豐吉	靜岡	柘植參雄	奈良	山本泰一	石川
清水四郎	愛知	鳥塚改高橋好孝	滋賀	塚本新吉	滋賀	山添雄吾	兵庫
篠田英一	岐阜	武井清	滋賀	辻留吉	滋賀	山川清	岐阜
今井改杉岡善夫	三重	玉谷宗市郎	福井	上山幸一	兵庫	八木茂改矢野久左衛門	京都
杉田三郎	兵庫	田宮才二	滋賀	內海勝利	大阪	橫路滲	廣島
鷲見巖	岐阜	岩田改田中繼次郎	岐阜	和才覺	大分	米井顯雄	大阪
炭谷修一	兵庫	田中乙作	石川	渡邊久夫	廣島	由水秀邦	京都
鈴木秀勝	三重	田中定三	滋賀	山田富久三	岐阜	湯淺章雄	福井
多田淺治郎	大阪	丹慶源一郎	愛知	花桐改山縣琢磨	大分		
田井節	京都	手賀登	群馬	徹	岐阜		
高橋都藏	大阪	戶崎千秋	岐阜	山口總男	兵庫		

大正十五年昭和元年度卒業生（第二回）

一二一人（ABC順）

阿部太郎	滋賀	望田改戶次金次郎	滋賀	團田勝	井福	林作三	福井
青木泰一	茨城	白次信次郎	滋賀	江原二郎	岡山	平井啓	愛媛
荒川幸一	愛知	拜藤改別所助藏	滋賀	濱田勇	愛知	廣瀨新	香川
荒瀨實	廣島			針原啓介	富山	保母道雄	岐阜
八部改小豆澤辰三	大阪			早川繁一	愛知	細川勇	島根

深水惣吉	山口	象松關村	滋賀	村田午六	三重	大谷公之助	鳥取		
金三郎改									
福岡金次郎	京都	加藤義男	愛知	永井忠三郎	大阪	大塚悅若	京都		
夫馬二郎	愛知	加藤義三	愛知	中村豊治郎	大阪	小鹿信治	愛知		
古市四朗	岡山	菊池彌吉	富山	中山光人	廣島	李興雲	仁川		
古田文吉	岐阜	北村省三	滋賀	中島六二	石川	佐々木忠藏	滋賀		
藤居勝三	滋賀	北村禎太郎	滋賀	並河一郎	大阪	澤田文治郎	京都		
藤本勝三郎	大阪	國衙勝	山口	名村楠男	兵庫	關口守次	群馬		
外村改									
稻本康平	滋賀	小松喜一	大阪	成島修	滋賀	柴田弘一	京都		
稻本芳造	滋賀	草野小平治	滋賀	西川半彌	滋賀	下村金次郎	愛知		
印部喜芳	兵庫	朽木惣一郎	滋賀	西脇信良	兵庫	白井武一	兵庫		
井上吉之助	京都	前田音吉	兵庫	野田長治郎	滋賀	菅谷正之	石川		
坂根改									
伊藤定敏	京都	眞下英夫	京都	野瀨光三	滋賀	末澤治	香川		
伊東武郎	三重	松井勇	靜岡	大賀善二郎	滋賀	神戸改			
						杉浦勝利	愛知		
岩崎源藏	滋賀	松元周	石川	大島重一	福井	杉浦賢	愛知		
加木萬次	大分	松本武文	奈良	岡尾房次郎	京都	杉浦清三	愛知		
柿葉喜三郎	大阪	松村勇治郎	大阪	尾木正利	高知	祐野貞三	兵庫		
亀井忠平	愛知	宮木成太郎	愛知	大森信澄	京都	鈴木秀一	和歌山		
亀山勝	新潟	森田政彌	兵庫	大谷英一	滋賀				

鈴木莊六	靜岡	內田康吉	愛知	山梶誠一郎	滋賀	米田又三	滋賀		
多賀榮一	岐阜	宇治田勝巳	和歌山	山本寬一	京都	米谷清	兵庫		
高木蔑久司	靜岡	若林榮三	滋賀	米井改		吉田馨	岡山		
				山本清	愛媛				
田中八郎助	滋賀	尾崎改		山本甚太郎	兵庫	吉田喜三郎	滋賀		
		和氣義信	京都						
水間改				山內彥三郎	京都	吉居政彥	滋賀		
田中林五	長野	脇田光紀	愛知	山崎藤治郎	滋賀	柚木芳雄	大阪		
戶田正雄	德島	渡邊秀夫	愛知	安田實	大阪				
上田一郎	大阪	渡邉吉造	京都						
佐藤改									
宇佐美一男	愛知	八木太三郎	京都	安井德次郎	奈良				

阿部徹太郎	滋賀	泥敏男	兵庫	東野太郎	滋賀	二見三吉	大阪		
赤羽利美	長野	遠藤俊	鳥取	肥後盛孝	鹿兒島	藤林吉三郎	滋賀		
淺井自徹	滋賀	後藤一之助	京都	平野倫壽	京都	藤林泰藏	滋賀		
川口改						豐田改			
荒木宗康改	三重	芳谷博道	岡山	平野知三郎改	大阪	藤原光治	兵庫		
淺生宗八	廣島	長谷川正彥	大阪	門谷清三郎改		濱本慶一	德島		
		長谷川敏郎	滋賀	堀井清章	滋賀	濱岡改			
阿波井茂樹	香川	津田改		福井健吉	兵庫	藤野勝榮	滋賀		
		畑中行三	滋賀	福山芳三	京都	藤野一男	愛知		
綾八萬太郎	兵庫	林節夫	兵庫	古澤巳年男	熊本	藤井村芳雄	滋賀		

忌部善夫	島根	北村善三	滋賀	三和康三	滋賀	丹羽蔦夫	愛知
井上祐輔（直一改）	大阪	北山菊治郎	滋賀	三輪勳一	京都	大林宗治	兵庫
一守鑛藏	滋賀	小林林平（田中改）	三重	宮地一之	愛知	大橋英夫	岐阜
一柳鐵之助	廣島	小林佐一	滋賀	宮川清	愛知	大橋喬樹（山本改）	京都
岩波清治	靜岡	駒田退之	三重	宮崎進	山口	岡本圓次郎	京都
筧勝家（島岡改）	廣島	小森享一	滋賀	宮澤柏夫	東京	奥田憲一（富岡改）	岐阜
垣田進太郎（和田改）	鳥取	近藤喜平	滋賀	水永利三郎	福井	小野江已義	滋賀
加久間岩夫	大阪	河野傳（西濱改）	大分	森晃	岐阜	尾上幸次郎	兵庫
紙顯	宮城	上阪寛藏	滋賀	森口宏藏	香川	大谷治兵衛	岡山
片岡太郎	岡山	小菅一吉	滋賀	邨田耕	滋賀	酒井紀友	岡山
加藤廣良	靜岡	熊井源之助	京都	中村源二郎	滋賀	佐藤勝美	福島
川口菅三	愛知	牧村直衛	福岡	中邑昌一	滋賀	佐藤壽一	德島
河村英男（汲田改）	岐阜	正村逢治郎	滋賀	中西正五	滋賀	澤邦治良	滋賀
川村克二	滋賀	間瀬悌基	愛知	伴井嘉三	大阪	澤野敏郎	三重
河村武夫	岐阜	松村英一	兵庫	新居好夫	德島	斯波義夫	滋賀
加澤喜一	石川	三上啓吉	京都	西田義郎	三重	島田一雄	滋賀
北田好夫	岡山	三田貞二	靜岡	西羽善一郎	京都	島田健吉	大阪
北川節也	滋賀	道木武夫	大阪	西村謙三	京都	新藤英彥	廣島

杉江隆一	愛知	鄭萬教	朝鮮	山田種彥	滋賀	横山平一	鹿兒島
杉山勝歲	岡山	栃木勇	廣島	山田藤太郎	大阪	米川峻	三重
高田善三	滋賀	豊島德太郎	大阪	山田豊雄	岐阜	吉田寛	滋賀
高木正德	鹿兒島	坪井卓	岐阜	山本健二	福井	吉田鈌	愛知
瀧原善次郎（上田改）	埼玉	上野愿	兵庫	山本卯一郎	滋賀	吉岡光三	滋賀
高井喜一	大阪	上田久次郎（橋本改）	滋賀	山中勇	三重	湯淺藤治郎	京都
田中喜作	岡山	若林孝太郎	滋賀	山中吉兵衛	鹿兒島	頭井豊次郎	兵庫
田中正三	滋賀	渡邊清太郎	京都	山根忍	滋賀		
谷口孫一	滋賀	山田彥一	京都	山下信久	富山		

四　昭和二年度別科卒業生（第一回）　七四人（ABC順）

安賀忠良	香川	細川滿壽夫	兵庫	石黑功	愛知	粕淵惣治郎	滋賀
朝倉安次郎	愛知	福本孝平	滋賀	石見淳次（傍島改）	兵庫	加藤信一	滋賀
出口達雄	三重	福山松太郎	滋賀	市橋隆雄	岐阜	川村吉藏	滋賀
百々松之助	滋賀	藤角敬一	愛知	岩根和夫	滋賀	川島善八郎	滋賀
早川貞司	滋賀	池山治雄	愛知	岩崎代司彰	熊本	北川延三	滋賀
早野茂	岐阜	猪瀬武藏	茨城	泉博行	廣島	木野村重治（田井中改）	德島
東良正	兵庫	井上秀明	香川	加田務	滋賀	喜多川好夫	滋賀

北村秀康 滋賀
北脇章 大阪
小林嘉次 三重
古妻順 大阪
小山幾藏 滋賀
葛谷岩雄 福岡
前田豊次 滋賀
政井義明 宮崎
増田實 千葉
松宮増雄 滋賀
松本吾市 滋賀
松浦鐵雄 岐阜

箕浦定三 滋賀
溝口亮晃 愛知
毛呂德藏 埼玉
村田長治 滋賀
永井靜 岐阜
本忠二 山口
中田治一 滋賀
中川正也 滋賀
中谷勝 兵庫
中島貞次 滋賀
名和千秋 岐阜
野村末藏 滋賀

小川萬長太郎 滋賀
岡本定直 滋賀
大森章 京都
大野武夫 岐阜
大矢正巳 愛知
志水鋼三 愛知
下郷三五郎 愛知
鈴木四郎 滋賀
高椋桂太郎 滋賀
武田藤三 愛知
竹村重吉 山口
竹中康治郎 滋賀

田中精三 滋賀
田中敏博 京都
田中泰市郎 兵庫
立木春男 兵庫
寺田矩朗 滋賀
富田良七 滋賀
土屋信一 岐阜
辻長兵衛 滋賀
山内紀夫 德島
吉井重雄 滋賀

五 昭和三年度卒業生（第四回）一二四人（ABC順）

稲田重德 高知
秋山桓士 香川
青木與三良 大阪
永谷勘一郎改 大阪
淺川和洋 三重

淺野辰造 大阪
槇南胤一 大阪
槇木與郎 大阪
吳治洙 朝鮮

橋本勳 廣島
八野操 兵庫
林紀念男 鳥取
笹井昌夫 滋賀

平井忠三郎 滋賀
廣田利夫 兵庫
堀勝三 滋賀
堀池省三 滋賀

福田邦彥 石川
福田定夫 廣島
福井彪 兵庫
布藤豊路 大阪
藤井劍十郎 京都
藤田謙次郎 大阪
井手修 兵庫
飯田外藏 滋賀
碇信一 大阪
池田成一 兵庫
稻舘五郎 滋賀
井上利三 京都
石田平八郎 滋賀
石川修三 島根
一圓愛三 滋賀
岩佐芳次郎 滋賀
海部安造 兵庫
神島佐賀二 滋賀

河西忠雄 神奈川
柏木瀧二郎 兵庫
加藤繁 愛知
川端謙二 滋賀
河合貞司 靜岡
川島登久治 群馬
木村清一 大阪
北村與太郎 滋賀
北尾元太郎 京都
杉山改 小林菊市 岡山
小松清水 高知
兒島正譽 愛媛
志水改 前川屯 滋賀
増田敬二郎 兵庫
増田稔 熊本
松原和夫 岡山
松本新吉 京都
松本利夫 滋賀

馬渡博二 福井
宮本次雄 兵庫
宮崎秀夫 大阪
水野茂雄 滋賀
水谷喜代藏 滋賀
村岡正 廣島
村山利雄 京都
忠一改 忠一郎 大阪
長岡忠一郎 滋賀
中江暉雄 滋賀
中村四津男 三重
中村信 東京
中村助十郎 滋賀
中村武司 滋賀
中村尾改 中野清 京都
中嶺治一 福井
中本武正夫 兵庫
雛波善一 滋賀
西田善一 滋賀
西川卯之助 奈良

西村勝造 滋賀
奥村三和 滋賀
奥田謙弋 滋賀
奥輔 岡山
岡本良三 京都
岡田剛 福井
小川和夫 兵庫
小里幸彥 岐阜
大谷重一改 重馨 鳥取
大崎彌三郎 大阪
大野正三郎 群馬
柳光珪 朝鮮
深津改 楠原鐘造 愛知
齋藤純一郎 京都
田中改 坂本武雄 大阪
佐野眞治 滋賀
島田正一 三重

島田昇　京都
杉山博　京都
田口敬三　滋賀
高木實　岐阜
高木成義　岐阜
高原昇　岡山
高倉義郎　福岡
竹島芳雄　三重
玉置洋治　和歌山
田邊隆　大阪
谷上貞次郎　大阪
谷本利一　奈良
（勇村改）
谷本爲男　大阪
樽井正義　兵庫
寺井實郎　島根
富久和太郎　大阪
富田武一郎　京都
（小西改）
富田高雄　福井
辻本春雄　三重
辻野竹次郎　大阪
梅本英太郎　滋賀
右遠浩一　岡山
（太田垣改）
臼井駿　兵庫
渡邊覺　愛知
渡邊太守　三重
（長二改）
山口昌男　奈良
山内清弘　島根
山下正健　三重
安田則次　大阪
安田量平　岐阜
八幡悦次　廣島
彌吉嘉根雄　大阪
（大賀改）
吉田金三郎　滋賀
吉川治男　滋賀
吉尾義一　宮崎
（尾田改）
湯淺滿藏　大阪

六　昭和三年度別科卒業生（第二回）　六四人（ABC順）

阿部泰次郎　滋賀
安藤謙吉　三重
安藤正　岐阜
江畑啓一郎　滋賀
江口賢一　長崎
（島口改）
島忠一　石川
服部二郎　京都
林三朗　滋賀
林芳郎　大阪
堀裕　岐阜
福原幸一　岡山
古川一兵衛　滋賀
池田興三一　三重
井上大藏　廣島
伊勢孝吉　愛媛
石曾根民郎　長野
板倉醸　島根
岩瀬一作　三重
海津彦三郎　三重
片桐太郎　兵庫
木岡章　兵庫
岸本四郎　兵庫
清見俊夫　兵庫
小菅恭三　滋賀
栗本和彦　京都
日下部浩一　京都
前田民雄　佐賀
増本健一　兵庫

松本政人　山口
松本清夫　鳥取
目加田秀雄　滋賀
水谷勳　三重
森次男　大阪
守村榮一　滋賀
森田榮一　奈良
中川章　滋賀
中川源作　滋賀
中丸知雄　滋賀
中村直一　滋賀
中西喜一　滋賀
中谷一夫　兵庫
西出紀一　三重
野阪春一　滋賀
岡本俊夫　廣島
奥岩次郎　廣島
奥田三郎　滋賀
尾代登　兵庫
洒井敏雄　岐阜
島本忠夫　兵庫
清水善治　滋賀
白井三千雄　滋賀
諏澤卓二　廣島
高井憲　岐阜
竹林斎義　廣島
田中武男　滋賀
塚原修二　岐阜
上山榮一郎　滋賀
上山正男　三重
（日笠改）
鵜木直　岡山
内田福三　愛知
山田謙太郎　岐阜
山際清一　愛知
山原義雄　石川
山中靖三　岐阜

七　昭和四年度卒業生（第五回）　一四七人（ABC順）

安達義信　島根
秋山太郎　愛媛
天谷榮一　福井
青木清　岐阜
青山憲一　京都
朝比奈豪　滋賀
麻生亀吉　滋賀
馬場榮一　滋賀
伊達利得喜　愛媛
土肥辰巳　岡山
萩田義治　兵庫
橋本徹　三重
畑一雄　京都
八田巳之助　大阪
八田一郎　大阪
速水敏　兵庫
早瀬信夫　愛知
（牛丸改）
姫田芳郎　岐阜
平尾一雄　鳥取
廣安雄三　廣島
堀武　京都
福田三千雄　愛知
福岡定一　奈良
福島武雄　徳島
古田勝郎　岐阜
藤井寛治　岐阜
藤本武一　兵庫
飯島秀一　栃木

飯島武夫	岡山	
今村淳一	兵庫	
今吉勝	大分	
妹脊保藏	大阪	
石黒重之	愛知	
石居武彦	滋賀	
石井俊雄	大阪	
石野操	岡山	
伊藤健三	滋賀	
岩間正己	三重	
岩間治三郎	兵庫	
岩田馥郎	兵庫	
垣見陽一	滋賀	
唐橋榮藏	岐阜	
檜本駒吉	大阪	
柏原誠一	廣島	
加藤英郎	三重	
加藤新治郎	京都	
河邊敏郎	京都	
河合章	大阪	
川勝義雄	京都	
木戸馨	福岡	
木村俊吉	岡山	
岸本一男	愛知	
京川正治	和歌山	
小林英太郎	滋賀	
小谷夫郎	岡山	
古賀篤	福岡	
小島嘉太郎	愛知	
小山秀男	滋賀	
高妻俊光	宮崎	
小田信義	福井	
小畑光六	三重	
小田島光郎	秋田	
奥田源八	京都	
奥野勝美	鳥取	
大河原曦	東京	
大西贊平	愛媛	
大谷末雄	兵庫	
大崎福之助	兵庫	
桴木武義	鹿兒島	
桑原末夫	大阪	
前田美憲	福井	
眞木喜茂	愛媛	
萬俵一雄	兵庫	
松田證三	大阪	
松井利夫	京都	
松本吹三平	岡山	
松下盛行	兵庫	
松浦謹二	兵庫	
三ツ尻義男	兵庫	
三輪等	愛知	
宮本徹也	北海道	
宮崎保房	三重	
水野逸郎	愛知	
森繁	大阪	
森川光雄	三重	
森田文英	三重	
森田善脇	香川	
武藤三彌	福島	
長岡勝太郎	廣島	
中江勘次	大阪	
中川順二郎	石川	
中村政吉	兵庫	
西口彦三郎	三重	
西村重光	三重	
西澤新藏	滋賀	
小畑光六	三重	
小田信義	福井	
小田島光郎	秋田	
奥田源八	京都	
奥野勝美	鳥取	
大河原曦	東京	
大西贊平	愛媛	
大谷末雄	兵庫	
大崎福之助	兵庫	
桴木武義	鹿兒島	

佐伯迪	廣島	
犬尾改阪本俊彥	長崎	
伊藤改藤統一	山口	
笹野正廣	愛知	
櫻井榮次	大阪	
清水清治	滋賀	
鹽崎嘉夫	和歌山	
染川英彥	兵庫	
杉本安夫	大阪	
鈴木次男	靜岡	
田口正孝	長野	
高田一二	愛知	
高木義直	岐阜	
高橋宗嗣	京都	
高橋直溫	三重	
高橋忠弘	高知	
高佐幸二	福井	
高安良雄	大阪	
竹野一美	長野	
竹内末治	大阪	
瀧野宏	兵庫	
谷口秀造	滋賀	
巽勝	兵庫	
近澤正男	岐阜	
塚越幸藏	京都	
蚊野改塚本專太郎	滋賀	
塚本信光	大阪	
津村保治	兵庫	
辻秀雄	大阪	
辻利雄	愛知	
辻勤	滋賀	
辻田掛吉	三重	
上木充	愛媛	
上田兵三郎	奈良	
上田俊明	京都	
和田三樹男	福井	
若林俊次	新潟	
渡邊鎭雄	愛知	
山田貞治	兵庫	
山岸仁三郎	石川	
山本久太郎	滋賀	
山崎英一	滋賀	
亀山改		
横江清泉	岐阜	
吉田徹	東京	
吉川源太郎	京都	
吉川四郎	大阪	
吉森春二	兵庫	
荒木喜太男	岡山	
別當敬次	三重	
提中福吉	滋賀	
道慶貞一	滋賀	
後藤孝二改仁佑	愛知	
後藤茂	東京	
塙坂清逢	和歌山	
原田政行	山口	
橋本吉貞	滋賀	
林松夫	滋賀	
日比野照保	岐阜	
堀義雄	滋賀	
布川彰	福井	
藤永寅雄	山口	
藤田宗義	福井	
藤田仁郎	兵庫	

八　昭和四年度別科卒業生（第三回）　九十三人（ABC順）

伊比繁雄　新潟
池上二三雄　大阪
今枝淳三　愛知
稻本一幸　愛媛
入江啓藏　兵庫
石原金丸　岐阜
石井忠藏　滋賀
石崎增次　京都
釜江憲兒　兵庫
龜井博　京都
金子哲夫　岐阜
川合敏之　滋賀
川崎由松　滋賀
木村篤二　福井
木野内彌一郎　兵庫
吉良五雄　熊本
北島晃　福井
小石新十郎　滋賀

小宮山竹男　長野
小森彦太郎　新潟
近藤誠康（富三改）　滋賀
栗阪毅一　岡山
黑田邦彦　兵庫
丸野吉左衛門　滋賀
間瀨由三　愛知
松宮益三　滋賀
松山裕　鹿兒島
三ヶ尻忠男　兵庫
三代茂正　島根
水野俊彦　兵庫
望月清朗　廣島
村上茂　愛媛
長井詮　三重
長澤正夫　大阪
中川道造　滋賀
中居英一　北海道

中村秀雄　宮崎
中村正保　岐阜
中村貞治郎　滋賀
中村敏夫　滋賀
中田保一　三重
西堀政四郎　滋賀
西川英吉　滋賀
西川安隆　兵庫
西村通矩　滋賀
西浦清一　奈良
野村眞藏　滋賀
奥田守次　愛知
小野正男　三重
大島茄吉　愛知
太田健吉　三重
太田延夫　三重
大塚信太郎　滋賀
佐藤一郎　新潟

河崎改佐藤友次郎　滋賀
千賀堯一　愛知
重榮一郎　鹿兒島
重枝秀人　山口
清水喜八郎　愛知
下村米吉　滋賀
鈴村梓　岐阜
多賀和夫　三重
武永幸雄　山口
竹崎英男　高知
竹内三次　愛知
田部直成　滋賀
田中小十郎　滋賀
角田一夫　愛知
上田喜八郎　滋賀
宇野一雄　滋賀
渡邊洋右衛門　滋賀
山口太郎　滋賀

山本和一　滋賀
山本實　愛知

安田覺三　滋賀
横井鍵男　愛知

吉丸健一　佐賀

九　昭和五年度卒業生（第六回）　一七〇人（ABC順）

足立敏夫　兵庫
安藤一郎　岐阜
安藤庫示　愛知
青井功　岐阜
阿波賀忠士　福井
江崎養一　岐阜
鄉野基友（水野改）　愛媛
五藤誠夫　愛知
波部鷲太郎　京都
羽毛田作平　長野
長谷川文雄　京都
長谷川光信　愛知
畑喜多雄　兵庫
服部久雄　愛知

服部貢　愛知
早瀨勇　愛知
林博　岐阜
林重雄　愛知
平松修一（賀川改）　愛知
平岡三郎　德島
廣岡貞雄　靜岡
久野俊夫　福井
堀江秀雄　三重
深尾喜陸　滋賀
深澤敬信　山梨
深谷理重（三角改）　長野
福井賢造　京都
不破晴之　岐阜

藤原芳夫　大阪
藤村繁藏（小菅改）　奈良
藤野武　滋賀
伊夫氣了　滋賀
飯田敏之　愛知
石川圭弌　愛知
石野豊　岡山
伊藤文郎　岐阜
伊藤賢二郎　福井
伊藤重雄　愛知
伊藤義郎　愛知
岩井宗武　愛知
岩波重三　靜岡
岩崎直治郎　滋賀

岩田丹二　滋賀
岩山言藏　岐阜
門坂重治　和歌山
河原盛一　愛知
恒下信次郎　岐阜
龜尾博　兵庫
金森峯雄　愛知
笠井重治　三重
加藤誠一　愛知
川崎忠一　滋賀
菊池俊一郎　愛媛
木村幹太　兵庫
木下善　滋賀
北川與太郎　滋賀

北村晉次郎　滋賀
北村豊次郎　滋賀
小林秋男　岐阜
小林功　福井
佐藤改近藤改春雄　愛知
倉田電氣智　岡山
前田久孝　愛知
政井義明　宮崎
増田治郎　愛知
増谷雄一　徳島
松原篠郎　岐阜
松井善一郎　三重
松野操　静岡
松岡文之助　滋賀
三ツ橋幸次郎　滋賀
三輪春男　愛知
宮島安一　岐阜
宮川光榮　福井

宮田都次郎　三重
宮田了一　三重
宮崎誠作　大阪
一二三改正三　広島
水留参藏　愛知
森山茂　福井
森本徹　滋賀
村田長治　滋賀
長江二三　愛知
長野清　愛知
中北敏男　滋賀
中村政則　富山
中村直一　滋賀
中村信太郎　滋賀
中西鎭雄　愛知
中山新次　滋賀
成瀬金一重改吾　愛知
西川武良　滋賀

西澤喜代治　滋賀
西島繁雄　滋賀
丹羽一吉　愛知
野口榮政　愛知
大林榮次郎　滋賀
大橋喜一郎　滋賀
佐藤博治　愛知
佐々政一　愛知
佐伯博　愛知
大矢正巳　愛知
大塚義勝　愛知
大辻俊三　滋賀
磯部改井田英一　岐阜
坂井田英一　岐阜
須田貞二　愛知
末松玄六　岐阜
末木毅一　長野
杉山元吉　岐阜
鈴木金三　愛知

大野三郎　愛知
尾上勇　三重

山田改鈴木幸太郎　愛知
鈴木良平　愛知
鈴木四郎　滋賀
鈴木朝男　愛知
鈴木俊長　長野
岩田改武田金盛　愛知
武田利雄　兵庫
竹本正夫　愛知
竹村重治　山口
竹中盛枝　高知
竹内登喜三郎　京都

田卷武夫　滋賀
田中榮一　滋賀
堀江改田中耕次　滋賀
田中準一　滋賀
田中松造　滋賀
田路十二一　兵庫
所淳朗　岐阜
富岡忠二　北海道
富里正三　兵庫
富田三郎　大阪
富田連三　愛知

東村重治　埼玉
木村改鶴原六郎　滋賀
辻三郎　滋賀
植松利隆　兵庫
和田雄三　京都
若林次生　三重
野田改高若杉　愛知
渡邊貞三　三重
渡邊正義　三重
渡邊貞三郎　愛知
八木徳三郎　岐阜
橫山登　岐阜

山田豊久　兵庫
山口清一　北海道
山本好美　兵庫
岡利和三　三重
山内喜内　福井
吉田壽男　香川
吉井幸吉　大阪
吉村健　福井
吉岡恒　京都

安部嘉雄　岐阜
會田忠夫　滋賀
安藤福美　岐阜
荒居仁平　滋賀
吾妻直次郎　和歌山

江田宏久　島根
濱田一雄　鳥取
濱田仁士郎　高知
橋本偵　三重
那部修一　三重

林要　大阪
林嘉門　岐阜
平尾要　宮崎
井重弘　滋賀
本田勝　鹿兒島
今高榮一　三重
今村清磨　福岡

古川昌三　岐阜
古川德二　鹿兒島
堀三通夫　岐阜

一〇　昭和五年度別科卒業生（第四回）　一〇一人（ABC順）

今尾善一郎	岐阜	兵庫
石田弘	福井	光本正雄
岩崎陽造	滋賀	
門脇彌三	三重	
金澤正	兵庫	
加藤敏郎	三重	
河合巖	岐阜	
河合武男	岐阜	
河村亮	静岡	
北田清	兵庫	
北川重治	滋賀	
北村藤次郎	茨城	
甲田晄成	廣島	
牧野晋	三重	
松川和夫	三重	
松村陽次	山口	
三輪隆彦	大分	
水谷宜信	三重	
森口諄	三重	
村上實雄	愛媛	
村方九州男	大阪	
永井義郎	静岡	
長野健次郎	福岡	
長野泰	大分	
中江登作	石川	
中川孝次	福井	
中村正人	愛知	
中村忠雄	兵庫	
中根梅雄	岐阜	
中西聰	京都	
中西吉登	愛知	
中野登	大阪	
中田伊三郎	大阪	
夏目忍	新潟	
西岡正夫	福井	
西山正男	高知	
綴田誠一	大阪	
大岩正	愛知	
岡田丈夫	福井	
岡田武夫	廣島	
岡本剛	熊本	
奥野斌	兵庫	
大谷正夫	大阪	
大谷輝夫	福岡	
大谷行男	滋賀	
大辻正作	滋賀	
齊木博三	三重	
酒井伊四男	福井	
酒井保弘	岡山	
佐々木改造	愛媛	
佐々木改儉治	岩手	
佐々木改庄司康	岩手	
進藤俊二	兵庫	
須賀二三	愛知	
杉藤久吉	大阪	
高林恒夫	三重	
高橋壽	福井	
高橋進	兵庫	
竹内篤	島根	
戸崎藤次郎	滋賀	
坪内大二	岐阜	
津田繁一	滋賀	
植村近一	岐阜	
上野孝三	三重	

渡邊芳郎	岡山	大阪
山田瑞穗	鹿兒島	山口幸雄
山門馨	山口	吉坂義光
山本磊三	三重	德島
大和義信	兵庫	
富江改井捨三	滋賀	
安川重則	三重	
安東源治	岡山	
青木禮一	京都	
荒木春男	廣島	
淺井義一	愛知	
淺野元市	岐阜	
蘆田泰助	島根	
伴野行男	三重	
枇杷田保	愛媛	
惠美芳藏	京都	
槇本良平	愛知	
江崎三男	京都	
濱田長年	德島	
濱崎永造	大阪	
花井仁郎	大分	
服部一秋	愛知	
服部嘉治	三重	
早瀨彰	香川	
彦坂寬	愛知	
河東改平岡武次	兵庫	
久田正夫	三重	
菱川藤一郎	滋賀	
堀喜一	奈良	
深見傳右衛門	大阪	
深海徹	京都	
福村榮藏	島根	
福田長三	滋賀	
冬木一郎	大阪	
富士實	德島	
富本藤次	兵庫	
藤田國男	山口	
神戸英一	兵庫	
鳴忠夫	福井	
岩塚富士雄	愛知	
菅野篤五郎	山形	
加藤甚吉	岐阜	
川瀨卯吉	滋賀	
川島昌雄	京都	
河島登美也	兵庫	
河田義春	岐阜	
木村一吉	廣島	
岸田耕	滋賀	
井口太郎	新潟	
井藤眞壽夫	德島	
井内英二	德島	
稻垣勇	愛知	
入江雅好	高知	
石島欣一	埼玉	
伊香賀三	滋賀	
伊藤一郎	大阪	
池內豐治	三重	
池田四郎	香川	
小林精一	京都	

昭和六年度本科卒業生（第七回）一四〇人（ABC順）

駒井吉藏　石川
小松和夫　高知
小西邦太郎　滋賀
小山公夫　岡山
小山清一　大阪
久保博　和歌山
藏重尙一　山口
藏多馨　鳥取
倉田修六　岡山
黑澤英三　三重
桑原萬博　山口
前田萬右衛門　滋賀
丸山定一郎　兵庫
松宮嘉音夫　滋賀
松本光男　岡山
松谷吉太郎（松島改）　京都
松吉清　三重
三國一　滋賀

南茂二　滋賀
水戶瀨金次郎　秋田
水越貫一　愛知
宮川清（面高改）　長野
宮內竹夫　鹿兒島
森本勝造（三田改）　大阪
村井善丸　滋賀
永井勝二郎　京都
中川庫三　鹿兒島
中村平八郎　福井
中村耕造　三重
中村芳雄　京都
中島六十郎　滋賀
南家幸男　三重
難波馨　岡山
成宮文二　滋賀
西田岩雄　兵庫
西村健三　滋賀

巨椋忠良　滋賀
岡川育三　兵庫
岡森直　宮崎
岡本孝造　京都
小津一郎　三重
齊藤文明　鳥取
坂水精一　兵庫
坂口彰　長野
坂井次郎　岐阜
坂倉二郎　三重
澤田官一　岐阜
島田環　島根
島田武明　廣島
志水忠博　愛知
末次信三　滋賀
杉本光藏　靜岡
鈴木梧司郎　靜岡
鈴木晶　靜岡

鈴江歩　大阪
高橋龜次　高知
高畑春治　滋賀
高木善吉　滋賀
高田伯太　岡山
高田外次郎　滋賀
高島三次（中川改）　大阪
田中豊三　滋賀
瀧川敏夫　兵庫
瀧澤秋三（雨森改）　滋賀
竹田幹雄　滋賀
谷位芳夫　兵庫
谷田一雄　滋賀
津野良作　高知
上野道夫　大阪
上田英太郎　京都
上山榮一郎　滋賀
和波太郎　三重

渡邊春造　京都
渡邊陸一　宮城
矢田廉　三重
山川逸平　三重

山本治一　德島
山本靜夫　兵庫
山本順一　愛知
山下博　京都

安田謙二　京都
橫山晉一（片岡改）　香川
吉田正巳　愛知
吉田正隆　三重

吉田俊　石川
吉岡吾一　滋賀
由良爲禎　京都
實川信榮　滋賀

足立德雄　兵庫
穐田正彥　廣島
青山實　愛知
江原八郎　兵庫
後藤壽一　香川
後藤積（吉見改）　佐賀
原東三　滋賀
春原誠吾　滋賀
長谷川親次　愛知
長谷川一　愛知
長谷川一雄　滋賀
長谷川正則　愛知

塚本改
蓮尾孝吉　福岡
樋口寬二　和歌山
樋口欽二　新潟
平井庄太郎　大阪
平野浩　愛知
弘田武司　山口
弘津弘　山口
久安輝雄　岡山
堀江靜雄　京都
福井吾郎　岐阜
古澤誠　佐賀
古田良雄　長野

二木義次　長野
藤原武美　兵庫
藤村正三　滋賀
市川張市　愛知
市川博史　神奈川
伊賀元平　岡山
壹岐淳二郎　鳥取
今西武敏　奈良
井上定彥　滋賀
犬飼保義　愛知
伊佐治克巳　岐阜
石津正一　靜岡

磯村正　鳥取
井東幸雄　廣島
岩間淺市　愛知
神藤末雄　愛知
柿花謙二　大阪
鎌田輝一　岡山
加藤敏雄　岐阜
勝定義　岐阜
木村猛　京都
木村太郎　岡山
岸實　岐阜
喜多野壽郎　靜岡

一二　昭和六年度別科卒業生（第五回）　一〇六人（ABC順）

卒業生

小島貞一郎	滋賀	大國啓欠郎	和歌山	竹内康丙	愛知	氏家謙輔	兵庫
丸岡審三	岡山	大西庸弘改	兵庫	木正雄	三重	守山正二郎	德島
松村正雄	滋賀	齋藤政雄	福井	武田紀晃	愛知	山口達雄	京都
蓑輪一男	福井	坂井務	岐阜	竹崎薫	高知	山本正悌	長野
宮岡正一	滋賀	佐藤武雄	山口	田中一男	滋賀	山本四郎	奈良
百北義夫	三重	澤田茂助	愛知	田中武夫	香川	山本嘉雄	京都
長屋秀雄	岐阜	關本文磨	靜岡	谷村一義	三重	中勝衛	青森
中川不二丸	京都	關谷晃一	滋賀	谷正一	石川	下末男	兵庫
中西清一	愛知	柴田勇策	福井	谷本滿三	岐阜	山崎寛藏	長野
中瀨信吉	滋賀	島村正	滋賀	德弘健介	高知	山崎新一	和歌山
野々村重一	兵庫	下村德市	靜岡	德田義雄	京都	柳川治	兵庫
小栗一雄	愛知	篠原幹一	山口	鳥居武夫	兵庫	吉岡一夫	京都
岡島保二	兵庫	高橋清一	愛媛	辻利重	高知	八東博	愛媛
岡村正一	高知	靜谷清	大阪	塚本健一	滋賀		
奥出茂二	福井	高尾正道	石川	上田誠一	滋賀		

安部田貞俊	京都	福永武雄	大阪	金富榮	朝鮮	松村三郎	兵庫
安藤道夫	岐阜	福山喜一郎	大阪	桐山茂	岐阜	三原亮	島根
青木二郎	滋賀	船岡淳	鳥取	岸田彊	兵庫	三木龍平	三重
淺野龍太郎	京都	古川一夫	滋賀	喜多養三郎	德島	盛幸夫	兵庫
阿閉史郎	滋賀	藤原俊男	廣島	北川吉男	滋賀	森由勇吉改昭	京都
馬場忠雄	岡山	伊賀上憲	愛媛	安達改林丑三	大阪	森本實	大阪
鄉原及	島根	井川治八	岐阜	小木曾榮	岐阜	森本二郎	兵庫
萩原憲也	鹿兒島	一守彥三郎	滋賀	堀田改河本貢	大阪	森脇馨	高知
濱口忠雄	高知	市村敏男	福井	熊村鴻次	靜岡	本居敏	福井
橋本一雄	愛知	今枝淳三	愛知	組田重嘉	滋賀	本岡米雄	佐賀
橋本吉貞	滋賀	稻葉正一	岐阜	栗田眞造	滋賀	松一男	長野
早野政雄	岐阜	稻田大作	大阪	桑田俊二	廣島	藤一義	滋賀
林田要	滋賀	井上史郎	滋賀	前原忠通	岡山	貴茂樹	滋賀
平原敏彥	廣島	伊藤一郎	大阪	牧野金男	愛知	地清	和歌山
堀上善晴	兵庫	加畑稔	福井	鍋藤香	香川	居增吉	滋賀
保科時夫	長野	垣內忠夫	兵庫	眞一夫	兵庫	井良吉	京都
細川正也	島根	可兒才介	東京	松原嘉一	岐阜	島清	高知
細矢靖正	京都	木目利夫	兵庫	松田安治	大阪	村英男	滋賀

卒業生

夏川孝太郎	滋賀	
西田榮三	滋賀	
西門順一	大阪	
西河正二	滋賀	
西本翔藏	大阪	
西尾一郎	三重	
野澤正裕	石川	
落合信三	滋賀	
小高知吉	埼玉	
大口讓夫	三重	
岡井寛夫	愛媛	
織井齊	長野	
大島茄吉	愛知	
大田徹	奈良	
音川清次	大阪	
坂井喜代士	福井	
阪本利雄	大阪	
關谷仁朗	滋賀	
柴崎清	兵庫	
柴田達雄	島根	
椎木巳代治	山口	
色谷勳夫	和歌山	
清水茂	靜岡	
下村米吉	滋賀	
白崎重義	滋賀	
莊宗雄	岡山	
十河博	廣島	
杉浦重市	愛知	
杉浦正夫	京都	
鈴木眞一	滋賀	
松村改訪	京都	
高橋傳之助	愛知	
高橋美之	三重	
武岡象三	岡山	
瀧澤磐	長野	
田中敏之	滋賀	
田島義男	福岡	
谷榮德	島	
寺島傳一	滋賀	
近澤弘治	大阪	
德永正次	滋賀	
豐田富久藏	大阪	
辻文三	兵庫	
辻誠一	滋賀	
上杉悅治	滋賀	
上田明	京都	
渡邊正	愛知	
藍中彙三郎	三重	
山田敬三	京都	
山本義一	大阪	
山本包男	京都	
山本元秀	兵庫	
山本義雄	兵庫	
矢敷弓三	和歌山	
安原完藏	岡山	
中川改造	滋賀	
末居道	滋賀	
吉田善藏	滋賀	
吉原定藏	滋賀	
吉川武夫	滋賀	

一四　昭和七年度別科卒業生（第六回）　九七人（ABC順）

卒業生

赤澤徹郎	岡山	
荒井博	大阪	
萬代專一	山口	
江原健二	岡山	
後藤善治	愛知	
後藤田肇	德島	
原田純一	岡山	
長谷川原二	愛知	
長谷川貞二	兵庫	
羽田力男	石川	
波多腰健次	長野	
服部由郎	三重	
人見利雄	滋賀	
堀內治男	和歌山	
福田修	三重	
福喜多勉	三重	
福島三郎	富山	
藤井勝造	滋賀	
藤田治男	滋賀	
市川穗	三重	
井上恭一	愛知	
伊藤秀幸	愛知	
伊藤勇	岐阜	
伊藤正信	岐阜	
伊藤修二郎	靜岡	
伊藤祐光	鹿兒島	
亀田忠雄	兵庫	
笠木辰雄	鳥取	
加藤隆三	京都	
川邊元四郎	滋賀	
川合久治	三重	
岸正二	兵庫	
小林平八郎	三重	
近東弘七	奈良	
近藤四郎	滋賀	
近藤壽夫	愛知	
窪田越智雄	和歌山	
久代一雄	新潟	
正木秀夫	兵庫	
政道元三郎	福井	
松本清譽	愛知	
三木正治	島根	
三宅伯士	岡山	
三宅成美	岐阜	
宮長忠	兵庫	
宮崎虎男	山口	
溝淵惠	德島	
森幸吉	三重	
森茂	滋賀	
森下茂	愛知	
佐々木五郎	兵庫	
佐藤庄一	福井	
成享植	朝鮮	
關要一	新潟	
西川文三郎	滋賀	
西村正三郎	京都	
小川奇正	岐阜	
小川暢夫	廣島	
岡啓二	滋賀	
岡本茂三	重	
岡本武男	大分	
大古田守	靜岡	
大村武史	岡山	
太田正三	愛知	
尾崎英一	滋賀	
櫻井達太郎	新潟	
讃野仁四郎	德島	
稻井	兵庫	
朝鮮	新潟	

瀬戸次郎 兵庫
清水義雄 岐阜
多賀健次 三重
田原三郎 滋賀
高木博人 山口
竹内寛司 愛知
田中京 岡山

田中利夫 山口
矢田改 十川保平 德島
内田捨己 福井
上田俊 岐阜
上松眞三 大阪
植野晴見 高知
浦川次郎 兵庫

若林正三 滋賀
山田義一 山口
山本一樹 兵庫
山本仟 愛知
山添平藏 兵庫
米窪卓司 長野
米阪省次 和歌山

吉田榮造 滋賀
吉田一雄 愛知
吉川誠一 三重
義村要 京都

安達義松 愛知
天日嶽憲雄 滋賀
荒居善明 滋賀
有光茂 高知
淺田孫吉 滋賀
芦田猛 京都
坂野光男 愛知
濱田一雄 鳥取
濱田仁士郎 高知

一五 昭和八年度本科卒業生（第九回） 一六五人（ABC順）

原田儀人 岡山
原田定男 廣島
春田修三 鹿兒島
長谷部春男 岐阜
早川眞一 秋田
林嘉門 岐阜
林要 大阪
肥後盛文 鹿兒島
平石秀孝 滋賀

平田平 鹿兒島
平山元康 靜岡
廣瀬重榮 岐阜
廣島清太郎 滋賀
廣田孝太郎 滋賀
土方繁夫 岐阜
保木口久守 岐阜
堀江嘉數 岐阜
福永和光 廣島

藤江外吉 石川
藤本亢 京都
藤野義雄 滋賀
藤田敬三 福井
藤田泰三 滋賀
藤田富男 滋賀
飯田猛太郎 滋賀
池本延一 滋賀
今井禮三 京都

今高榮一 三重
石田光長 滋賀
石田省三 兵庫
伊勢村雅輝 大阪
伊藤清 愛知
伊藤登 岐阜
伊藤暹 滋賀
伊藤武夫 三重
岩田務 岐阜
岩崎秀雄 大阪
神谷誠一 岐阜
金谷信雄 岡山
金田謙吉 京都
金子熙 東京
金子一眞 廣島
樫本四郎 廣島
片桐發二 岐阜
加藤久知 京都

加藤蜂夫 福岡
加藤敏郎 三重
川口繁三 滋賀
川村喜太郎 滋賀
川副太造 京都
木田正文 奈良
北村和夫 滋賀
北村吉造 滋賀
北村多市郎 滋賀
甲田晩成 廣島
近藤秀夫 三重
小菅宇一 滋賀
栗田植吉 岐阜
栗田勉 八木改 岐阜
日下部三郎 京都
眞舘价一 石川
槇野君夫 大阪
眞野博 愛知

増田勝嘉 岐阜
松原巖 岐阜
松原碩 愛知
松本壯之介 熊本
目加田榮藏 滋賀
宮千代芳房 新潟
三宅啓一 岐阜
宮本悌亮 福岡
宮本善男 滋賀
宮田松雄 愛知
水波淳 福井
水野安之 愛知
水谷重男 愛知
森井茂樹 三重
森島信一 山梨
森本一正 東京
笠川改 森塚嘉夫 福井
村岸博三 滋賀

中田改 村田重男 廣島
永井規矩夫 廣島
永野政雄 京都
中井正朝 奈良
中村進 香川
中根正夫 愛知
西村勝彦 三重
西村元太郎 滋賀
西村敏三 滋賀
庭田順治 石川
野田一生 大阪
野呂實 三重
小川彦治 滋賀
小川尙正 三重
尾頃茂 岡山
大岩正男 三重
岡部啓太郎 福島
岡田武夫 廣島

卒業生

奥野斌	兵庫	柴田正一	岐阜
尾本英策	滋賀	志垣利治	兵庫
大仲悦	岐阜	名三郎	大阪
大西眞三	滋賀	篠田幸一郎	岐阜
小野寺六郎	宮城	須賀二三	愛知
大晉喜正	滋賀	鈴木正男	滋賀
大照敏	愛知	鈴木實	三重
大辻正作	滋賀	鈴木清規	愛知
大塚春陽	長野	高田正	福井
立田莊永郎	石川	高橋貞夫	廣島
酒井嘉藏	新潟	竹田和雄	石川
坂井勵二	岐阜	竹中榮三郎	滋賀
酒井保弘	岡山	竹内久孝	岐阜
佐野滋	福井	竹内乾一郎	福井
佐藤明	千葉	玉岡武雄	愛知

田村正明	兵庫	渡邊芳郎	岡山
立澤四郎	滋賀	渡邊賢治	兵庫
寺村傳三郎	大阪	山本甫水	岐阜
富山節之助	奈良	山本進	高知
外池謙三	滋賀	山中薫	愛知
鳥居清快	愛知	安井明雄	滋賀
土屋晃	愛知	吉田一男	岐阜
土屋倍男	岐阜	吉田茂	岡山
津田繁一	滋賀	吉田鑒次郎	三重
辻井晴夫	滋賀	吉田茂	石川
辻谷改孝三郎	滋賀	吉樹實	福井
若見正雄	愛知	吉丸健一	滋賀
上枝實藏	京都		
上田寅藏	滋賀		
渡邊德三郎	滋賀		

赤木茂	兵庫	今泉弘一	愛知
坂東勝德	島根	入江棟治	埼玉
江馬彪	靜岡	井清一	廣島
羽田武夫	三重	一圓龍雄	滋賀
厥谷眞三	滋賀	伊藤豊太	兵庫
長谷部正夫	三重	岩佐豊	德島
初田正平	滋賀	岩瀨弘	茨城
服部愼一郎	東京	門脇洋一	三重
早川賢助	愛知	神奈川重雄	和歌山
林萬太郎	三重	蟹江茂樹	愛知
日沖衛	三重	加藤猛	福岡
平井弘泰	奈良	木本寬治	滋賀
近藤改平野良二	大阪	木下壽三	三重
廣田乙次郎	廣島	木下信次	滋賀
堀池馨	京都	北村利市	滋賀
福田一郎	富山	小林中	大分
福島榮一	滋賀	小林幹太	山口
降旗正元	長野	小林竹夫	三重

桑田金作	靜岡	中村芳郎	長崎
草田常三郎	和歌山	苗村彌市	滋賀
楠見三代一	和歌山	名取正勝	神奈川
朽名章二	愛知	西谷籌吉	德島
前田利文	三重	野平與一	岐阜
牧之段一男	鹿兒島	越智文治郎	大阪
眞鍋昌光	香川	小川泰次郎	三重
松永敬之助	香川	小倉典男	兵庫
三浦典郎	愛媛	小栗高彦	愛知
森下義夫	岐阜	大岩澄夫	愛知
森本武身	靜岡	奥山多積	愛媛
森茂夫	愛知	奥野毅	京都
村瀨年巳	岐阜	坂伊之助	石川
永田俊郎	新潟	酒井喜代志	愛知
中島仁三	滋賀	佐藤大輔	岡山
中村弘	福井	柴田正已	滋賀
中村泰三	三重	芝田武久	鳥取
高橋改正三	石川		

清水善一 三重
祖父江謙夫 愛知
隅田國芳 高知
鈴木利穂 廣島
田淵榮二 福岡
多田泰 兵庫

田川福一 大阪
高橋龍太郎 岐阜
高島幸介 新潟
竹内直助 三重
田中弘之 鳥取
田中正治 福岡

谷垣弘 兵庫
手島典明 大阪
友永直治 大分
戸嶋節藏 鳥取
内田五男 靜岡
渡邊清 大阪

山田保之亮 靜岡
山本一三 滋賀
山下晉 岡山
山崎辰夫 滋賀
安江新太郎 愛知

一七 昭和九年度本科卒業生（第一〇回） 一七〇人（ABC順）

淺石敬次郎 青森
朴恩賞 朝鮮
土居德朗 愛媛
榎本道夫 和歌山
春原誠吾 滋賀
長谷川正則 愛知
橋本勇雄 滋賀
畑澤捨三 滋賀
林淳三 岐阜
一二三公 廣島

平野錬三 愛知
平岡貢 岡山
方寅榮 朝鮮
堀正男 岐阜
保坂保 山梨
堀田知一 大阪
深尾政美 岐阜
深津一二 愛知
古江正市 大阪
古川良水 福岡

藤村三郎 滋賀
藤村正三 滋賀
藤田嘉美 岐阜
市川信五 滋賀
市野橘雄 愛知
池田瑞穗 高知
今榮改二 兵庫
稻葉茂 岐阜
井上茂 大阪
井上智 岡山

井岡清一 奈良
石橋義隆 大阪
石田致文 廣島
石井會三 茨城
伊高秀雄 兵庫
岩味晃 愛知
岩佐周平 福井
岩田亙三 重
神藤末雄 愛知
門野貞雄 滋賀

柿花謙二 大阪
龜山俊吉 岐阜
金井正三 兵庫
金澤政三 兵庫
金田貞雄 京都
狩野正一 愛知
鹿島國藏 京都
加藤實 靜岡
川地一男 岐阜
川治昇 福井
川瀨二郎 福岡
木村猛 滋賀
木下榮保 長野
北川勳 京都
北村茂男 滋賀
小林周三 三重
小林省三 京都
幸田正道 新潟

小島貞一郎 滋賀
近藤禾一郎 愛知
古野屋博 岡山
高津清 大阪
久保田三二 兵庫
象田晃夫 京都
桑原邦造 滋賀
馬淵正人 岐阜
町田通雄 高知
牧豊市 島根
丸尾覺 宮崎
松原一雄 長野
松井治兵衛 滋賀
松本義一 大阪
三井正男 福井
宮本清隆 滋賀
大阪

宮崎正一 三重
水野文彌 愛知
水谷志能夫 三重
村岸誠一 滋賀
村松房治郎 三重
村田敬三 滋賀
牟田馨六 佐賀
長野美彥 岐阜
中川嘉壽三 重
中井愼之助 京都
中西關七 三重
中津明 兵庫
中山文雄 靜岡
中山虎五郎 福岡
中山茂 鳥取
中澤實 滋賀
西濱吉 滋賀
西尾高三郎 愛媛

西浦力 福井
西崎正男 滋賀
西澤道之助 滋賀
小川喜三郎 滋賀
小倉實 京都
荻田虎次 滋賀
小栗一雄 愛知
岡敬而 福井
岡島保二 兵庫
大村正二 滋賀
大西明 大阪
大谷幹三 重
大塚誠次郎 滋賀
齋藤政雄 福井
阪本春夫 京都
坂本忠夫 三重
坂田正治 大阪
猿子元治 福岡

佐藤光雄	靜岡	武光恒夫	岐阜	塚原重兵衛	岡山	山本七郎	長野
釋種秀岳	滋賀	竹村茂一	大阪	堤盛文	三重	山本正悌	長野
柴田元造	滋賀	玉木次郎	三重	上田智	兵庫	山本四郎	奈良
柴田義郎	愛知	田村高男	滋賀	上田誠一	滋賀	山中正一	靜岡
鹿野石男	岐阜	田邊忠男	滋賀	梅垣和一	京都	山崎寛藏	長野
嶋岡早苗	奈良	田中勝美	滋賀	和田利治	島根	矢野五郎	京都
鹽見正二	岐阜	田中一男	滋賀	若榮正三	三重	八者桂太郎	滋賀
末松大三郎	岐阜	田中壽夫	大阪	脇野喜次	奈良	横濱茂雄	石川
菅原藤也	山形	丹波正二郎	大阪	脇田義孝	愛知	吉房一雄	大阪
杉原孟	大阪	谷口道夫	鳥取	山田平一郎	滋賀	吉原博	廣島
村主修	三重	谷村一義	三重	山田眞	福井	吉岡芳郎	佐賀
角田彌太郎	滋賀	谷內淳二	石川	山田琮三郎	東京	芳澤勝一	岡山
鈴木爲雄	靜岡	寺井隆一	大阪	山口明	兵庫	吉澤武雄	長野
高倉健一	福井	戸倉方別	愛知	山口繁	滋賀		
高山正次	靜岡	鳥居新太郎	京都	山路五郎	滋賀		

一八　昭和九年度別科卒業生（第八回）　一一〇人（ABC順）

安藝毅	德島	稻野彰	京都	小谷薫	三重	西堀卓二	滋賀
安藤正男	愛知	井上悅生	三重	小藤達郎	鳥取	西脇善一郎	新潟
足助清	千葉	岩崎一雄	山形	馬淵治郎	岐阜	西尾邦郎	三重
馬場健次郎	山口	岩尾武良	兵庫	益田喜三郎	大阪	西山秀明	山口
大黑祺一郎	島根	岩田眞章	岐阜	益田克太郎	大阪	小川博世	三重
甚目雅信	愛知	金子馨	愛知	松本文男	愛知	小川末太郎	滋賀
濱田雅美	高知	菅頭章	福島	松本俊郎	廣島	小倉敬次郎	滋賀
羽根田辰男	滋賀	糟谷新治	愛知	松下量介	岐阜	大橋義造	滋賀
原重安	滋賀	加藤信夫	愛媛	目加田三郎	滋賀	沖俊夫	京都
原田正元	福岡	加藤豊	愛知	宮澤敬吾	新潟	奥居重松	滋賀
長谷川彰	愛知	勝木龍猪	石川	元持進	滋賀	大谷政壽	鳥取
服部千代雄	三重	勝野悅治	岐阜	向山優	長野	大浦治一	奈良
東國治	和歌山	河見忠義	德島	村井久次	滋賀	坂上雄	三重
福本清一	德島	木村辰雄	香川	長瀨勝	岡山	酒井太郎	廣島
福浦勝	三重	木下總一郎	滋賀	中强二	和歌山	佐野勤介	三重
古川健二	滋賀	岸本隆資	福井	中川悌二	滋賀	佐々木義人	熊本
稻田政次	和歌山	近藤一二男	岐阜	中山正敏	愛知	瀨戸唯一	廣島
稻垣琢司	三重	近藤峰雄	三重	根本高重	神奈川	志賀谷重藏	滋賀

島田稔	京都
清水英太郎	滋賀
篠崎健二	大阪
白井久雄	兵庫
園田修	滋賀
杉浦健一	愛知
角田邦太郎	滋賀
角谷孝次	愛知
高田一正	福岡
高木昇	愛知
高橋義一	滋賀
高橋斯郎	滋賀
高橋芳彦	静岡
高坂忠藏	新潟
武田省吾	徳島
竹村榮	滋賀
武常充郎	鹿兒島
棚橋榮一	岐阜
田中博	岡山
田中茂雄	兵庫
谷本信男	兵庫
寺井養知	京都
徳田浩三	廣島
富田武士	滋賀
辻市造	滋賀
辻威雄	滋賀
塚本光二	兵庫
鶴見理太郎	愛知
津山佐織	香川
上杉敏夫	廣島
上田益司	兵庫
山田正雄	愛知
山本辰雄	兵庫
山崎浤	新潟
谷内田勇吉	新潟
吉田益雄	島根
吉田龍哉	愛知
油井正孝	長野

昭和十年度本科卒業生（第十一回）　一四九人（ABC順）

阿部虎三	兵庫
荒井章	長野
荒井博	大阪
荒川玄一郎	大阪
荒木秀二	石川
有本晴一	和歌山
道關泰雄（山崎改）	福井
千葉孝	和歌山
榎本晃三	和歌山
藤井通造	大阪
藤田禮太郎	京都
福島健一	鹿兒島
古川滿	兵庫
濱田壽一郎	奈良
濱田由夫	廣島
濱島重夫	鹿兒島
原三郎	岐阜
原田透	愛知
長谷川爲藏	兵庫
橋本正生	三重
服部公相	三重
服部恭大	三重
樋口欽二	新潟
平井利吉	福井

平野進	石川
平田市郎	廣島
平田和夫	兵庫
堀秀雄	福井
衣斐捨三	滋賀
一居捨三	滋賀
五百藏久世	高知
池田潔	三重
池田松次郎	京都
今井章	岡山
稻川靜夫	静岡
稻本順一	滋賀
石田健二	京都
石田眞次郎	大阪
石川宋仁	滋賀
石村純夫	兵庫
磯崎久二郎	大阪
伊藤礒三郎	大阪
伊藤一男	大阪
伊東潔	京都
井藤眞之助	京都
伊藤祐光	鹿兒島
岩本保一郎	静岡
泉英夫	京都
神野壽行	愛媛
壁下光治	福井
柿木源三	大阪
神谷元三	愛知
金光丈夫	岡山
笠原喜代治	新潟
嘉祥寺義文	大阪
片岡康	京都
加藤應二郎	福島
河合圭二郎	滋賀
川合精一	静岡
川野金治	鹿兒島
川田茂	大阪
菊池淳	香川
岸田一男	大阪
北山芳雄	石川
小林德一	大阪
小林健次（多賀改）	三重
紺藤正勝	鳥取
近藤四郎	滋賀
小西與志次	京都
郡田浩次	滋賀
國上裕一	新潟
栗田晟	愛媛
黒川行雄	愛媛
前川增藏	滋賀
桝村光夫	三重
松田仁作	大阪
松居敏郎	滋賀
松浦佐一	兵庫
松坂尙	高知
松崎壯二	福井
宮部正一	滋賀
水谷秋雄	滋賀
森茂	滋賀
森本正美	東京
森末一美	兵庫
長野萬	三重
名越啓二	岡山
中原岐佐雄	岡山
中村正雄	滋賀
中村嘉正	滋賀
中西量彦	三重
中尾幸夫	兵庫
中山勝	京都
南光政治郎	福井
成川太郎	滋賀
西村啓之亮	滋賀

西村正典 愛知　清水修造 和歌山　谷口武宮崎
野口康夫 京都　新名利彦 愛媛　谷口廣滋賀
野瀬東三 山口　白井嘉一 奈良　友影袈裟太 福井
小長谷繁雄 京都　杉山保 岡山　外村善一 滋賀
大橋規矩雄 滋賀　逸夫 滋賀　山本宏 山口
大西隆三 大阪　高田正雄 兵庫　東野發郎 兵庫
大西三良 滋賀　高見登 大阪　塚本慶一 滋賀
太田俊彦 大分　高野義彦 大阪　堤芳雄 京都
大谷泰造 大阪　武田芳夫 兵庫　横田靜夫 兵庫
柳原永興 奈良　武岡善平 三重　植野重男 山口
佐々木五郎 兵庫　竹内久藏 石川　上野一雄 滋賀
澤田永郎 愛媛　田中寬二 滋賀　梅原五郎 大阪
嶋田實 滋賀　田中角男 滋賀　上田俊 岐阜
鳥津富男 滋賀　田中宥 大阪　和田一郎 兵庫
秋山正夫 香川　栗生慶實 石川　藤岡四郎 京都
安藤富雄 愛知　遠藤貞雄 島根　藤田武夫 三重
藤田史郎 岐阜

昭和十年度別科卒業生（第九回）

九〇人（ABC順）

服部信義 三重　林一男 兵庫　堀尾甚藏 福岡　飯豊進 兵庫　池田信幸 福岡　猪口治男 滋賀　岩田唯衛 岐阜　梶善雄 香川　金兒健二 三重　加藤憲一 三重　川口聰 福井　川村貞夫 三重　風早英志 靜岡　貴傳名博 兵庫　木原千里 山口　紀野幸彦 大阪　北野寬 滋賀　小林英夫 三重

高木眞一 三重　小阪辨治郎 兵庫　小寺澤一男 兵庫　國頭義正 鳥取　前島万太郎 福井　松田喜一 岐阜　松本芳二 石川　松村博 京都　松村良夫 京都　松尾淑長 野奥　美甘卓郎 岡山　三浦勉 岡山　宮前信廣 滋賀　森慶造 京都　森茂廣 島　森善平 愛知　森岡政雄 石川　武藤俊八 兵庫

村岸清三郎 滋賀　室田正夫 兵庫　中村金一郎 靜岡　成瀨初次 岐阜　西濱季喜 滋賀　西脇武郎 三重　野村公臣 高知　乃村正平 香川　野中勝海 佐賀　奥啓二郎 大阪　奥出源次 石川　太田照三 兵庫　齋藤豊四郎 宮城　佐藤幸司 東京　世良德夫 山口　柴田四郎 群馬　杉藤福雄 愛知

杉崎友一 岐阜　田口淑志 岡山　高原勝木 福岡　高橋巖三 滋賀　高山常已 長野　竹崎後夫 高知　田中畦三 福井　俵谷邦彦 石川　鳥居正雄 滋賀　外山宗之助 京都　土屋正明 千葉　津田元吉 滋賀　筒井美治 奈良　津山秀夫 廣島　内山三郎 三重　上田毅夫 岐阜　宇野久雄 岐阜　山邊富已生 三重

山田琢治　愛知　山岡盛男　岡山
山口重久　鳥取　山崎英治　高知
山本隆平　愛知　柳田皓三　廣島
矢野開臣　高知
矢追淳市　兵庫
安田耕治　兵庫
矢澤正　新潟

二一　卒業生職業別

種類	本科別	科別計
學校教員	九九	一八
銀行會社員	七二六	二二六
自家營業	一〇三	一〇五
官公史	一七五	八三
個人商店	一八二	一二六
上級學校	六四	八六
入營	九	八
合計	一、三五六	六五二

二二　卒業生就職府縣別

府縣	本科別	科別計
樺太	一	二
北海道	九	一〇
岩手		一
宮城	七	八
秋田		
山形	一	一

府縣	本科別	科別計
福島	三	三
茨城	二	二
栃木	二	二
群馬	一	一
埼玉	二	二
千葉	一	一
東京	三八	一八三
神奈川	七	一九
新潟	六	七
富山	七	一一
石川	二	六
福井	一二	二五
山梨		一
長野	四	三
岐阜	二	二
静岡	五	二
愛知	六一	二一四
三重	三六	六三
滋賀	七五	一四一
京都	四四	一四二
大阪	一五八	五五二
兵庫	五三	二〇〇
奈良	三	八
和歌山	三	五
鳥取	二	八
島根	七	一〇

第十、土地建物及工作物表

一、土地表

（昭和十一年六月現在）

岡山	一〇	八	一八	大分		
廣島	二一	九	三〇	宮崎	二	
山口	七		七	鹿兒島	二	三
德島	四	六	一〇	朝鮮	三六	二三
香川	二	二	四	關東州	一三	二
愛媛	六	二	八	臺灣	一二	二
高知	四	三	七	中華民國	一二	三
福岡	二一	七	二八	滿洲國	四二	八
佐賀		一				
長崎	一	一	一	其他海外	一〇	二
熊本	三	三	六	總計	一、三五六	六五二

大分			一八	大分		
宮崎	二		三〇	宮崎	二	
鹿兒島	二	三	七	鹿兒島	二	三
朝鮮	三六	二三	一〇	朝鮮	三六	二三
關東州	一三	二	四	關東州	一三	二
臺灣	一二	二	八	臺灣	一二	二
中華民國	一二	三	七	中華民國	一二	三
滿洲國	四二	八	二八	滿洲國	四二	八
其他海外	一〇	二	一	其他海外	一〇	二
總計	一、三五六	六五二	二	總計	一、三五六	六五二

敷地	坪數	價格	所在
校舍敷地	一六、八八三	二七七、六五〇	滋賀縣犬上郡彥根町大字中島
生徒監官舍敷地	七一五	五一〇	
傭外國人官舍敷地	七七〇	借地	〃 〃 大字金龜
傭外國人官舍敷地	〇〇〇		
傭外國人官舍敷地	二一一	二、二九九	〃 〃 大字丸野木
合計	一七、〇〇四 七六五 七七〇 〇〇〇	二七九、九五〇 四六〇	
	〇五〇	五五〇	

二、建物表

名稱	構造	棟數	坪數	價格	所在
本館（事務室、教室）	木造二階建	一	四〇〇	一二一、二一八	滋賀縣彥根町大字中島
本館附屬玄關	木造平家建	一ヶ所	四五〇	一、七五八	
教室、事務室、取合廊下	同	七ヶ所	七〇〇	一、五二〇	
御眞影奉安所	コンクリート平家建	一	一八七、五	一、六三〇	
				一七八	
				八三八	
				七三四	
				〇〇〇	

寄宿舍(含監室共)	木造二階建	三	二四六五〇	七三、〇四四、〇〇〇	
同上玄關	木造平家建	一ケ所	一五〇	三九〇、〇〇〇	
同上附屬病室	同	一	一八〇〇	三、六一〇、〇〇〇	
同上附屬食堂、炊事場、浴場等	同	一	一二〇〇〇	二一、二四〇、〇〇〇	
同上附屬物置	同	一	一八〇〇	二、六七七、〇〇〇	
同上下足室	同	一ケ所	九五〇	一、九一二、〇〇〇	
同上附屬洗面所	同	三ケ所	一八〇〇	二、六九四、〇〇〇	
同上附屬便所	同	五ケ所	二三九〇	五、七〇二、〇〇〇	
同上附屬渡廊下	同	十六ケ所	三八〇〇	五、五四八、〇〇〇	
實驗室	木造二階建	一	一三五〇〇	四七、一一四、八七〇	
講義室	同	一	一三五〇〇	四〇、六一四、四〇〇	
簿記教室	木造平家建	一	五〇〇〇	九、九七二、八八〇	
生徒控所兼雨天體操場	同	一	九六〇〇	一四、八六〇、〇〇〇	

同上昇降口	同	一ケ所	六〇〇	一、七〇〇、〇〇〇	
便所	同	四	二六三〇	六、七五〇、〇〇〇	
小使室	木造二階建一部平家建	一	二一〇〇	四、五四〇、〇〇〇	
渡廊下(事務室教室其他)	木造平家建	十二ケ所	八一〇〇	一一、八三二、〇〇〇	
物置	同	一	五二〇〇	六、九六五、〇〇〇	
商品陳列館	鐵筋コンクリート二階建一部平家建	一	九三七五 九七五	三九、〇六四、八二〇	
倉庫	同二階建	一	三〇〇〇	八、二五〇、〇〇〇	
書庫	同三階建	一	二四〇〇	一二、八〇〇、〇〇〇	
商品陳列館取合廊下	同二階建	一ケ所	三七五	一、七五二、五〇〇	
商品陳列館教室事務所間取合渡廊下	木造平家建	一ケ所	四二五	六八〇、〇〇〇	
圖書閱覽室渡廊下	同	一ケ所	四五〇	七八五、五〇〇	
特別教室	同	一	七二〇〇	一九、二九二、四六〇	
柔劍道場及物置	同	一	一〇二五〇	一八、八一四、〇〇〇	

同	附屬水浴室及廊下	同	一ケ所	七五〇	一、五五九〇〇〇
特別教室取合廊下		同	一ケ所	一〇〇	二一〇〇〇〇
講	堂	木造平家建ギヤラリー	一	一二〇〇〇	四九、七六一五〇〇
實踐教室		木造平家建	一	八五三、三	一五、四七四〇〇〇
同	廊下教室事務室間渡廊下	同	一ケ所	五〇〇	九、一〇〇〇〇
生徒集會所		同	一	六〇〇〇	九、六九四二九〇
物	置	同	一	一七五〇	二、七四八九八〇
藥品庫		鐵筋コンクリート平家建	一	五〇〇	一、四二一七三〇
門衛所		木造平家建	一	七五〇	一、五七〇五五〇
石炭庫		同	一	一〇五〇	一、二七四〇二〇
物	置	同	一	三〇〇	四三八〇〇〇
物	置	同	一	一二〇〇	一、二四四二七〇
供待	所	同	一	五〇〇	七八三〇五〇

弓道場	同	一	二七〇〇	三、二〇〇〇〇	滋賀縣犬上郡大字金龜
監視場	同	一	一〇〇	一〇〇〇〇	
艇庫	同	一	七五〇〇	一、六五〇〇〇	
學友會館	木造二階建一部平家建	一	五一五〇	四、九〇〇〇〇〇	
同上渡廊下	木造平家建	一	三〇〇	一〇〇〇〇	
圖書閱覽室	木造平家建	一	三七五〇	四、〇七九四〇〇	
同事務室	同	一	一七五〇	一、五四五九九〇	
計		二、	四〇六	四〇、八五九一、三九七九六〇	
甲號生徒監官舍	木造平家建一部二階建	一	三八六六四	七、七二九二二〇	
乙號生徒監官舍	木造平家	一	三三九六四	四、七六九三九〇	
乙號生徒監官舍	同	一	三三九六四	四、七六九三九〇	
傭外國人教師官舍	木造平家建一部二階建	一	二〇二八三	七、二五四九四三	
同	木造二階建	一	一六四五〇	六、二八三三三三	

傭外國人教師官舍	二階建	木造	一	一六四五〇	六、二八三、三三三	滋賀縣犬上郡彦根町大字丸野木
同	一部二階建	木造平家建	一	二八〇〇〇	四、四八〇、〇〇〇	
甲號官舍物置	平家建	木造	一	五〇〇〇	三八九、七五〇	
乙號官舍物置	同		一	三〇〇〇	二六四、九九〇	
乙號官舍物置	同		一	三〇〇〇	二六四、九九〇	
計					一九八、七四〇	四二、四八九 三三九
合計					二、六〇五、一八二	六三三、八八七 二九九

三、配置圖（卷末添付）

四、工作物表

名稱	數量	價格	所在
門	三個	三、二二七、七八〇	滋賀縣犬上郡彦根町大字中島

圍障			五〇五、二間		一七、一六七、〇七〇	
水道			四個		三、八九三、四七〇	
下水			三		五、六八〇、八九〇	
池井			三		八一一、八二〇	
照明裝置			七		八、一一〇、一八〇	
瓦斯裝置			一		六五一、一六〇	
橋梁			一		二、〇〇二、八七〇	
土留			一		四、九五五、〇八〇	
傳動裝置			一		三七四、八三〇	
雜工作物			一		一七七、四二〇	
同			四坪		四五〇、〇〇〇	
同			二		三、六三四、〇〇〇	
計					五一、一三六、五七〇	

門	四	一、〇四九	七九〇	滋賀縣犬上郡彦根町大字金龜	
圍障	二七、四五間	二、三三一	一八〇		
水道	四	一、八三一	三一〇		
下水	三	二、〇一七	四〇〇		
照明裝置	三	四〇三	五〇〇		
瓦斯裝置	一	六〇〇	〇〇〇		
計		八、二三三	一八〇		
門	一	一四五、九三〇		滋賀縣犬上郡彦根町大字丸野木	
圍障	四二、五間	四九七、五〇〇			
水道	一	七一二〇〇			
池井	一	三一五、九九〇			
照明裝置	一	一四八、五八〇			
雜工作物	一	一〇〇、〇〇〇			

計		一、二七九、二〇〇		
合計		六〇、六四八、九五〇		
樹木		一、五四五、八〇〇		
計		一、五四五、八〇〇		

第十一、關係法令

一、專門學校令（抜抄）

明治三十六年三月二十七日
勅令第六十一號

第一條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス
專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス
專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校（中略）ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ（下略）

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限、學科學科目及其ノ程度並ニ豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム（下略）

二、實業學校令　（拔抄）

明治三十二年二月七日
勅令第二十九號

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ德性ノ涵養ニ努ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校其ノ他實業教育ヲナス學校トス（下略）

第二條ノ二　實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

第八條　實業學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十四條　實業學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第十五條　本令施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

三、專門學校入學者檢定規程　（拔抄）

大正十三年十月十一日
文部省令第二十二號

第一條　專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若クハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ本令ニ依リ學力ノ檢定ヲ受クヘシ

第二條　檢定ヲ分チテ試驗檢定及無試驗檢定トス

第三條　試驗檢定ハ每年少クトモ一回之ヲ行フ

試驗檢定ノ出願期限、試驗施行ノ期日及場所ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ告示ス

第四條　試驗檢定ノ學科目及其ノ程度ハ中學校若クハ修業年限四年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業程度トス

但中學校若クハ高等女學校ニ於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第七條　試驗檢定ニ合格シタル者ニハ合格證書（第三號書式）ヲ交付ス

試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ之ニ合格セサルモ受驗學科目中合格點ヲ得タルモノアルトキハ其ノ證明書（第四號書式）ヲ交付ス

前項ノ證明書ヲ有スル者ニシテ試驗檢定ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス

前項ノ規定ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニ付之ヲ準用ス

第八條　試驗檢定ノ學科目中一科目又ハ數科目ニ就キ中學校若クハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト認ムル者ニ對シテハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス

第十條　試驗ニ關シ不正ノ行爲アルタル者ニ對シテハ其ノ試驗ヲ停止シ尚期間ヲ定メテ試驗ヲ受ケシメサルコトアルヘシ

（第二項略）試驗ニ關シ不正ノ行爲アリタルコト後日發覺シタルトキハ既ニ交付シタル合格證書又ハ證明書ハ其ノ效力ヲ失フ

第十一條　無試驗檢定ハ當該專門學校ニ於テ入學ノ際之ヲ行フ

無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ文部大臣ニ於テ專門學校入學ニ關シ中學校若クハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シタル者ニ限ル

前項ノ指定ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

（以下略）

四、高等試驗令第七條及第八條ニ關スル件　（拔抄）　大正七年二月二十八日　文部省令第三號

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等試驗令第七條ニ依リ普通教育ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學歷ヲ有スル者トス

一、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者、專門學校入學者檢定規程ニ依リ國語及漢文、歷史、地理、數學竝物理及化學ニ付キ試驗檢定ニ合格シ若クハ試驗ヲ免除セラレタル者又ハ朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官若クハ關東長官ノ定ムル專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依リ國語及漢文、歷史、地理、數學竝物理及化學ニ付試驗檢定ニ合格シ若クハ試驗ヲ免除セラレタル者

關係法令　高等試驗令第七條及第八條ニ關スル件

二、專門學校入學者檢定規定ニ依リ一般ノ專門學校入學ニ關シ無試驗檢定ヲ受クル資格ヲ有スルモノ

三、專門學校入學者檢定規程ニ依リ特定ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セラレタル者ニシテ普通教育ニ關スル試驗ヲ受ケ若クハ成績優秀ナルノ故ヲ以テ無試驗檢定ニ依リ中學校卒業以上ノ學力ヲ以テ入學程度トスル大學豫科又ハ專門學校ニ入學シタル者

四、高等學校高等科第二學年以上又ハ修業年限三年ノ大學豫科第二學年以上ニ入學シタル者

五、前各號ノ外中學校卒業以上ノ學力ヲ以テ入學程度トシ且文部大臣ノ指定ヲ受ケタル學校ニ入學シタル者

第六條　試驗ニ合格シタル者ニハ合格證書（第三號書式）ヲ交付ス

試驗ヲ受ケタル者ニシテ之ニ合格セサルモ受驗學科目中合格點ヲ得タルモノアルトキハ其ノ證明書（第四號書式）ヲ交付ス

前項ノ證明書ヲ有スル者ニシテ試驗ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス

專門學校入學者檢定規程第七條第二項又ハ第八條ニ依リ試驗ヲ免除セラルル者ニ付亦同シ

（以下畧）

五、專門學校入學者檢定規程ニヨリ指定ノ件

大正十三年十月十一日
文部省告示第三百七十五號

專門學校入學者檢定規程ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校ノ入學ニ關シ中學校若クハ修業年限四箇年ノ高等女學校ノ卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

一、小學校本科正教員免許狀所有者

但シ男子ニアリテハ英語ニ付小學校本科正教員ノ檢定ニ合格シタル者又ハ英語ニ付小學校專科正教員免狀ヲ有スル者ニ限ル

一、外國ノ學校ヲ卒業シタル者ニシテ文部大臣ノ認定シタル者

六、文部省直轄學校外國人特別入學規程

（拔抄）明治三十四年十一月十一日
文部省令第十五號

第一條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若クハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ

關係法令　專門學校入學者檢定規程ニヨリ指定ノ件
文部省直轄學校外國人特別入學規程

許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若クハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條　帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ

但學校ノ設備上差支アル場合ハ此限リニアラス

第四條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

七、臺灣人若クハ朝鮮人ニ文部省直轄學校外國人特別入學規程準用ノ件

明治四十四年四月四日
文部省令第十六號

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若クハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但其入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

第十二、附　錄

一、彥根高等商業學校學友會會則

第一條　本會ハ彥根高等商業學校學友會ト稱ス

名稱

第二條　本會ハ彥根高等商業學校ニ之ヲ置ク

位置

第三條　本會ハ會員相互ノ親睦ヲ厚ウシ智德ヲ涵養シ情操ヲ陶冶シ身體ヲ鍛錬シ以テ堅實ナル校風ヲ發揚センコトヲ期ス

目的

第四條　本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス

組織

附錄　彥根高等商業學校學友會會則

一、通常會員　生徒
一、特別會員　職員
一、贊助會員　舊職員及卒業生

機關

第五條　本會ニ左ノ諸部ヲ置ク

一、講演部
一、語學部
一、文藝部
一、音樂部
一、劍道部
一、柔道部（角力ヲ含ム）
一、弓道部
一、野球部
一、庭球部

一、卓球部
一、陸上競技部
一、籠球部
一、蹴球部
一、水上部（水泳ヲ含ム）
一、山嶽部（登山スキー旅行ヲ含ム）
一、庶務部

役員

第六條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一、會長　一名
一、副會長　一名
一、評議員　若干名
一、部長　各部一名
一、豫算委員　若干名